

第五十九回 帝國議院

地租法案外六件委員會議錄(速記)第十五回

會 議	昭和六年二月二十日(金曜日)午後二時
出席委員左ノ如シ	出席國務大臣左ノ如シ
委員長 本田 恒之君	大藏大臣 井上準之助君
理事 西脇 晉君	商工大臣 俵 孫一君
理事 永田 善三郎君	内務大臣 安達 謙藏君
理事 中村 繼男君	農林大臣 町田 忠治君
理事 高橋 熊次郎君	出席政府委員左ノ如シ
理事 清水 銀藏君	農林大臣 町田 忠治君
理事 菊池 良一君	内務省地方局長 次田 大三郎君
内務書記官 岡田 周造君	大藏政務次官 小川郷太郎君
大藏參與官 勝 正憲君	大藏省主稅局長 青木 得三君
大藏書記官 川越 丈雄君	○本田委員長 是ヨリ開會致シマス――農林大臣ハ一寸今アチラノ方ノ委員
大藏政務次官 野津高次郎君	會へ出テ答辯中デアリマシテ今直グ出
大藏書記官 賀屋 興宣君	ラレナイト云フコトデアリマスカラ、
農林參與官 山田 道兄君	後デ御願シマス、商工大臣ガ御出席ニ
商工政務次官 橫山勝太郎君	ナリマシタカラ商工大臣ニ對スル御質
商工參與官 野田文一郎君	テ、一口ニ分ルヤウニ言フト、財政ノ
商工書記官 立石 信郎君	許ス限りハ織物稅ヲ全廢スルノ意思ガ
商工貿易局長	アルカナイカトニナルノデア
商工書記官 長崎榮十郎君	リマスガ、ソレハ大藏大臣ニ承ル事デ
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	アラウト思ヒマスガ、今日ノ我國ノ生
地租法案(政府提出)	勿論是ハ百斤一俵ヲ指スノデアリマス
營業収益稅法中改正法律案(政府提 出)	リ
同日委員前田米藏君辭任ニ付其ノ補闕 トシテ内田信也君ヲ議長ニ於テ選定セ リ	トシテ内田信也君ヲ議長ニ於テ選定セ リ

付託議案
 地租法案(政府提出)
 耕地整理法中改正法律案(政府提出)
 稅収益稅法中改正法律案(政府提出)
 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
 方稅制限ニ關スル件(政府提出)
 大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方
 稅ニ關スル件(政府提出)
 都市計畫法中改正法律案(政府提出)
 耕地整理法中改正法律案(政府提出)

ガ、段々下落ヲシテ來テ、補償法ニ依ツ
テ補償ヲ致シタ所ガ千二百五十圓ト
云フヤウニ下落シタ、所ガ是ガ段々ニ
下落シテ來テ一時ハ五百圓臺ニモハイ
ラウトシタ、幾ラカ好クナッテ見タ所
ガ七百圓、又近頃ハ稍々下落シテ六百
圓臺、斯ウ云フコトデアリマスカラ、
我國ノ輸出貿易ト云フモノガ非常ニ
減ツテ參ツテ、其結果ガ國際貸借上ニ容
易ナラザル影響ヲ來タシテ居ルモノト
私ハ深ク信ズルノデアリマス、ソコデ
例ヘバ製絲家ノ身ニナッテ考ヘテ見ル
ト、ドウデアルカト云フト、昨年カラ
今年ノ春ニ掛ケテハ一貫目七八圓以上
ニモ上ツタ所ノ繭ヲ買ツテ持ツテ居リマ
シタカラ、到底千五百圓以下ヤ何カデ
生絲ヲ賣ツテ居ツテハ引合ハナカツタノ
デアリマスガ、製絲家カラ申シマスト、
兎ニ角今年ノ春ノ繭ガ一貫目三圓二十
錢カ三圓三四十錢ノ平均デ買ヘテ居リ
マスシ、其後ハ又繭ノ値ガ下ツテ一圓
臺ニ下落シテ居リマスカラ、今日ハ先
ヅ六百七八十圓ノ生絲デモ普通製絲家
ハ先ヅ引合フ状態ニナツテ居ルノデハ
ナイカ——私ハ素人デスカラコンナ事
ヲ申上グルト大藏大臣ニ御叱ヲ受ケル
カモ知レマセヌガ、私モ二十年前ニハ
製絲家ヲ致シタコトガアルノデアリマ
ス、大分損ヲシタコトガアルノデアリ
マス、モウニ二十幾年關係シマセヌカラ、

今ノ事情ハ能ク存ジマセヌガ、私ノ見ル所ハ大體達ハナイト思フ、製絲家ガ此處デ稍引合テ見マシタ所デ、其影響ガ農民ニドウナツテ居ルカト云フト、繭ノ大暴落デアリマシテ、今申ス通り一貫目三圓二三十錢平均ニ賣レテモ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ツタノガ、其後ハ下落致シテ一圓臺ニナツタノデアリマスカラ、今日ノ農民ノ苦痛ノ極端ニ達シテ居ルノハドウ云フ事デアルカト云フト、一ツニハ繭ノ下落ガ重大ナル原因デアルト考ヘテ居リマス、米ノ下落モアリマセウ、ソレカラ山村ノ方ニ參リマスレバ、材木ノ非常ナ下落モアリマス、ソレデ今非常ナ窮地ニ陥ツテ居ルコトヲ私ハ承知シテ居リマスガ、之ヲ救出サウトスレバ、根本ノ政策ノ上カラ繭ヲドウスルカ、斯ウ云フ事ガ一等只今ノ農民ニハ必要デアルト考ヘマス例ヘバ一例ヲ舉グテ申シマスレバ、私ノ屬シテ居ル愛知縣ノ一部ノ如キ長野縣ノ如キハ、日本ニ於テ一等苦痛ヲ嘗メテ居ル縣デアルト思ヒマスガ、此繭ノ下落ノ結果デアルガ、之ヲ全體算會議デ述ベラレタヤウナモノデハナイ、全ク窮状ニアリマス、ト云フノハ、ドウシテ行クカト云フコトガ、私ハ最モ今日ノ急務デアルヤウニ考ヘル

ソレカラ絹織物ニ致シマシテモ、ヤハリ其通リデアリマシテ、絹織物ガ假ニ稍引合フト致シマスレバ、ヤハリ絲ノ安イ結果デアル、絲ノ安イノハ、繭ノ安イ結果デアル、其及ブ所ハ悉クノ農民ガ苦痛ヲ嘗メテ居ル、或ル時代ニハ、中商工業者、大商工業者ガ非常ナ困難ヲ嘗メテ居リマシタガ、ソレガ次第次第ニ今ハ農民ニ及ンデ參リマシテ、農民ハ非常ナ苦痛ヲ嘗メテ居ル

ソコデドウシテモ今日當面ノ問題ト致シマシテハ——今日申上ゲルノハ、金解禁ガ善イトカ惡イトカ、世界ノ景氣ガ好イトカ何トカ云フコトデハアリマセヌデ、サウ云フ事ハ一切取除ケマシテ、現在ノ窮状ヲドウシテ救フカト云フ當面ノ問題ト致シマシテハ、私ノ只今申上ゲルコトニ大部分ガ歸著シテ居ルト思ヒマス、之ニ對シテハドウ云フ御考ガアラレマスカ、露骨ニ申セバ私ハ嘗テ私見トシテ或ル雑誌ナドニ發表シタコトモアリマスガ、織物稅全廢論ヲ、實ハ個人トシテハ研究スペキモノト今考ヘテ居リマス、サウ云フ事ニ付テ段々御意見ヲ承^ツテ見タイノデアリマスガ、先づ第一ニ、今ノヤウナコトニ對シテドウ考ヘテ居ラレルカ、殊ニ國產獎勵ト云フコトヲ頻ニ言ハレルノデアリマスガ、國產ノ最モ大ナルモノハ今申ス通リ生絲、絹織物デアル、

○町田國務大臣

アラバモット金額ノ多
シガ、一種類デ最モ國
居ル物ハ、生絲ナリ絹
是ガ今ノ悲境ニ陥ツテ
ウシテ行クカト云フ
ノル問題デアル
都合ガ宜シク御三人御
スカラ——私共豫算總
居リマスノデ、揚足
セラシテ見ヨウト云
ノマセヌ、是ハ一ツ折
内閣ノ御考ヲ伺ッテ見
マシタノデ、私ハ別ニ
ハ言ハヌ積リデアル
御話ヲ私ニ御聽カセ
ス
只今私ガ参リマシ
恩答ノ實際ハ承知致シ
爾、生絲ノ問題ニ入り
執ル政策ニ付キマシ
ノ重要ナル産業トシ、
上カラ見テ最モ重キ
昨年以來ノ現狀ヲ見
馬キ憂ヘルト云フコト
ス、生絲補償法ノ出
害得失ノ御批評ハ、私
尤タイト思ヒマスガ、
御質問デアリマセヌ
讓リマス
ソ昨年ニ於キマシテ

ハ、一昨年以上ニ繭ノ生産高ガ多カツタ、俗ニ申ス生産過剩モ、ヤハリ繭ノ價格ノ下落ヲ來シタ原因ノ一つデアル、亞米利加ノ市場ノ模様、日本ニ於ケル滯貨ノ模様、支那輸出ノ進出等、種々ナル原因ト共ニ、繭ノ生産高ガ一昨年ヨリ多カツタト云フコトモ、原因ノ一つシテ數ヘラルル事ト私ハ思テ居リマス。

ソコデ今後ノ對策ト致シマシテハ、將來江蘇、浙江ダケデモ日本ノ桑畠ノ總體ヨリ多ク出來ルト云フ有利ナ地位ヲ支那ガ占メテ、殊ニ養蠶大學マデモ作ッテ日本ノ技師ガ學ンデ居リマスカラ、相當是ガ進歩スベキモノト非常ニ憂慮シテ居リマス、之ニ對シマシテ、年々世界ノ生絲ノ需要高モ大體ニ於テハ長足ノ進歩ヲ遂ゲテ居ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、人絹ト云フモノガ一世界ノ生絲ノ需要高モ大體ニ於テハ長足ノ進歩ヲ遂ゲテ居ルコトハ御承知ノ通リデアリマス、人絹ト云フモノガ一

方ニアリマスルモノ、是ガ爲ニ生絲ノ消費量ガ——或ハ増減ノ率ガ年ニ依テハ相當増減ノ率ノ高イ低イハアリマスケレドモ、總高ニ於テハ年々增加シテ居ルコトハ、大口君ノ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ永遠ノ對策ト致シマシテハ、ドウ致シテモ、日本ノ殆ド唯一ノ重要產業トモ見ラルベキ繭竝ニ生絲ノ生産ニ於テ、農家ニ相當ナ利益ヲ與ヘルト同時ニ、價格ヲ出來ルダケ低落サセネバナラヌト云フ施設ガ先ヅ

重要デアルト思ヒマス、ソレヲ分ケテ見レバ、或ハ種ノ改良モアリマセウ、或ハ桑園ノ改植モアリマセウガ、今現ニ根本對策トシテ著手致シテ居ル所ノ、當年ノ豫算ニモ現レテ居リマス、既ニ御協贊ヲ得マシタ——僅カ許リデアリマスガ、施設ノ心持ヲ現シテ居ルノハ、繭ノ検定所ヲ全國ニ漸ヲ逐ウテ作リ、養蠶家ノ仲買等ニ依ッテ不利ナ賣却ヲスルコトヲ防ギ、養蠶家ノ立場ヲ出ルダケ改善シタイト云フ趣旨カラ、金高ハ少イガ、先づ初年度トシテ其心持ヲ現シテ居ルノガ其一つデアリマス、モウ一ツ一番重キヲ置キマスルノハ、米ノ方ハ御承知ノ通リ長イ間ノ品種ノ改良ニ依ッテ——開墾ニ依ッテ、米ノ繁殖ガ出來タ、分量ヨリモ、米ノ品種ノ改良ニ依ッテ米ノ總收穫ガ殖エテ、是ガ爲ニ米ノ生産費ガ著シク減少シタハ、同ジ成績ヲ舉ゲタイト云フ考ヲ以テ、是ガ爲ニ米ノ生産費ガ著シク減少シタハ、同ジ成績ヲ舉ゲタノデアリマス、是ハ繭ノ優良品種ノ普及ヲ圖ッテ居リトナラ、此度法律トシテ今御協贊ヲ求メツバ、一遍御序ニ試驗場ニオイデ下サレバ、喜ンデ御参考ニ御示シタイト思ヒマセヌガ、若シ御覽ニアラナカッタナラ、今ハ繭ノ優良品種ノ普及ヲ圖ッテ居リマス、是ハ大口君ガ御覽ニナツタカ知レバ、喜ンデ御参考ニ御示シタイト思ヒマセヌガ、若シ御覽ニアラナカッタナラ、

ハ、當分ハ此桑ノ改植ニ依ツテ一時相當
繭ノ產額ガ減ズルト思ヒマス、繭ノ產
額ガ減ズルト云フコトハ、農家ノ爲ニ
過大ヨリ生ジテ居ル所ノ繭ノ下落ハ、
不利益ト云フ見方モアリマスガ、今日
繭ノ增額ニ依ツテ農家ニ得ラル、利益
ヨリモ、下落ニ依ツテ損失スル所ガ多イ
ト私共確信シテ居リマスカラ、コ、一
兩年ハ繭ノ產額ヲ——將來ハ生產費ヲ
減ジ得ラレルト云フ改植ノ爲ニ、一時
桑ノ分量ガ減ツテモ農家ノ收益ハサウ
減リハシマイト云フ意味、即チ繭ノ產
額ヲ今ノ意味カラ多少調節シテ、農家
ノ利益ヲ殖ス、斯ウ云フ意味ノ施設ハ
今ノ失業救濟ノ資金ト關係ガアル、根
本的生產費ヲ減ズルト同時ニ、永久的
ニハ收入ヲ増ス意味ニ相成ル施設デア
リマスガ、大體ニ於キマシテハ、今後
ハ永遠ノ施設トシテハ生產費モ出來ル
ダケ安クシテ、支那ノ生絲ト競爭場裡
ニ立ツテ負ヲ取ラズ、益、安イ生產費ノ
ヲ海外カラ輸入シテ、サウシテ輸出ス
ルモノカラ見マスルト、國際貸借ノ上
ニ於テ一番是ガ效果ガ多イト思ヒマス
カラ、折角左様ナ考ヲ致シテ居ルノデ
アリマス、尙ホ色々御氣付ノ點ガアレ
バ承ツテ置キタイト思ヒマス

○大口委員 大分御親切ナ御答辯ニ依
リマシテ、或點マデハ了解致シマシタ、
實ハ私共ガ多年唱へ、固ク信ジ、嘗テ
田中内閣時代ニ行ヒ掛ケテ居ツタ事ト、
ヤハリ結論ハ大體同ジヤウニ考ヘラレ
ルノデアリマス、例ヘバ支那ノ江蘇、浙
江方面ニ桑畑ガ多イト云フコトモ、私
共モ十分承知シテ居リマス、勿論先年
マデハ支那ノ絲ハ技術ガ非常ニ進ンデ
居ナカツタモノデアリマスカラ、日本ニ
取ツテハドウカト云ヘバ、幸デアッタノ
デアリマスガ、段々支那ノ製絲工業ガ
技術的ニ進ンデ參リマスレバ、是ガ日
本ニハ強敵デアリマスコトハ言フマデ
モナカラウト思ヒマス、ソコデ此得意
先デアル亞米利加ノ然ラバ需要ハドウ
デアルカト言ヘバ、ヤハリ只今農林大
臣ノ述ベラレタ通リニ私共モ見テ居リ
マス、昨年ハ多少亞米利加ノ不景氣ノ
爲ニ減ジテ居ル統計ニナツテ居リマス
ガ、其數字ハ洵ニ僅ナモノデ、サウシ
テ寧ロ日本ノ絲ガ賣レナクテ、支那ノ
絲、歐羅巴ノ絲ガ亞米利加ニハイツタ
ト云フヤウナ統計ヲ示シテ居ルコトモ
承知シテ居ル、ソレカラ又十年間ノ統
計ヲ見マスト、人造絹絲ハ非常ニ需要
ハ進ンデ居リマスガ、然ラバ天然絹絲
ハドウナツカト言ヘバ、是亦人絹ノヤ
ウニ非常ナ高ヲ以テ殖エテハ居リマセ
ヌガ、多分十年内ニハ二倍以上三倍ニ

近イ需要高ニナツテ居ルコトモ私共承
知シテ居リマス、ソレデアリマスカラ
天然絹絲ト云フモノモ、人造絹絲ガ今
是マデニ發達シテ來テ居リマシテモ、
決シテ悲觀スベキモノデナイ、見込ガ
メヘ掛ケマシテハ鬼ニ角日本絲ガ割合
ニ亞米利加ヘバイラズシテ、支那絲、
歐羅巴絲ガ割合ニ亞米利加ニ賣レタト
云フ結果ヲ見テ居ルコトモ、是ハ無論
數字ノ上ニ明瞭ダト思ヒマス、之ヲ先
刻御話ニナリ掛ケマシタ補償法ノヤリ
方ガ惡イトカ、金解禁ガドウダト言フ
ト、直チニアナタ方ト私トハ茲ニ意見
ノ衝突ヲ來シテ、議論ニナツテシマゾテ、
押問答ニナツテ、折角大切ナ根本ノ話ガ
キマリマセヌカラ、私ハソレニハ觸レ
ナイ、サウ云フコトハ誰ガ善イカ惡イ
カ、ソンナコトハ別問題トシテ、現在
ノ状態ヲドウ救フカト云フ問題デアリ
マス、ソレニハ私ハ今ハ觸レマセヌ、
兎ニ角事實ハ只今ノヤウニ相成ッテ居
ル、之ヲドウシテ救濟スルカト云ヘバ、
マア絲ノ値段ガ只今ノヤウニ六百七十
圓トカ七百圓内外ノ所デ算盤ガ持テル
ラスト云フコトハモウ明瞭デアル、サ
ウナルト云フト、繭ヲ作ル所ノ農民ト
云フモノハ非常ニ苦痛デアツテ、是ガ引

合ハナイト云フコトニナッテハナラヌ
ノデアルカラ、之ヲドウスルト云フ問
題ガ私共當面ノ最モ必要ナ問題デ、之
ニ優ル救濟策ト云フモノハ今日ナカラ
ウト私ハ考ヘテ居ル位デアル、之ニハ
ドウスルカト云ヘバ、今農林大臣御説
明ノ如ク、言フマデモナク一粒ノ繭ヲ
改良シテ々ガ付クヤウニナリ、絲ノ質
ガ良クナリ、解舒ガ良クナル、斯ウ云
フ風ニ改良シテ行カナケレバナラナイ
ト云フコトハ、只今農林大臣モ述べラ
レマシテ、殊ニ暇ガアツタナラバ實際
ノ試験ヲ見ヨト仰シャツテ下サッタノデ
アリマスガ、私ハ實ハ是ハ多年唱ヘテ
居ルコトデアリマシテ、斯ウ云フコト
ヲ申スト、又如何ニモ嫌味ニ聞エルカ
モ知レマセヌガ、蠶ヤ繭バカリノ國デ
生レテ、其處デ育ツテ、今デモ其處ガ
選舉區ニナツテ居ルノデアリマスカラ、
ノ唱ヘテ居ツタコトデアリマスカラ、多
少デモソレガ進ンデ行クト云フコトデ
アレバ、是ハ洵ニ結構デアル、所ガ之
ヲ良クシヤウト云フノニハ、ドウシテ
モ桑園ノ改良——桑ガ良クナクチヤナ
ラヌト云フコトハ、是亦私共ノ多年唱
ヘテ居ル事デ、今新發明デモ何デモナ
イ、昔カラサウニキマツテ居ル、ソレデ
桑園ノ改良ナント云フコトニ相當力ヲ
用ヒラレテ來テ居ツタコトデアルト思

フノデアリマス、サウ云フ點ハ誰ガ早
ク氣ガ付イタトカ、何時ノ時代カラヤッ
テ居タルトカ云フヤウナ、ソンナ問題ハ
別トシマシテ、大體ノ意見ニ於テハ私
共ハ御同感デアリマス、其通リデナク
チャナラスト思フ、所ガ今實際ヲ見ル
トドウナツテ居ルカト云フト、只今農
林大臣モ一寸御觸レニナツタヤウデア
ルガ、桑園ト云フモノガ一面ニ改良サ
レルノデアリマセウガ、一面ニ頻ニ廢
サレル形ガアル、ト云フノハ今モ御説
ガアリマシタヤウニ、繭ノ生產過多—
—此處ガアナタト私ト見ル所ガ少シ達
フランシイカラ、其處ニ觸レテ御質問ヲ
シタイノデアル、サウ云フコトヲ頻ニ
言ハレ、サウ見ラレマスガ、桑畠ノ桑
ヲ抜イテ他ノ物ヲ作ル者ガ大分出來テ
居ル事實ガアル、所ガ今日マデ桑園ト
云フノハ大分獎勵ヲシテ、補助金ナド
ヲヤツテ改良シテ今日マデ進メテ來タ
モノヲ、今一朝ニシテ繭ガ生產過多ノ
如ク見エテ居ルカラト云ツテ、此桑園ヲ
廢サシメテシマフト云フコトハ果シテ
ドウデアルカ、此處ニ私ハ非常ナ疑ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ又
繭ノ改良ヲセヨト言ツタ所ガ、今日ノ如
キ狀態ニ於テハ中々資本ニモ困リマス
ルシ、改良スル仕事ヲシテ見タ所ガ、果
シテドレダケニ賣レルカ、ドウ算盤ガ
持テルカト思ヒマスカラ、此改良事業

ト云フコトニモ餘程政府ガ是ハ御考ヘ
ニナラナイト、机ノ上ノ議論ニナツテ、實
別トシマシテ、大體ノ意見ニ於テハ私
共ハ御同感デアリマス、其通リデナク
チャナラスト思フ、所ガ今實際ヲ見ル
トドウナツテ居ルカト云フト、只今農
林大臣モ一寸御觸レニナツタヤウデア
ルガ、桑園ト云フモノガ一面ニ改良サ
レルノデアリマセウガ、一面ニ頻ニ廢
サレル形ガアル、ト云フノハ今モ御説
ガアリマシタヤウニ、繭ノ生產過多—
—此處ガアナタト私ト見ル所ガ少シ達
フランシイカラ、其處ニ觸レテ御質問ヲ
シタイノデアル、サウ云フコトヲ頻ニ
言ハレ、サウ見ラレマスガ、桑畠ノ桑
ヲ抜イテ他ノ物ヲ作ル者ガ大分出來テ
居ル事實ガアル、所ガ今日マデ桑園ト
云フノハ大分獎勵ヲシテ、補助金ナド
ヲヤツテ改良シテ今日マデ進メテ來タ
モノヲ、今一朝ニシテ繭ガ生產過多ノ
如ク見エテ居ルカラト云ツテ、此桑園ヲ
廢サシメテシマフト云フコトハ果シテ
ドウデアルカ、此處ニ私ハ非常ナ疑ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ又
繭ノ改良ヲセヨト言ツタ所ガ、今日ノ如
キ狀態ニ於テハ中々資本ニモ困リマス
ルシ、改良スル仕事ヲシテ見タ所ガ、果
シテドレダケニ賣レルカ、ドウ算盤ガ
持テルカト思ヒマスカラ、此改良事業

際ハ非常ナ困難ノ狀況ニ只今アルト云
フコトヲ私ハ認メル、ソレノミナラズ、
トドウナツテ居ルカト云フト、只今農
林大臣モ一寸御觸レニナツタヤウデア
ルガ、桑園ト云フモノガ一面ニ改良サ
レルノデアリマセウガ、一面ニ頻ニ廢
サレル形ガアル、ト云フノハ今モ御説
ガアリマシタヤウニ、繭ノ生產過多—
—此處ガアナタト私ト見ル所ガ少シ達
フランシイカラ、其處ニ觸レテ御質問ヲ
シタイノデアル、サウ云フコトヲ頻ニ
言ハレ、サウ見ラレマスガ、桑畠ノ桑
ヲ抜イテ他ノ物ヲ作ル者ガ大分出來テ
居ル事實ガアル、所ガ今日マデ桑園ト
云フノハ大分獎勵ヲシテ、補助金ナド
ヲヤツテ改良シテ今日マデ進メテ來タ
モノヲ、今一朝ニシテ繭ガ生產過多ノ
如ク見エテ居ルカラト云ツテ、此桑園ヲ
廢サシメテシマフト云フコトハ果シテ
ドウデアルカ、此處ニ私ハ非常ナ疑ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ又
繭ノ改良ヲセヨト言ツタ所ガ、今日ノ如
キ狀態ニ於テハ中々資本ニモ困リマス
ルシ、改良スル仕事ヲシテ見タ所ガ、果
シテドレダケニ賣レルカ、ドウ算盤ガ
持テルカト思ヒマスカラ、此改良事業

ラヌト云フノヂヤナイ、日本ハ昔カラ
絹ノ國デ、絹デズット來タ國デ、私ノ國
ナドハ古事記時代カラ有名ナ赤引ノ國
デ、天然生絲カ柞蠶カ何カ分リマセヌ
ガ、サウ云フ神社マデアル位ナ國デア
ツテ、日本人ト云フモノハ絹ト神様ト
ハ附物ニナツテ來テ居ル特殊ノ國デア
ルカラ、國內産業トシテ茲ニ生絲ガ起
リ、ソレガ國內ニ多ク使ハレルト云フ
政策ヲ執ラレテ、亞米利加デ買ハナケ
レバ内地デ幾ラデモ使フノダ、安クナ
レバ何モ外國デ買フテ吳レナクテモ木
綿ノ代リニ日本デヤル、御承知ノ通リ
此間中——是モ敢テ公表スル必要ハア
リマセヌガ、銘仙ガ非常ニ下リマシ
テ、私ガ専門家カラ聽クト、一反二圓
位デ出來タト聽イテ居リマスガ、三圓
位デ賣レルカラ非常ニ賣レタ、ア、云
フ風ニナツテ來レバ何モ木綿ノ紺ヤナ
ンカラ著ルヨリハ銘仙ヲ著タ方ガ割ガ
宜イカラ、家ノ子供ナドニモドン／＼
銘仙ヲ著タラドウカト云フコトヲ實ハ
議論ヲシタ、サウ云フ譯デ内地デ絹ヲ
多ク使フト云フコトガ最モ必要デハナイ
ノ隨一ノモノデアルカラ、サウ云フ政
策ヲ執ラレルコトガ最モ必要デハナイ
ル所ハ極メテ良イコトデ、私ハ同感デ
アル、繭一粒デ目方ガアリ、良イ絲ガ

取レ、解舒ガ良クナルヤウニ改良ニ努メ、繩ノ共同乾燥所ノヤリ方ヲ全國ニ力ヲ入レテ國デヤリ、繩ノ検査ヲサセル、サウシテ商取引トシテハ出來ルダケ國ガ統一シテヤッテ品格ト云フモノヲ定メ、只今ノヤウナ亂雜ナ取引デ、裏カラ廻ツテ抜ケ買ヲスルヤウナ、色々ナ惡イ習慣、或ハ貿易商或ハ賣込商等ニ叩カレテシマッテ、製絲家ガ酷イ目ニ會ツテエライ安ク格付ヲサレ、賣ラナケレバ買ハヌゾト言ハレルノデ、據ロナク投賣ヲスル、コンナ事ガ出來ナイヤウニ、商取引ヲ政府ガ段々統一シテ確實ニスル、サウシテ内地ニ絹ト云フモノヲ多ク使フ方策ニシナケレバナラヌ、斯ウ云フ方面カラ論ジテ見レバ、私ハ絹織物ノ織物稅ト云フモノガドウシテモ惡イヤウニ思フ、是ハ私一己ノ考デアル、然ラバ之ニ對シテ今織物稅ヲ全廢セヨト言ツテモ、是ハ國ノ財政ガ宜シキヲ得ナケレバ良イモノデモ出來ナイニキマツテ居リマスガ、方針ノ立テ方ニハ其方ニ段々向ケテ行カナケレバナラヌ、此根柢ニ付テ今日腹藏ナイ御意見ヲ承リタイト思ツテ、農林、商工兩大臣ニオイデラ願ツタ譯デアル、織物稅ノ關係ニ付テ及バズナガラ吾々ノ考ヲ申上ゲ、兩大臣ノ根柢ノ考ヲ伺ヒタイト思ツテ

○町田國務大臣 能ク御趣意ガ分リマシタ、併シ之ニ對シテ私ガ今卽席ニ御答辯ヲスルコトハ、極メテ大膽ト思ヒマス、申スマデモナク今日マデノ日本ノ經濟界竝ニ貿易ノ立テ方ハ、主トシテ生絲ニ依リテ殆ド維持シテ居ツタ、現在モ左様デアリマス、私ハ古イ事ハ餘リ知リマセヌガ、恐ラク御維新以來、生絲ノ輸出ト云フコトニ、全力ヲ政府ガ盡シテ居ツタヤウデアリマシテ、絹ノ著物ナドハ家デハ著ズトモ構ハヌ、少シデモ多ク出ス、是ガ爲ニ日本ノ經濟ノ基礎ガ成立チ、信用ノ根據ガ之ニ因ツテ生ズルノダト云フ建前デ今日マデ來テ居ルト思ヒマス、御承知ノ通リ十二年デアリマシタカ、貿易商會ニ大枚ノ金ヲ費シテ、貿易ヲ盛ニサセタコトモ生絲貿易デアッタ、ドウモ當時ノ當業者ハ日本トシテハドウシテモ將來生絲ヲ輸出スルヨリ外ニ途ガナイト云フ一點デ進ンデ來タヤウニ思ヒマス、率直ニ申シマスト、私ハ昨年マデモ此考ガ多ク額ニ暴落シタト云フ點カラ、銘仙ノ如ナカツタカト思ヒマスガ、今ノ國產獎勵ト云フ意味カラ云フト、生絲ガ殆ド半ナイカト云フ說ガアッタノデアリマス、是ハ私モ古イ考デアリマシタガ、養蠶

獎勵ヲシテ組織物ヲ獎勵セヨト云フ意
見ガ出マシタガ、私ハ國民ニオ蠶グル
ミニセヨト云フヤウナヤリ方ハ十分腹
ニ入ラスト云フ考ヲ當時シマシタガ、
一面ニハ種々ナル原因カラ生絲ガ暴落
シテ、内地ニ二十萬桶モ堆高クナツテ
居ル、是ガ世界ノ市場ヲ壓迫シテ居ル
點カラ、如何ニシテモ之ヲ早ク消化セ
ンケレバ日本ノ蠶絲業ノ前途、竝ニ今
明年ニ掛ケマシテモ價格ノ維持ガ困難
ダト云フ點カラ、率直ニ申シマスト、
私ノ考ハ此安イ生絲ヲ毛織物ニ代ルダ
ケノ値、出來ルナラバ、之ヲ獎勵スル
ガ宜カラウト云フ考ニ多少變リマシ
タ、而シテ中央會ト相談ヲシテ、今日
ハ努メテ毛織ニ代ッテ生絲デ洋服地ガ
出來ルヤウニ、出來ルダケ努力ヲ致
シテ居リマスガ、從來ノ生絲ノ價格ヲ
回復スル時ガアルカ否ヤハ想像ガ付キ
マセヌ、恐ラクハ或ハ一俵三千圓ニナッ
タ、二千五百圓ニナッタト云フ大正八
九年ノ考ハモウイケマセヌ、併シ昨年
ノ夏マデハ千三百圓モシテ居ッタ、是ハ
何處マデ回復スルカ分リマセヌ、若シ
需要供給ノ關係、竝ニ亞米利加ヲ中心
ニシテ需要、竝ニ昨今御話ノ通リ亞米
利加ダケデハイカヌカラ、歐羅巴方面
ニ向ツテモ需要ヲ喚起スル爲ニ、中央會
ガ年々五十萬圓ヅ、宣傳費ヲ使ッテ、單
リ歐羅巴、亞米利加ノミナラズ、亞弗

利加方面ニ宣傳スルト云フコトヲヤツテ、大口サンノ亞米利加ニ局限シタヤリ方ハ產業ノ全體ノ將來ニ對シテ危險デアルト云フコトニ對シテハ、私共御五十萬圓ヅツ宣傳費ヲ使フ、是モ一ツノ販路擴張ノ方法デアリマセウガ、一面ニハ私共ガ生產費ヲ安クスルト同時ニ、此價格ヲ出來ルダケ高イ方ニ維持シテ行キタイト云フ考ガ始終アルノデアリマス、價格ヲ高クシタイト云フ意味ハ、内地ノ國產愛用ト云フ考ハ寧ロ通リ越シテ、少シデモ多ク海外ニ出シタイト云フ考ト、何時モ高クシタイト云フ考ト結付キ、ソレカラ内地デ愛用シテ、國產愛用ヲシテ外國ノ毛織物ヲ買ハズニ、羅紗ニ代ッテ之ヲ用ヒヨウデハナイカト云フ方面カラ言ヘバ、出來ルダケ生絲ノ價格ヲ安クスル考ヲ持ッテ行カナケレバナラヌノデアリマス、其處ガ甚ダ苦シイ立場デアリマスガ、出來レバ二者併用致シタイノデアリマス、併用致シタイガ、若シ二者兩立セナイト云フコトデアリマスレバ、私ハ商工大臣、大藏大臣ノ御諒解ヲ得マシテ、國產愛用ト云フヨリモ、良イ値デ多ク海外ニ出シタイト云フ考ニ重キヲ置キタイト云フノガ我國ノ現狀デアルマイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此點ガ甚ダ苦シイ所デアリマス

○大口委員 淳ニ率直ナ御答辯ヲ承
テ、只今ノ御答辯ニ満足シマス、其處
ガ私ガ昨年以來「モットー」トシテ居ル
點デアリマス、是ハ今ノ政府ヲ攻擊デ
モシヨウト思ヘバ直グ大藏大臣ニ質問
シタリ、商工大臣ニ質問シテバットヤ
ルト、是ハ餘程面白イ場面ガ茲ニ現レ
ルノデアラウガ、私ハ今日斯ウ云フ事
ヲシナイ、眞ニ國ノ爲ニ今日ハ御相談
シテ見ヨウト云フノデアルカラ、サウ
云フ意地ノ惡イ御質問ハシマセヌ、其
積リデ大藏大臣モ御聽下サラスト困リ
マス、大藏大臣ノ昨年ノ仰セデハ今ノ
ト反対デ、ドウシテモ良イ物ヲ安クシ
ナケレバナラヌト云フ御考デアッタヤ
ウデアリマスガ、此點ハ私ハ根本サヘ
立テバ實ハ大藏大臣ノ御考ノ方ニ少シ
近イノデス、ソコデ率直ナ御答辯デア
ルカラ攻撃シ兼ネルノデアリマスガ、
私ハ斯ウ云フ考ヲ持ツノデス、成程生
絲ト云フモノガ値段ガ高クナッテ多ク
賣レ、バ、農林大臣ノ仰シヤル通リー
等宜イ、併シサウハ世界ノ問屋ガ許サ
ヌ、ソコヘ持ツテ行ツテ今御話ノ通り、
支那ハ杭州ナリ蘇州ナリア、云フ處ニ
大分桑畑ガアツテ發展ヲシテ、茲ニ見込
モアル、スルト是ト對抗モシテ行カネ
バナラヌカラシテ、必ズシモ今モ御説
ガアリマシタガ、三千圓トカ云フ値
ハ容易ニ出ルモノデモアリマスマイ
ガ、假ニ千百圓、千二百圓ト云フ値ガ
出ルニシタ所ガ、之ガ一寸考ヘ物デ、支
那ノ進歩モ考ヘナケレバナラヌ、ソコ
デ私ノ始終考ヘルコトハ、アナタガ今
兩様ノ策戦ト言ハレルガ、ヤハリ兩様
ニ當ルカモ知レマセヌガ、世界ノ大勢、
殊ニ亞米利加ノ大勢ガ好クナッテ、日本
ノ生絲ガ好イ値段ニ賣レ、バ、好イ値
段ニ賣ル、サウ云フ時ニハ内地デハ木綿
ノ方ガ安ケレバ木綿ヲ使ッテ絹ヲ使ハ
ナイヤウニ國民ガシテ、成タケ外國ヘ
賣ツテヤル、安イ時ニハヤハリ日本人自
ラガ絹ヲ使ヒコナス、ソレダカラ生産
過多ト云フヤウナコトハ言ハセヌ、所
ガ茲ニ餘程相當ナ考ガナケレバナラヌ
カラ、若シ大藏大臣ニモ御考ガアレバ
此場合承ツテ、私ノ意見モ述べテ見タ
イ、ソコデ私ナドノ若イ時分ハ、ヤハリ
今農林大臣ガ言ハレマス通り、殊ニ私
ノ國ハ御承知デアラレマセウガ、最初
細谷ト云フ所ニ一番先ニ出來タ、其時
分ニ私ナドカサウ云フコトヲ始終戒メ
ラレテ、成タケ絹ヲ著ルヤウナコトハ
イカヌ、所謂オ蠶グルミハイカヌ、成
タケ木綿ノ物ヲ著テ質素ニシテ、日本
ノデ桑畑ヲ減ストカ、種ヲ減スト云フ

ヤウナ狀況ニ立至ツタ、サウシテ生産過多トアナタ方ガ言ハレルガ、今日マデニハ國家ガ容易ナラヌ努力ヲ拂ヒ、國民モ努力シ、府縣市町村ガ出セルダケノ金ヲ出シテ今日マデニヤリ上グタ、ソレヲ今日亞米利加ガ不景氣ダトカ、賣レナイト云フノデ、急ニ生絲ハソレ程ニ行カナイゾ、生産過多ダト云フノデ之ヲ縮メテシマッテ、桑烟ノ桑ヲ拔カシメルト云フヤウナコトハ、誠ニ我國數十年來ヤリ來ツタ所ノ事柄ニ反スルモノデ、私ハ根柢ヲ破壊スルト云フカ、傷ケルモノデアリハセヌカト憂ヘテ居ル、ソレダカラ之ニ對シテ生産過多ト云フコトヲ言ヒタクナイノデス、生産過多デハナイ、今言フ通り木綿ヨリモ絹ガ安ケレバ、絹織物ヲ使ハセサヘスレバ生産過多ニハナラヌ、勿論先刻言フ通り出來テ居ル絲其モノカラ言フト、サウト行カナイ、亞米利加向ノ絲ト内地向ノ絲トアルカラ、絲ニ取ラナイ前ニ考ヘナケレバナラヌ、製絲家ハ向キニ依ツテ色々ニヤリ變ヘテ行クノデスカラ、餘程ノ程度マデハ旨ク行クト私ハ考ヘマス、現ニ私ノ國ノ始終私ハ工場モ見ルシ、話モ聞イテ居ルガ、今度ハ内地向ノ註文ガアツテ引居ラヌガ、友人ハ澤山ヤツテ居ルカラ、製絲家ナドハ、今私自ラハ製絲ヲヤツテ合ツタト言ヘバ、一月ナラ一月ハ内地向

國ノ生絲ヲ生產過多ナリトナス方策、
斯ウ云フトアナタ方ニコタヘルカラ、
イヤサウヂヤナイト言ハレルカモ知レ
ナイガ、茲ニ疑ガアル、疑ナド、體裁
能ク言フガ、併シ實ハ誤ツテ居リハセヌ
カト腹ノ中デハ思ツテ居ル、ソコデ之ヲ
生產過多ニシナイ方法ガアルデハナイ
カ、ソレデ此處ヲ商工大臣ハドウ御考
ニナルカト云フコトヲ伺フ爲ニ、商工、
農林兩大臣ニ御出ヲ願ツタノデアル、ソ
コデ織物稅全廢如何ト云フコトニ對シ
テ、大臣ニ意見ヲ聞イタガ、是ハ誤ツタ
ナラバ財政上ニ宜クナリト云フ御答ヲ
承ツテ居ルカラ、農林、商工兩大臣ハ此
問題ヲドウ考ヘテ居ラレルカ承リタイ
所デアツタガ、甚ダ長クナリマシタカラ、
リマス、オ蠶グルミニシタクナイト云
フ昔ノ御考ハ、昔ハ御同感デアル、又
日本ノ生絲ノ發達ハソレデ來タニ相違
ナイ、併シ今日ハ生產過多ダ、半值ニ
モノツテ苦シイ此場合ニ生產過多ダカラ
ト云フノデ、產ヲ締メテシマツテ、亞
米利加ニ高ク多ク賣レト言ツタ所ガ、ソ
レデハ内地デ倒レル者ハ倒レテシマ
フ、今日マデニ此基礎ヲ作ルト云フコ
トハ、數十年掛ツテ容易ナコトデハナ
イ、市町村、府縣マデ力ヲ入レテヤツタ
モノデアルカラ、是ハ無論維持シナク

テハナラヌ、維持ノ出來ルヤウナ和戰兩様ノ準備ガ始終出來テ居ラナイトイケナイ、ソレガ私ノ内地ノ製品デ外國へ賣ルモノハ、内輪デモ使ハナケレバナラヌト云フ議論デアル、内輪デ使ハナイデ、人ニ使ヘト云フ時代ハ早イ時代デアッテ、モウ發達シテ來レバ自ラ使ツテ見セナケレバ人ニ物ヲ賣ルコトハ出來ナイ實情ニアル、此處ヲ能ク御相談シテ見タイ、商工大臣ノ方カラ言ヘバ、大方私ノ說ニ贊成ジヤナイカト思フガ、其處ニドウモ此内閣内ノ不統一ノ點ガアルヤウニ去年カラ私考ヘル、所ガ今苦シイ所デアルト仰シャルカラ、ソレヲドウモ農林大臣ヲ突込ムノハ忍ビヌカラ申シマセヌガ、其處マデ仰シャレバ、餘程三大臣ノ言葉ガ違ツテ居リハセヌカ、此處ヲ承ツテ見タイ、違ツテ居レバ違ツテ居ツモ宜イノデアリマス

バ宜イヂヤナイカ、御尤デアリマスガ、
是ハ實際問題トシテ考ヘテ見マセウ、
併シ一昨年ハ生絲ガ安ク、海外ニ出ル
以上ニ出來タカラ、國民ハ出來ルダケ國
產愛用デ、オ蠶グルミニセヨト云フコ
トヲヤツテ、假ニ海外ノ需要ガ相當多ク
殖エ、又内地ノ生產額ガ其割ニ殖エナ
カツタ時ハ、今度ハオ蠶グルミヲ廢シ
テ、木綿ノ方ヲ著ロト云フ結果ニナル、
其ヤリ方ハモウ少シ研究シテ見マセウ
○大口委員 ソレハ私ノ申シヤウガ惡
カツタカラサウ取ラレタガ、私ハサウ極
端ナ議論ヲ申シタノデハナイ、ソレハ
旨ク行ク譯ハアリマセヌ、今年ハ安イカ
カラオ蠶グルミニナレ、今年ハ高イカ
ラ木綿著物ニナレ、ソレハサウハ行キ
マセヌ、ソレハ私モ知ッテ居ル、サウデ
ハナイ、今度ノヤウナ場合ハ思ヒ切ッ
テ國產ヲ獎勵シテ、絹ヲ使ハセル方法
ヲ取レ、織物稅ハ全廢シテ安クシテ、
内地ノ絹ヲ使フ習慣ヲ作ル、ソレデ生
絲ノ値ガ上ツテ來レバ自然ニ外國へ行
ク、内地デハ使ハナクナル、ソコハ又其
當時ノ採算モアルシ、自然ニ國民ガ使
ハナクナル、サウシテ木綿ノ方ガ安ケ
レバ木綿ニナツテ調節ガ取レル、斯ウ云
フ場合ニハ織物稅テ全廢シテ、思切ッテ
昔ノ方針ヲ一變シテ、日本人ニ絹ヲ使
ハセルト云フ方針ヲ執ラヌカト云フ意
味ニ先ヅナルノデス、サウ言フト自然

極端ニナリマスガ、御互ニ言葉尻ヲ咎メマスト極端ナ話ニナリマスガ、事實ノ上カラ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウスルト、織物稅全廢問題ヲ承リタイガ、御考慮下サルト云フコトデアルシ、尙ホ同僚カラ此場合關聯シテ承リタイト言ツテ居リマスカラ、私ハ是デ節約シテ廢シテ同僚ニ讓リマスカラ、モウ暫ク辛抱シテオイデニナッテ、同僚ノ質問ニ對シテ御答ヲ願ヒタイ

○永田委員　此委員會ニハ餘リ關係ナイト思ヒマスガ、農林大臣ガ御見エデアリマスカラ、此際伺ツテ置キマス、二三日前ノ新聞ニ、例ノ「ストック」二十一萬桶ヲ、三月中ニ處分ナサルト云フ記事ガ見エマシタガ、五月ニナッテ新繭ガ取レル目先ニ、是ノ處分ヲナサルト云フコトニナルト、今年ノ新繭ノ價格ニ影響シヤセヌカト、私ハ心配スルノデアリマスガ、其前ニ片付ケテシマッタ方ガ、新繭ノ價格ヲ維持スル爲ニ宜イト云フ御考デアルカ、ドウ云フ御趣旨デアルカ、新聞デハ分リマセヌカラ、申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

此際一寸御説明ヲ願ヒタイ

○町田國務大臣　今ノ御尋ハ、地租委員會デ申上ゲテ宜イノカ一寸疑ガアリマス、而モ御答スルノニ、多少ノ時間ガ掛ルヤウニ思ヒマスケレドモ、只今申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○本田委員長　宜シウゴザイマス

○町田國務大臣 私ハ新聞ハ見マセヌ
デシタガ、大體ハスウナツテ居リマス、監督ヲ致シテ市況ニ害ノナイ意味合ヲ
昨年製絲家、養蠶家ヲ以テ構成シテ居ル中央會ガ主トシテ、來年ノ三月マデ
ハアノ鑑詰ニシテ居ル生絲ハ賣ラナ
イ、而シテ二月以後一箇年半ノ間ニ、五
千桶ヅ、小刻ミニ刻ンデ、餘リ市況ニ
關係ノナイ程度ニ於テ之ヲ賣出シテ行
カウ、大體斯ウ云フコトニ決メタノデ
アリマス、三月以後カラ一年半ノ間ニ、
一箇月五千桶ヅ、ヤルト云フコトニ大
體ヲ決メマシタ、ソレデ出來ルナラバ、
大口サンノ先刻御話ノ通リニ、其中ノ
十萬桶ダケハ内地ノ國產愛用ノ資料ト
大體ノ決メ方デアリマス、而シテ何故
シテ之ヲ用ヒヨウ、而シテ海外ニ輸出
スル分量ハ、其半分ニシヨウト云フ、
三月ハ一箇月休業スルコトニ相成ッテ
居ル、ソレカラ場合ニ依レバ、モウ一
箇月休業スルト云フコトノ取決メヲ致
モ減ルデアラウシ、其時ヲ手始メトシ
テ五千桶ヅ、ヤツテ行カウト云フ、大體
ノ決メデアリマスガ、農林省トシテハ
此點ニ對シテ、是ガ爲ニ今日マデノ絲
價ニ影響ヲ來ス虞ガアルナラバ、十分
注意ヲシタ上ニヤラナケレバナラヌ、
中央會ノ決定通り、必ズヤラナケレバ

ナラヌト云フ譯デハアリマセヌカラ、
監督ヲ致シテ市況ニ害ノナイ意味合ヲ
以テ實行スル積リデアリマス
○永田委員 一通り分リマシタガ、市
況ニ影響ナシトノコトニ付テ、御言明
ヘニナルノデアリマスカ、是ハムヅカ
ガ、其市況ト云フ押ハ、ドノ位ヲ御押
シイコトデアリマスガ、新繭ヲ出ス人
モ相當心配スルダラウト思ヒマス
○町田國務大臣 大體ハスウ云フ考ヲ
持ツテ居リマス、昨年ハ繭ガ一億八百萬
石出來タト云フ、從來ニナイ程ノ生產
デアリマシタガ、桑園ノ改廢五萬町歩
ヲ大ナル原因トシ、其他ノ原因ヲ加ヘ
マシテ、是ハ私トシテ責任ヲ持ツテハ申
心誠意努力シテ居ラレルガ、今日ノ如
今大口サンノ御質問ノ要點ハ、所謂亞
利加ニ輸出スル爲ニ、政府當局ハ誠
意努力シテ居ラレルガ、今日ノ如
シテ居リマスカラ、大體ニ於テ三月ハ
全部休業シテ、横濱ニ出ル生絲ノ分量
合シテ見ルト、七八分乃至一割ハ、昨年
ニ比較シテ當年ハ繭ノ減産デハナイカ
ト云フ觀測ガ多イノデアリマス、私ハ
之ヲ裏書致ス譯ニハ行キマセヌガ、此
モ減ルデアラウシ、其時ヲ手始メトシ
テ居リマセヌ、大體世ノ中ノ見方ハ八
分乃至一割減ル、斯ウ云フ計算ヲシテ
ノ決メデアリマスガ、農林省トシテハ
此點ニ對シテ、是ガ爲ニ今日マデノ絲
價ニ影響ヲ來ス虞ガアルナラバ、十分
注意ヲシタ上ニヤラナケレバナラヌ、
中央會ノ決定通り、必ズヤラナケレバ

ナラヌト云フ譯デハアリマセヌカラ、
監督ヲ致シテ市況ニ害ノナイ意味合ヲ
以テ實行スル積リデアリマス
○松井委員 只今大口サンヨリ生絲ノ
問題ニ付キマシテ、當局ニ御質問ガア
リマシタ、其序ヲ以チマシテ、私モ政
府ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス、只
持ツテ居リマス、昨年ハ繭ガ一億八百萬
石出來タト云フ、從來ニナイ程ノ生產
デアリマシタガ、桑園ノ改廢五萬町歩
ヲ大ナル原因トシ、其他ノ原因ヲ加ヘ
マシテ、是ハ私トシテ責任ヲ持ツテハ申
心誠意努力シテ居ラレルガ、今日ノ如
今大口サンノ御質問ノ要點ハ、所謂亞
利加ニ輸出スル爲ニ、政府當局ハ誠
意努力シテ居ラレルガ、今日ノ如
シテ居リマスカラ、大體ニ於テ三月ハ
全部休業シテ、横濱ニ出ル生絲ノ分量
合シテ見ルト、七八分乃至一割ハ、昨年
ニ比較シテ當年ハ繭ノ減産デハナイカ
ト云フ觀測ガ多イノデアリマス、私ハ
之ヲ裏書致ス譯ニハ行キマセヌガ、此
モ減ルデアラウシ、其時ヲ手始メトシ
テ居リマセヌ、大體世ノ中ノ見方ハ八
分乃至一割減ル、斯ウ云フ計算ヲシテ
ノ決メデアリマスガ、農林省トシテハ
此點ニ對シテ、是ガ爲ニ今日マデノ絲
價ニ影響ヲ來ス虞ガアルナラバ、十分
注意ヲシタ上ニヤラナケレバナラヌ、
中央會ノ決定通り、必ズヤラナケレバ

ナラヌト云フ譯デハアリマセヌカラ、
監督ヲ致シテ市況ニ害ノナイ意味合ヲ
以テ實行スル積リデアリマス
○永田委員 一通り分リマシタガ、市
況ニ影響ナシトノコトニ付テ、御言明
ヘニナルノデアリマスカ、是ハムヅカ
ガ、其市況ト云フ押ハ、ドノ位ヲ御押
シイコトデアリマスガ、新繭ヲ出ス人
モ相當心配スルダラウト思ヒマス
○町田國務大臣 大體ハスウ云フ考ヲ
持ツテ居リマス、昨年ハ繭ガ一億八百萬
石出來タト云フ、從來ニナイ程ノ生產
デアリマシタガ、桑園ノ改廢五萬町歩
ヲ大ナル原因トシ、其他ノ原因ヲ加ヘ
マシテ、是ハ私トシテ責任ヲ持ツテハ申
心誠意努力シテ居ラレルガ、今日ノ如
今大口サンノ御質問ノ要點ハ、所謂亞
利加ニ輸出スル爲ニ、政府當局ハ誠
意努力シテ居ラレルガ、今日ノ如
シテ居リマスカラ、大體ニ於テ三月ハ
全部休業シテ、横濱ニ出ル生絲ノ分量
合シテ見ルト、七八分乃至一割ハ、昨年
ニ比較シテ當年ハ繭ノ減産デハナイカ
ト云フ觀測ガ多イノデアリマス、私ハ
之ヲ裏書致ス譯ニハ行キマセヌガ、此
モ減ルデアラウシ、其時ヲ手始メトシ
テ居リマセヌ、大體世ノ中ノ見方ハ八
分乃至一割減ル、斯ウ云フ計算ヲシテ
ノ決メデアリマスガ、農林省トシテハ
此點ニ對シテ、是ガ爲ニ今日マデノ絲
價ニ影響ヲ來ス虞ガアルナラバ、十分
注意ヲシタ上ニヤラナケレバナラヌ、
中央會ノ決定通り、必ズヤラナケレバ

家ガ合同ヲ致シマシテ、大キナ製絲家ニナツテ、全國ノ繭ヲ一ツノ製絲家ガ買入レマシテ、之ヲ混合致シマシテ、同一ノ所謂亞米利加向ノ製絲ヲ造ルノデアリマス、同ジ蠶絲デアリマシテモ、氣候風土ノ關係上、東北ニ出來マス生絲ト關西ニ出來マス生絲ハ、自然ニ其生絲ノ出來上ツタ上ノ質ニ於テ違フノデアリマス、所ガ現在ハ之ヲ統一シテ唯亞米利加向、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、大部分靴下ノ需要ニナル生絲ニ引カレテシマフ、斯様ナ結果デアリマスニ依ツテ、ドウシテモ各種ノ織物ヲ造リマス所ノ原料ニハナラナイノデアリマス、一種ノ多量生産デ、亞米利加ノ如キ大キナ靴下工場ニ持ツテ行ツテ、其原料ニ使フト云フモノデアレバ、今ノ方針デナケレバナラナイト思ヒマスガ、各種ノ織物ヲ造リマシテ、世界各國ノ需要者ノ氣ニ入りマス織物ヲ造ルノニハ、現在ノ統一シタル輸出ノ生絲デハ、例ヲ申上グマシテモ、昔アリマシタ仙臺平ノ袴ハ今ハアリマセヌ、博多ノ帶羽二重ハ造リ得ラレヌノデアリマス、斯様ナ昔ノモノガ出來ヌコトハ内地ニ於テモ同様デ、コ、十年、十五年以前マデ、吾々

輸出業者ガ造リマシタ所ノ織物ハ、原 料ガ統一セラレテ、各種ノ原料ガ無イノデ、出來ナイ爲ニ、絹織物ノ輸出ガ減少スルノデアリマス、是ハツ左様ナ實情ヲ窺ヘテ、斯様ナ時代ニ於キマシテハ、政府ニ於カレマシテモ、何カ御對策ヲ講ゼラレル御意思ガアリヤ否ヤ、唯單ニ亞米利加向ト云フモノニ付テハ、大口サノ仰シヤツタ如ク、輸出ヲ致シマス織物業者モ實ニ困難ヲ致シテ居ルノデアリマス、又一面消費稅ノ問題ノ事モアリマシタガ、御承知ノ如ク消費稅ハ輸出織物ニハ無稅デアリマス、免稅デアリマス、併ナガラ是亦御承知ノ如ク亞米利加政府ニ於キマシテハ、五割五分ノ關稅ヲ課ケマスル上ニ、ニアルノデアリマス、是等モ時々政府ニ對シマシテ御窺ヘ申上ゲテ居ル、仍ニ昨年以來海外ニ輸出ヲスルヤウナモノ、中ニ於キマシテ、是ハ國營検査ニナツテ居リマシテ、一々検査ヲシテ、合格ハ、五割五分ノ關稅ヲ課ケマスル上ニ、ニナツタモノ、織物シカ海外ニ輸出ガ出来ナイト云フコトガ法律ニ規定シテアリマス、其検査ニ偶、不合格ニナルモノ、率デ申シマスト百分ノ中或ハ二カニ依ツテ、亞米利加政府ノ關稅ノ法律ハ

横濱ナリ、神戸ナリ、時價ノ「イン・ヴァイス」ノ上ニ日本ノ消費稅ノ一割ヲ加ヘタモノニ課稅致シマスルノデアルニ依ツテ、亞米利加政府ノ關稅ノ法律ハ五割五分デアリマスケレドモ、事實ハ六割何分ノ關稅ヲ拂フテ居ルノデアリマス、是ハ目下日本商人ト亞米利加政府トノ訴訟事件ニナツテ居リマスガ、現ハ所謂消費稅ヲ加ヘタ割ニ五割五分デアリマシテ、五分五厘關稅ヲ餘計スマス時ニ、假ニ福井カラ横濱ニ品種ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ノ生絲モナイニ依ツテ、斯様ナ昔ノモノガ出來ヌコトハ内地ニ於テモ同様デ、コ、十年、十五年以前マデ、吾々

輸出業者ガ造リマシタ所ノ織物ハ、原 料ガ統一セラテ居ルノミナラズ常ニ出荷ヲ致シマス時ニ、假ニ福井カラ横濱ニ品種ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ノ生絲モナイニ依ツテ、斯様ナ昔ノモノガ出來ヌコトハ内地ニ於テモ同様デ、コ、十年、十五年以前マデ、吾々

輸出業者ガ造リマシタ所ノ織物ハ、原 料ガ統一セラレテ、各種ノ原料ガ無イノデ、出來ナイ爲ニ、絹織物ノ輸出ガ減少スルノデアリマス、是ハツ左様ナ實情ヲ窺ヘテ、斯様ナ時代ニ於キマシテハ、政府ニ於カレマシテモ、何カ御對策ヲ講ゼラレル御意思ガアリヤ否ヤ、唯單ニ亞米利加向ト云フモノニ付テハ、大口サノ仰シヤツタ如ク、輸出ヲ致シマス織物業者モ實ニ困難ヲ致シテ居ルノデアリマス、又一面消費稅ノ問題ノ事モアリマシタガ、御承知ノ如ク消費稅ハ輸出織物ニハ無稅デアリマス、免稅デアリマス、併ナガラ是亦御承知ノ如ク亞米利加政府ニ於キマシテハ、五割五分ノ關稅ヲ課ケマスル上ニ、ニアルノデアリマス、是等モ時々政府ニ對シマシテ御窺ヘ申上ゲテ居ル、仍ニ昨年以來海外ニ輸出ヲスルヤウナモノ、中ニ於キマシテ、是ハ國營検査ニナツテ居リマシテ、一々検査ヲシテ、合格ハ、五割五分ノ關稅ヲ課ケマスル上ニ、ニナツタモノ、織物シカ海外ニ輸出ガ出来ナイト云フコトガ法律ニ規定シテアリマス、其検査ニ偶、不合格ニナルモノ、率デ申シマスト百分ノ中或ハ二カニ依ツテ、亞米利加政府ノ關稅ノ法律ハ五割五分デアリマスケレドモ、事實ハ六割何分ノ關稅ヲ拂フテ居ルノデアリマス、是ハ目下日本商人ト亞米利加政府トノ訴訟事件ニナツテ居リマスガ、現ハ所謂消費稅ヲ加ヘタ割ニ五割五分デアリマシテ、五分五厘關稅ヲ餘計スマス時ニ、假ニ福井カラ横濱ニ品種ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ノ生絲モナイニ依ツテ、斯様ナ昔ノモノガ出來ヌコトハ内地ニ於テモ同様デ、コ、十年、十五年以前マデ、吾々

輸出業者ガ造リマシタ所ノ織物ハ、原 料ガ統一セラテ居ルノミナラズ常ニ出荷ヲ致シマス時ニ、假ニ福井カラ横濱ニ品種ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ノ生絲モナイニ依ツテ、斯様ナ昔ノモノガ出來ヌコトハ内地ニ於テモ同様デ、コ、十年、十五年以前マデ、吾々

輸出業者ガ造リマシタ所ノ織物ハ、原 料ガ統一セラレテ、各種ノ原料ガ無イノデ、出來ナイ爲ニ、絹織物ノ輸出ガ減少スルノデアリマス、是ハツ左様ナ實情ヲ窺ヘテ、斯様ナ時代ニ於キマシテハ、政府ニ於カレマシテモ、何カ御對策ヲ講ゼラレル御意思ガアリヤ否ヤ、唯單ニ亞米利加向ト云フモノニ付テハ、大口サノ仰シヤツタ如ク、輸出ヲ致シマス織物業者モ實ニ困難ヲ致シテ居ルノデアリマス、又一面消費稅ノ問題ノ事モアリマシタガ、御承知ノ如ク消費稅ハ輸出織物ニハ無稅デアリマス、免稅デアリマス、併ナガラ是亦御承知ノ如ク亞米利加政府ニ於キマシテハ、五割五分ノ關稅ヲ課ケマスル上ニ、ニアルノデアリマス、是等モ時々政府ニ對シマシテ御窺ヘ申上ゲテ居ル、仍ニ昨年以來海外ニ輸出ヲスルヤウナモノ、中ニ於キマシテ、是ハ國營検査ニナツテ居リマシテ、一々検査ヲシテ、合格ハ、五割五分ノ關稅ヲ課ケマスル上ニ、ニナツタモノ、織物シカ海外ニ輸出ガ出来ナイト云フコトガ法律ニ規定シテアリマス、其検査ニ偶、不合格ニナルモノ、率デ申シマスト百分ノ中或ハ二カニ依ツテ、亞米利加政府ノ關稅ノ法律ハ五割五分デアリマスケレドモ、事實ハ六割何分ノ關稅ヲ拂フテ居ルノデアリマス、是ハ目下日本商人ト亞米利加政府トノ訴訟事件ニナツテ居リマスガ、現ハ所謂消費稅ヲ加ヘタ割ニ五割五分デアリマシテ、五分五厘關稅ヲ餘計スマス時ニ、假ニ福井カラ横濱ニ品種ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ハアリマセヌ、ソレハ造ラウニモ原料ノ生絲モナイニ依ツテ、斯様ナ昔ノモノガ出來ヌコトハ内地ニ於テモ同様デ、コ、十年、十五年以前マデ、吾々

織物ノ免稅ヲナサルト、機臺ヲ改良致シマシテ廣幅織物ヲ織ルヤウニナルテ、自然ニ消費稅ヲ免除サレルコトニナルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ意味合ヲ以チマシテ申上ゲルノデアリマス、又國ノ上カラ申シマシテモ、皆内地物ハ著尺物ハ三丈デアリマス、大キナ男ヤ女ハ三丈ノ著物ガ要リマセウガ、大概二丈八尺又ハ二丈五尺デ一人ノ著物ガ出來ル、是等ハ皆半減ニナルノデアリマス、是ハ商工省ノ御統計ニ依ルト、國ノ利益ガ如何ニナルト云フノデ、廣幅ヲ獎勵シヤウト云フテ、國カラ金マデ出サレテ獎勵ナスタ居ル、茲ニ廣幅織物ノ消費稅ヲ免除ナスタナラバ、自然ニ工業家ハ皆廣幅ニ變ヘテ、一面ニ消費稅ノ免除アルガ爲ニ改良スルノデハナカラウカト思フノデアリマス、ノミナラズ現在ノ日本ノ織物ノ著尺物ガ廣幅ニ變ルト致シマスト、海外ノ人達ハ是ハ珍シイモノデアル、一つ買ツテ歸ルト云フヤウナ工合デ、自然ニ日本ノ織物ト云フモノ、海外ノ需要ノ品種ガ殖エルノデハナイカト思レル、斯様ナ意味合ニ於キマシテ、多年私共ハ廣幅織物ノ消費免除ヲ政府ニ申出テ居ルノデアリマス、政府トシテハ、是ハ産業ノ振興ト云フ方ノ問題デ、アツテ、租稅ノ方ノ問題デハナイト云フヤウナ御答ヲナサルノデアラウト思ヒ

マスガ、是亦御考慮ヲ下サルト云フ所
マデ行ツテ居リマセヌガ、今回消費稅ヲ
減稅ニナリマシテ、當業者モ幾分ノ減稅
ハ喜ビハシマセウガ、查定率ノ一割ノ
減稅デアリマス、此一割ハ其時ノ時價
ニ依ツテ云々ト云フノデアリマシテ、是
モ毎日々々變化致シマセヌノデ、大藏
省デ查定率ガ決メテ置カレマシテ、時
時價ニ依ツテ直サレルノデアリマス
ガ、政府ノ御考ノヤウナ恩典ヲ、消費
者竝ニ之ヲ扱フ機屋ナドニ蒙ラシテ戴
キタイト云フヤウナ意見ヲ懷イテ居ル
次第デアリマス、申上ゲタイコトハ、
統計其他ニ依ツテ申上ゲマシタナラバ
長クナリマスカラ、此二點ニ對シマシ
テ政府ノ御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒ
マス

ト思ヒマス、ソコデ實ハヤリ掛ケテ見ルケレドモ、餘リ現在ノ稅額ガ大キイノト、將來内地向ガ廣幅ニ段々變ッテ行ク爲ニ、實ハ其議ハ採用スルコトガ出来ナカッタノデアリマス、金額ガ凡ソ限定サレテ居ル爲ニ、實行スルコトガ出来ナカッタヤウナ次第デアリマス○**大口委員** 今ノ松井サンノ御説ガ濟メバ、私モ同様ナコトヲ伺ヒタイト思フガ、一寸今ノ所、^デ承^ツテ置キタイ、ソレハ追窮スルデモ、言葉尻ヲ咎メルノデモナイ、事實ダケ確メテ置キタイ、其處ガ政府内部ニ非常ナ矛盾ガアル所ト思フ、商工省ノ方デハ、私共モ或物ニハ關係シタコトガアルガ、頻ニ廣幅物ヲ獎勵スル、輸出貿易ノ上ニハ廣幅物デナケレバナラスカラト云ウテ、展覽會ナドモ開イテ、國家ノ補助金デスカ、出シテ、サウシテ頻ニ廣幅ノ獎勵ヲシテ居ル、大藏省ノ方デハ今ノ議論デ、此稅ヲ廢セバ、モウ關稅以上ニ非常ナ效果ガアツテ、廣幅物ガ殖エ過ギル、收入ガ減ルカラト云フノデ、ソレニ驚イテ之ヲヤラスト云フノダカラ、ソコニ非常ナ政策ニ矛盾ガアル、ソレハ私ハアル、常ナラバ宜イガ、今日ハ不況ニ沈倫シテ、貿易ガ非常ニ危クナ^チテ居ル時代デアルカラ、國產獎勵トカ、或

ハ救濟トカ、色々言ヒマスケレドモ、一等大キナ問題デアル、ソコヲドウ調和ヲ取ルノカ、茲ニ非常ナ矛盾ガアル、政府ハドウ御考ヘニナツテ居ルカ、私ハ商工大臣ニ承リマスケレドモ、商工省ハ廣幅ヲ頻ニ御獎勵ニナツテ、貿易上ハ是デナケレバナラヌト宣傳サレテ居ルノデアルカラ、少シデモ是ガ普及サレテ餘計出ル方ガ宜イト云フ御答ニナルダラウ、サウスルト大藏大臣ハ又稅ノ方カラ驚カレル、是モ大藏大臣ノ巾著カラ言ヘバ御尤デ御同情シタイガ、ソコ非常ナ政策ノ矛盾ガアル、此處ヲ商工大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナリマス

フ要求ハ、是ハ商工省ノ主張デアリマスガ、大藏省トシマシテハ、丁度御説ノ通り財源關係デ、餘リ多クノ金額ヲ減ズルコトニナルカラ、主義ニハ決シテ異存ハナイケレドモ、其點ニ於テ財源關係カラ、サウハイカスト大藏省デ考ヘラレルコトハ、是ハアナタノ御説ノ通り御尤千萬デアル、私ノ希望ト致シマシテハ、内閣ニ於テ行政財政整理等ヲヤルト云フコトデアルカラ、其邊モ尙ホ十分併セテ能ク研究シタイト思ツテ居ル

○高橋委員 委員長

○本田委員長 一寸御發言前ニ申上ゲ

○町田國務大臣 農林省ガ大體帝蠶會

○高橋委員 成ベク簡単ニ致ス積リデ

○高橋委員 成ベク簡單ニ致ス積リデ

○高橋委員 成ベク簡單ニ致ス積リデ

○高橋委員 私ノ御問申スコトハ、餘

○高橋委員 私ノ御問申スコトハ、餘

○高橋委員 私ノ御問申スコトハ、餘

ノ通リ御尤千萬デアル、私ノ希望ト致シマシテハ、内閣ニ於テ行政財政整理等ヲヤルト云フコトデアルカラ、其邊モ尙ホ十分併セテ能ク研究シタイト思ツテ居ル

ハ、大口氏ノ意見ト多少違フヤフナコトニ——イヤ、ソレハ同ジデスケレドモ、其時分ニ御答辯ニナッタ農林大臣ノ御意見トハ、餘程幅ガアルヤウデスガ、十萬桶内地ニ御残シニナツテ、之ヲ和賣ニ向ケテ、内地向キノ原料ニスルト云

フノハ、ドウ云フ趣旨デアリマスカ、其點ヲ承ツテ置キマス

○高橋委員 私ハ永田君ノ御意見ノ如クニ、補償絲ノ海外輸出ト云フモノハ、產タル生絲ニ依ツテ洋服其他各種ノ需

要ガアツテ之ヲスルノデアツテ、海外ノ需要關係ナドヲ顧慮スルト云フヤウナ事ハ、是ハ唯附タリノ名義上ノコトデ、實際ハサウシナケレバナラヌ狀態ニコトヲ、率直ニ承ツテ見タイト思フノナツテ居ルノデハナイカドウカト云フ

○高橋委員 私ノ御問申スコトハ、餘リ簡單デアツタカラ、御理解ガ出來ナカッタト思フノデアリマスガ、私ノ申上

云フ生絲ハ、其品質ニ於テ輸出向ニハ適セヌモノガ半分以上アルノデハナイカト云フ意味ヲ、私ハ含ンデ居ルノデアリマス、是ハ天下公知ノ事實ト言

テモ、原料ガ相當乏シイト云フ市況ヲ現シタコトモアリマス、寧ロ横濱ノ輸入相場ヨリモ、地遣絲ノ相場ノ方ガ、モ是等ノ事ガ匂ツテ居ルノデアリマス、

斯ウ云フ方針ヲ決メテ居ツタノデ、之ヲ大體農林省ガ認メタ、其決議ニ向ツテ不認可ヲセズニ、届出タ決議ヲバ大體ニ於テ承認シテ居ルト云フ程度デアリスガ、十萬桶ヲ内地ニ向ケルト云フコトトニ——イヤ、ソレハ同ジデスケレドモ、其時分ニ御答辯ニナッタ農林大臣ノ御意見トハ、餘程幅ガアルヤウデスガ、十萬桶内地ニ御残シニナツテ、之ヲ和賣ニ向ケテ、内地向キノ原料ニスルト云フノハ、ドウ云フ趣旨デアリマスカ、其點ヲ承ツテ置キマス

○高橋委員 私ハ永田君ノ御意見ノ如クニ、補償絲ノ海外輸出ト云フモノハ、產タル生絲ニ依ツテ洋服其他各種ノ需

要ガアツテ之ヲスルノデアツテ、海外ノ需要關係ナドヲ顧慮スルト云フヤウナ事ハ、是ハ唯附タリノ名義上ノコトデ、實際ハサウシナケレバナラヌ狀態ニコトヲ、率直ニ承ツテ見タイト思フノナツテ居ルノデハナイカドウカト云フ

○高橋委員 私ノ御問申スコトハ、餘リ簡單デアツタカラ、御理解ガ出來ナカッタト思フノデアリマスガ、私ノ申上

云フ生絲ハ、其品質ニ於テ輸出向ニハ適セヌモノガ半分以上アルノデハナイカト云フ意味ヲ、私ハ含ンデ居ルノデアリマス、是ハ天下公知ノ事實ト言

テモ、原料ガ相當乏シイト云フ市況ヲ現シタコトモアリマス、寧ロ横濱ノ輸入相場ヨリモ、地遣絲ノ相場ノ方ガ、モ是等ノ事ガ匂ツテ居ルノデアリマス、

御承知ノ通リ生絲ノ需要ノ激甚ナルトキハ、品質ハ幾分カ低下ヲ致シマスルガ、今日ニ於テハ「セレブリン」ガ七十點或ハ七十三點以上デナケレバ、輸出向ニ相成リマセヌコトハ御承知ノ通りアリマス、ソレデアリマスカラ此補償生絲ト云フモノハ、其以下ニ落チテ居ルモノガ大半ヲ占メテ居ルノデハナイカ、之ニ就テモ私ハ色々ナ事ヲ聞いて居ル、デアリマスルガ、サウ云フ原因ニ依ツテ、半分ダケハ海外ニ賣ラウト云ツテモ、賣レナイ品物ヲ補償絲ニ取ツテ居ツタノデハナイカ、斯ウ云フ私ハ疑問ヲ持ツテ、此意味ノ質問ヲ含メテ伺ツテ居ツタノデアリマス、之ニ對シテ御意見ヲ伺ヒマス

リマスルト、五十萬俵、六十萬俵ト出
テ居ル總高ノ、一割以上ニハ上ラヌヨ
トハ明カデアリマス、他ノ九割ハ御話
ノ通リ「セレブリン」ノ七十或ハ七
五、或ハ八十五ト云フヤウニ、相當良
イ物ガ多イガ、平均シテ最優等ト稱ス
ルモノハ、從來輸出高ノ一割位ハ先ヅ
アルト御承知下サツテ宜カラウト思ヒ
マス、初メ其所謂最優等ニ屬スル絲ガ
相當多ク入ツタト云フ事實ハアツタノデ
アリマス、而シテ斯様ナ絲ニ對シテ
ソレ以下ノ絲ニ對シテハ、貸出ヲ
受ケタ者ガ責任ヲ取リマシテ、補償注
ノ出動シマシタ法律ノ關係スル所デ
ハ、左様ナ最劣等ノモノニ向ツマデ
モ、總テ補償スルト云フ關係ニハナ
テ居ラヌ爲ニ、爾來貸出ノ際ニハ餘程
調査ヲシテ貸出シ、或ハ惡イ物等ハ取
換ヘサセタ事實モアリマスカラ、今ア
リマス融資補償法ニ依ツテ貸出ヲシテ
居ル十四萬桶餘ノモノハ、一年鐘詰ニ
シテ居ツタ爲ニ多少——一俵ニ付テ三
十圓トカ五十圓位ハ「アローランス」
ヲ置カナケレバナラヌサウデアリマス
ガ、御話ノヤウナ地遣絲ニ廻サンケレ
バ海外ニ賣レナイト云フ意味ヲ以テ、
地遣絲ニ廻シタト云フコトハ、大體ニ
於テナイト思ヒマス、或ハ一部御話ノ
ヤウナコトガ、出動ノ初二ハ惡イ絲ガ
入ツタト云フコトガアリマシテ、ソレハ

取替モサセマシタシ、以後非常ナ警戒、
調査ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、大體
ニ於テハ御心配ノヤウナコトハナイト
思ヒマス、畢竟シマスルニ、二十萬桶
ヲ横濱ニ積ンデ居ツテハイケナイ、之ヲ
全部海外ニ出スニシテモ、歐羅巴、亞
米利加ノ市況ニ悪影響ヲ及ボスカラ、
出來得ルナラバ、海外ノ供給ガ之ニ
トガ出來ルナラバ、内地ノ織場ノ需要ト相俟ツテ、之ヲ地方ニ
依ツテ過剰ヲ生ズル惧レガナイヤウニ、
内地織場ノ需要ト相俟ツテ、之ヲ地方ニ
ヤルト云フヤウナコトデ、御話ノヤウ
ナコトハ、一部ハ或ハアルカモ知レマ
セヌガ、大體ニ於テハ其御心配ハナイ
筈ト考ヘテ居リマス

○町田國務大臣 私ハ出來ヤウト思ヒ
マス、早速蠶絲局長ヲ呼ビマスカ、或
ハ材料等ハ明日マデニ出來ルダケ御廻
シスルヤウニ致シマセウ
○高橋委員 其結果ニ付テ尙ホ承リマ
スルガ、私共ハ其當時新聞紙ヲ通ジ、
又當業者ノ間ノ話柄ヲ能ク耳ニ致シテ
都合デ急ガレタト云フコト、其他ノ
關係ヲ以チマシテ、當時ハ無検査デ保
管ヲ致シテ、之ニ千二百五十圓ノ金ヲ
銀行ヲシテ貸サシメタト云フコトヲ、
吾々ハ承ツテ居ルノデアリマス、ソレデ
後ニ至ツテ之ヲ検査ヲ始メテ、大分不正
ナ——不正ナト云フト誤弊ガアリマセ
ウケレドモ、不良ナル絲、詰リ標準ニ満
タナイ絲ガ澤山アツタ、斯ウ云フコトニ
承ツテ居ルノデアリマス、先程農林大臣
ハ、何故ニカ今日ノ一番輸出絲デ悪イ
ノガ、最優等ト云フノガ、如何ニモ立派ナ絲ナ
リト云フ、斯ウ云フ意味ニモ一寸誤解
サレルノデアリマスガ、是ハモウ御承
知置キノ通り、最優等ト云フノハ、唯
太上一番物ト云フ格ヲ標準トシタノ
デ、即チ信州ノ太絲ノ一番良イ絲ヲ標

準ニシタ、サウシテ値段ヲ定メタノデ
アリマスガ、品位ト云フモノハ、段々
向上致シテ居ルノデアリマス、是ガ優
等格ガアリ、最優等格ガアリ、「グラン
ド、エキストラ」ガアリ、「ダブル、エキ
ストラ」ガアリ、「グレーント、グラン
ド、エキストラ」ガアルト云フヤウナコト
ニナツタノデアリマス、餘リ優等々々
カラ、其最優等格ト云フモノガ、一
番オシマヒニナツテシマッタモノデアリマ
ト云フ物ガ出テシマッタモノデアリマ
スカラ、信ジテ居ルノデアリマス、何モ不思議
ハナイノデアリマス、ソレデアリマス
カラ、此最優等以下ノ格ニナツテ居ル絲
ト云フヤウナモノハ、今日到底輸出絲
ニハナラナイノデアリマス、普通ニハ
一割位アリマセウ、併ナガラ此補償絲
ニ取ツタナラバ無検査ダト云フコトカラ
シテ、製絲家ガ金融難ニ陥ツテ居ル今日
デアリマスカラ、無暗ニ絲ヲ挽イテシ
マツタ、其爲ニペケ絲ガ非常ニ多クナツ
タト云フコトヲ、吾々ハ耳ニシテ居ル
バカリデナク、當業者ハ公然ノ祕密ニ
シテ之ヲ言ツテ居ルノデアリマス、補償
法ノ發動ノ不成功ニ終ツタ原因ノ半分
モ、此邊ニアルノヂヤナイカト當業者
ハ今日唱ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フコトデアリマスカラ、吾々ハ此問
題ヲ重大視致シテ居ルノデアリマス、
モウ一つ先ニ言ヘバ、農林大臣ハ尙ホ

能ク御分リデアル、新聞紙上アタリニ
當時出テ居リテ、翌日掲載禁止ニナツタ
トカデ、一日ダケデ消エテシマッタノデ
アリマスガ、神戸ニ於ケル補償絲ト云
フモノハ、是ノ大半ト云フモノハ、支那
絲ガ入ツテ居ルト云フコトハ、農林大臣
モ御承知ダラウト思フ、御耳ニハ少ク
トモ入ツラウト思フ、是ハ如何デス
○町田國務大臣 最優等ニ對スル今ノ
御意見ハ、私ガ先刻申シタ事ト大體變
更ハアリマセヌ、ソレカラ私ハ何モ事
實ヲ隱蔽モ致サヌ、從前申上ゲタ通リ
ハナイノデアリマス、ソレデアリマス
カラ、此最優等以下ノ格ニナツテ居ル絲
ト云フヤウナモノハ、今日到底輸出絲
ニハナラナイノデアリマス、普通ニハ
一割位アリマセウ、併ナガラ此補償絲
ニ取ツタナラバ無検査ダト云フコトカラ
シテ、製絲家ガ金融難ニ陥ツテ居ル今日
デアリマスカラ、無暗ニ絲ヲ挽イテシ
マツタ、其爲ニペケ絲ガ非常ニ多クナツ
タト云フコトヲ、吾々ハ耳ニシテ居ル
バカリデナク、當業者ハ公然ノ祕密ニ
シテ之ヲ言ツテ居ルノデアリマス、補償
法ノ發動ノ不成功ニ終ツタ原因ノ半分
モ、此邊ニアルノヂヤナイカト當業者
ハ今日唱ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フコトデアリマスカラ、吾々ハ此問
題ヲ重大視致シテ居ルノデアリマス、
モウ一つ先ニ言ヘバ、農林大臣ハ尙ホ

能ク御分リデアル、新聞紙上アタリニ
當時出テ居リテ、翌日掲載禁止ニナツタ
トカデ、一日ダケデ消エテシマッタノデ
アリマスガ、神戸ニ於ケル補償絲ト云
フモノハ、是ノ大半ト云フモノハ、支那
絲ガ入ツテ居ルト云フコトハ、農林大臣
モ御承知ダラウト思フ、御耳ニハ少ク
トモ入ツラウト思フ、是ハ如何デス
○町田國務大臣 最優等ニ對スル今ノ
御意見ハ、私ガ先刻申シタ事ト大體變
更ハアリマセヌ、ソレカラ私ハ何モ事
實ヲ隱蔽モ致サヌ、從前申上ゲタ通リ
ハナイノデアリマス、ソレデアリマス
カラ、此最優等以下ノ格ニナツテ居ル絲
ト云フヤウナモノハ、今日到底輸出絲
ニハナラナイノデアリマス、普通ニハ
一割位アリマセウ、併ナガラ此補償絲
ニ取ツタナラバ無検査ダト云フコトカラ
シテ、製絲家ガ金融難ニ陥ツテ居ル今日
デアリマスカラ、無暗ニ絲ヲ挽イテシ
マツタ、其爲ニペケ絲ガ非常ニ多クナツ
タト云フコトヲ、吾々ハ耳ニシテ居ル
バカリデナク、當業者ハ公然ノ祕密ニ
シテ之ヲ言ツテ居ルノデアリマス、補償
法ノ發動ノ不成功ニ終ツタ原因ノ半分
モ、此邊ニアルノヂヤナイカト當業者
ハ今日唱ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フコトデアリマスカラ、吾々ハ此問
題ヲ重大視致シテ居ルノデアリマス、
モウ一つ先ニ言ヘバ、農林大臣ハ尙ホ

能ク御分リデアル、新聞紙上アタリニ
當時出テ居リテ、翌日掲載禁止ニナツタ
トカデ、一日ダケデ消エテシマッタノデ
アリマスガ、神戸ニ於ケル補償絲ト云
フモノハ、是ノ大半ト云フモノハ、支那
絲ガ入ツテ居ルト云フコトハ、農林大臣
モ御承知ダラウト思フ、御耳ニハ少ク
トモ入ツラウト思フ、是ハ如何デス
○町田國務大臣 最優等ニ對スル今ノ
御意見ハ、私ガ先刻申シタ事ト大體變
更ハアリマセヌ、ソレカラ私ハ何モ事
實ヲ隱蔽モ致サヌ、從前申上ゲタ通リ
ハナイノデアリマス、ソレデアリマス
カラ、此最優等以下ノ格ニナツテ居ル絲
ト云フヤウナモノハ、今日到底輸出絲
ニハナラナイノデアリマス、普通ニハ
一割位アリマセウ、併ナガラ此補償絲
ニ取ツタナラバ無検査ダト云フコトカラ
シテ、製絲家ガ金融難ニ陥ツテ居ル今日
デアリマスカラ、無暗ニ絲ヲ挽イテシ
マツタ、其爲ニペケ絲ガ非常ニ多クナツ
タト云フコトヲ、吾々ハ耳ニシテ居ル
バカリデナク、當業者ハ公然ノ祕密ニ
シテ之ヲ言ツテ居ルノデアリマス、補償
法ノ發動ノ不成功ニ終ツタ原因ノ半分
モ、此邊ニアルノヂヤナイカト當業者
ハ今日唱ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フコトデアリマスカラ、吾々ハ此問
題ヲ重大視致シテ居ルノデアリマス、
モウ一つ先ニ言ヘバ、農林大臣ハ尙ホ

製絲家ノ成金ガ出來タト云フ、支那絲ヲ日本ノ絲トシテ納メナケレバナラヌノデアリマスカラ、其名義ノ借料ハ千斤ニ付テ二百圓ヅ、取タト云フコトガアルノデアリマス、是ハ當業者間ノ公然ノ祕密ト致シテ分ッテ居ルノデアリマス、ソレデ或ル者ハ、吾々ハ粒々刻苦眞面目ニヤツテ居ッテ、非常ナ損失ヲ來シテ居ル、然ルニ早ク店ヲ閉デテ名義ヲ貸シテ、成金ニナツタナド、云フコトハ、是ハ怪シカラヌ事デアルト言ツテ居ル、況ヤサウ云フ支那絲ヲ如何ナル者ガ取扱ッタカト云フト、少シモ絲ナドニ關係ノ無イ、支那ノ雜貨ヲ取扱ッテ居ル貿易商ノ手ヲ經タノデアルト云フコトデ、益々是ハ怪シイ筋合ノモノデアルト、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス

○町田國務大臣 委員長ヲ通ジテ高橋サンニ御相談致シテ見タイト思ヒマスガ、米穀委員會ニ於キマシテ、昨日來總理ト私ト列席ノ所デ質問シタイト云フコトデ、昨日來要求ガアリマシタガ、總理ハ貴族院ノ本會議、豫算委員會等デ出ラレナカツタ、只今僅カノ時間ヲ以テ米穀委員會ノ方ニ縁合セテ出タ、ソニ、十萬桶位ハ出來ルナラバ内地ノ地レニ私ガ參ラヌト質問ガ出來ヌト云フコトヲ、向フデ言ツテ居ラレマスカラ、相成ベクハアナタノ専門的ノ御質問ノ、私カラ答辯ヲ申上ゲテモ不便ナヤ

○大口委員 ソレナラ今ノハ已ムヲ得スマセヌカラ、今ノニ關聯シテ唯一ロ市價ヲ賣出サレルトシマスト、内地ノ萬桶ヲ賣出サレルトシマスト、之ヲ製絲家ハ非常ニ心配シテ居リマス、ソレカラ壓迫シナイトシテモ、今日ノ相場ハ確々カリ存ジマセヌガ、多分二三日前六百七十圓位カト思ヒマスガ、

○町田國務大臣 チヨット私ハ今ノ御質問ノ趣意ガ十分了解致シマセヌガ、ウナコトニナリマスレバ、製絲家等モ

○高橋委員 今農林大臣ガ他ノ委員會へ御出席ノ所ヲ御止メ申シテハ相濟ミテオイデ下サルト云フコトデアリマスカラ、其時分ニ十分ナ質問ヲ致サウト

○大口委員 只今ノ御質問ハ明日ニ御讓リ下サイマシテ、御諒解ヲ得タイト思ヒマス、是ガ爲ニ生絲トシテ生産高ノ減ル分量ガ自ラ此處ニ出マス、ソレト海外ノ需要ハ左様減ジテ居ラヌ

○高橋委員 今農林大臣ガ他ノ委員會へ御出席ノ所ヲ御止メ申シテハ相濟ミテオイデ下サルト云フコトデアリマスカラ、其時分ニ十分ナ質問ヲ致サウト

○大口委員 只今ノ御質問ハ明日ニ御讓リ下サイマシテ、御諒解ヲ得タイト思ヒマス、是ガ爲ニ生絲トシテ生産高ノ減ル分量ガ自ラ此處ニ出マス、ソレト海外ノ需要ハ左様減ジテ居ラヌ

○高橋委員 今農林大臣ガ他ノ委員會へ御出席ノ所ヲ御止メ申シテハ相濟ミテオイデ下サルト云フコトデアリマスカラ、其時分ニ十分ナ質問ヲ致サウト

○大口委員 只今ノ御質問ハ明日ニ御讓リ下サイマシテ、御諒解ヲ得タイト思ヒマス、是ガ爲ニ生絲トシテ生産高ノ減ル分量ガ自ラ此處ニ出マス、ソレト海外ノ需要ハ左様減ジテ居ラヌ

○高橋委員 今農林大臣ガ他ノ委員會へ御出席ノ所ヲ御止メ申シテハ相濟ミテオイデ下サルト云フコトデアリマスカラ、其時分ニ十分ナ質問ヲ致サウト

太郎君ハ當業者ノ利害ヲ代表サレテ是
ハ却テ亞米利加アタリカラシテ「ダン
ピング」ヲヤルノダ、不當廉賣ダ、內
地ノ物ニ一割ノ稅金ヲ課ケテ、外國ノ
物ニソレダケノ稅金ヲ戻スト云フコト
ハ、ソレダケ外國ノモノニ安ク賣ルト
云フコトニナルノデアルカラ、不當廉
賣ダトシテ其不當廉賣法ニ依ツテ處置
ヲ致シタ、ソレデ五割五分ノ稅金ガ六
割五分トナル、又一方ニ於キマシテハ、
加奈陀ニモ之ニ類スル、多少方法ハ違
ヒマスケレドモ、之ニ類スル方法ガ行
ハレテ居ルト私共ハ考ヘテ居ル、寧ロ
加奈陀ノ方ハ一步先ニヤツタノデハナ
イカトモ吾々ハ承知致シテ居ルノデア
リマス、サウスルト云フト日本ノ輸出
絹織物ノ二大市場デアル加奈陀、亞米
利加ニ於テ、斯ウ云フ取扱ヲ受ケルト
云フコトハ、當業者ガ非常ニ苦痛トシ
テ居ル、寧ロ全廢カ、ソレデナケレバ
戻稅等ノナイ方ガ却テ輸出ガ促進サレ
ルノデハナイカト云フ議論サヘ、今日
當業者間ニ行ハレテ居ルノデアリマ
ス、先程松井君ヨリ言ハレタ通リニ、
戻稅アルガ爲ニ色々煩雜ナル手續ヲ致
シ、ソレガ爲ニ商機ヲ逸スルコトガ少
クナイノデアリマス、ソレデ寧ロ是ハ
全廢シテ戴クカ、ソレデナケレバ戻稅
ナドヲ止メテ貰ツテ、其他ノ保護獎勵ノ
方法ニソレダケ變ヘテ貰ヘバ、其方ガ

宜シイト云フコトガアルノデアリマス、先程大藏大臣ハ之ニ對シテ織物稅ノ全廢ハ非常ニ希望スルガ、併ナガラ是ハ稅額ガ大キイカラ、ソコニ手ガ届カヌカツタ、斯ウ云フヤウナ仰セガアルノデス、併ナガラ今日ハ貿易上ノ「バランス」ヲ圖ルト云フノデ、非常ニ色々ナル犠牲ヲ拂ハレテ居ルノデアリマス、ソレデアルカラ國家ガ受ケル所ノ、國民ノ受ケル所ノ犠牲ト云フモノハ、二千萬圓ヤ三千萬圓ノ犠牲ドコロヂヤナイ、ソレデアリマスルカラ當然輸出貿易ノ大宗デアル生絲ト云フモノハ「ローシルク」、即チ生ノ絲トシテ之ヲ出サズ、織物ニシテサウシテ工賃ヲ、或ハ資本ヲソコニ加ヘテ出スト云フコトハ、今日大切ナル事柄ニナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ此場合何トカシテ目的ヲ貫徹セシムルト云フコトハ、必要ノコトヂヤナイカト云フコトハ、是非ハ議論ノ一致シテ居ル所デアリマス、ソレニ對シテ大藏大臣ノモウ一應ノ御答辯ヲ煩シタイノト、商工大臣ニハ之ニ對シテドウ云フ御考ヲ御持チニナルカ、モウ一層ハツキリ一ツ此場合御答辯ヲ願ヒタク、是ハ重大ナ問題デアル〇井上國務大臣 先頃松井君ニ答辯申上ゲタヤウニ、織物消費稅ヲ戻稅シヨウト思ヒマシテ、種々様々ナモノヲ研究シタ、一つノ研究事項ノ中ニ、松井

君ガ提供セラレタ通リノコトヲ研究致シマシタ、併シ現在ノ稅額ガ可ナリ大キイノト、ソレカラ廣幅物ヲ無稅ニ致シマスト、内地ノ小幅物モ廣幅物ニズ、ト變ツテ行クト云フコトハ、是ハ當然ノ理ト考ヘルノデアリマス、サウシマストソコニ戻稅額ト云フモノハ非常ナ巨額ナモノニナルノデアリマシテ、到底今度ノ二千五百萬圓ト云フ限定サレタ金額ヲ減稅スルト云フコトニハ不可能デアリマシタノデス、サウ私ハ御答辯申上ゲタインデアリマス

ウ云フコトニ考ヘマスルカラ、戻税ヲ輸出ノ絲價ヲ、戻税ヲ加ヘタモノニ致シマシテ、サウシテ亞米利加ノ輸入課税ヲ致シテ居ルノデアリマス、其點ニ於テハ戻税ノ問題ガ亞米利加ニ對シテハ餘リ利カヌト云フコトニナツテ參リマスケレドモ、併ナガラ我國ノ輸出國ハ無論他ニモアルノデアリマスカラ、輸出獎勵ノ爲ニ戻税ヲ致シマシテ、サウシテ其戻税ダケ生産費ヲ下グテ、輸出ノ増進ヲスルト云フコトハ、是ハ至極望マシイコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ今戻税ヲ止メタ方ガ宜カラウト云フコトノ當業者ノ考ハソレハ議論トシテハ、感情ノ論ト致シマシテハ、或ハドウモサウ云フコトガアルカモ知レマセヌガ、商工當局トシマシテハヤハリ戻税ヲシテ、サウシテ翹望シマスヤウナ輸出増進ノ便宜ヲ圖ルト云フコトハ望マシイコトデアル、更ニ一步進ンデ一層織物ニ廢スルコトニスレバ尙ホ結構デアリマスガ、是ハ財政ノ關係上サウドウモ商工省ノ言フ註文通リニ參ラヌコトハ無論申上ゲルマデモナイコトデアリマス

ケレバ出來得ルノデハナイカト思フノ
デアリマス、當業者ハ之ニ依ツテ非常ナ
助カリヲシ、海外ノ紛爭モナクナルノ
デアリマス、一割ト云フモノハ非常ナ
大キナモノデアリマス、當業者ハ二分
カ三分ノ利益ヲ争ツテ居ル中デ、一割ノ
上下ト云フモノハ非常ニ大ナル數字デ
アリマス、サウ云フコトヲ考慮致シマ
ス時ニ於テ、海外ノ誤解ヲ受ケ、不當
廉賣デアルト云フヤウナ紛爭ヲ避ケ、
一面豫メ納入シテ戻税シテ貰フト云フ
コトヨリハ、初カラ其稅額ト云フモノ
ハ納入ヲシナイト云フコトガ、私ハ最
モ賢明ナヤリ方デナイカト思フノデ
ス、輸出羽二重バカリヤル譯ニ行カヌ、
輸出ノ其他ノ絹織物バカリニヤルト云
フト、又茲ニ問題ガ出來マスガ、是等
ノコトハ一遍ニサウ廣幅物ヲ獎勵シタ
カラト云ツテ、廣幅物ニナラスト同ジコ
トデアリマスカラ、或ハ此場合廣幅物
全部ヲ所謂戻税ノ恩典ト同ジヤウナ工
合ニ免稅シテモ、國家ノ收入ト云フモ
ノハソンナニ驚カレル程ノ大ナル數字
ハ出テ參ラヌト私ハ考ヘテ居ルノデア
リマス、ソレデアリマスカラ廣幅物ニ
對シテ此場合私ハ全部免稅ヲシテ、一
面ニ於テハ產業ノ獎勵ニナリ、一面デ
ハ輸出絹織物業ノ苦境ヲ之ニ依ツテ救
フト云フコトガ必要デハナイカ、國際

モ、國家ノ富ヲ増進スル上ニ於テモ、
輸出ノ金額ヲ増加スルト云フコトハ、
何ヨリモ大切ナコトデアリマスルカラ、
其意味ニ於テ私ハ考慮ヲ拂ハルベキモ
ノデナカッタカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居
ルノデアリマスルガ、之ニ對シテ商工
大臣竝ニ大藏大臣ノ御意見ヲ拜聽致シ
タイト思ヒマス

致シマス織物ニ付キマシテハ、總テ消費稅ノ免除ヲ得ルコトガ出來ルノデアル、ソレデ其製造場カラ引取りマス際ニ、其都度稅務署ノ承認ヲ受ケテ、免稅ヲ受ケルト云フ方法モザザイマス、私共ノ方デ都度承認ト申シテ居リス、但シ此輸出ノ目的ヲ持ツテ居ル織物ノミヲ製造致シテ居リマス場所ニ於キマシテハ、稅務署ニ於テ取締上不都合ガナイト認メマシタ時ニハ、承認省略ト申シマシテ、其承認ヲ省略シテ、サウシテ免稅ノ手續ヲ致シテ居リマス、ケレドモ只今仰セニナリマシタヤウニ、消費稅ヲ納付シタル織物ヲ外國ニ輸出スル場合ガゴザイマスカラ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、勿論戻稅即チ私共ノ方デ申ス交付金ト云フモノヲヤルノデアリマス、併ナガラ外國ニ輸出致シマス織物ノ戻稅ノ場合ト、免稅ノ場合ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト申シマスト、免稅ノ場合ノ方ガ非常ニ多いノデアリマシテ、例へバ最近昭和四年度ノ數字ヲ申シマスト、外國輸出ノ爲ニ織物消費稅ヲ免除セラレマシタ織物ノ總計ハ、一億三千百八十萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレデアリマスカラ之ヲ一割ノ稅額ト見マスト、約千三百萬圓モ外國輸出ノ織物ハ免稅ヲ受ケテ居ルノデアル、之ニ反シテ織物消費稅ヲ納メテ、サウシテ外國ニ輸出

致シマシタノガ——交付金トナリマスノガ、昭和四年度ノ實績ニ於キマシテハ、僅ニ二十一萬圓デゴザイマスカラ、外國ニ輸出致シマス織物ハ、原則トシマシテ、戻税ニナリマス場合ハ極メテ尠イ、例外ノ場合ナノデゴザイマス○高橋委員 只今實績ヲ承ッテ見ルト云フト、豫メ免稅ニナル場合ガ多イ、交付金ノ形ニ於テ戻税ヲ受ケルモノハ僅カデアルト云フコトハ御説ノ通リデアリマセウ、併ナガラ當業者ハ非常ナル不便不利ヲ忍ンデヤツテ居ルノデアリマス、御承知置ノ通リ是ハ產地カラ直グ輸出スルノダト云フコトヲ證明ヲ付ケテ出シ得ル取引ト云フモノハ、今日ノ相場ノ變動ノ激シイ時分ニハ中々困難デアル、盛況デ需要先ガ非常ニ慌テ、居ル場合ニハ何デモナイノデアリマスガ、見送ツテ居ルヤウナ商勢ノ場合ニハ中々ムヅカシイ、一旦濱ナラ濱ノ輸出商ノ手許ニ届イテ、ソレカラ輸出ヲスルト云フヤウナ順序ニ相成ツテ、多少ノ餘裕ヲ茲ニ置クト云フコトガ商機上必要デアル、ソレヲ急イデ免稅ヲ受ケル手續ニナルト云フコトニナリマスト、茲ニ無理ガ生ズル、即チ相場ヨリ幾分安クツテモ我慢シテ賣込ムト云フヤウナ、茲ニ大ナル弊害ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今實績

ハス様デアルカラト申サレマスケレド
モ、之ニハ當業者ノ非常ナ不利益、非
常ナ犠牲ガアルト云フコトヲ御考ニナ
ラナケレバ相成ラヌト思フノデアリマ
ス、實績ガ是ダカラ差支ガナイト云フ
ノデハイケナイ、此實績ノ裏ニハ茲ニ
隠レタル當業者ノ非常ナ犠牲ガアルト
云フコトヲ能ク御考ヲ願ハナケレバナ
ラヌト私ハ考ヘテ居リマス、ソレデ商
工大臣モ御承知ノ通り、曩ニ輸出物ニ
對シテハ——殊ニ羽二重等モ含ンデ居
ルノデアリマセウガ、運賃ガ比較的高
イモノハ鐵道運賃ヲ免除シテヤルト云
フケレドモ、少シモ免除ニナラヌト云
フテ、恩典ヲ受ケナカッタ當業者ガ不平
ヲ言ツテ居ルノデアル、其後幾分緩和サ
レタヤウデアリマスガ、車積ミニシナ
ケレバナラヌト言ハレル絹織物ヲ車積
ミデ出スト云フコトハ、是ハ到底覺束
ヌコトデアリマス、ソレデナケレバ頗
積ミニシナケレバナラヌ、船ニ積ムノ
ニ波止場ニ横著ケニシナケレバ鐵道運
賃ハ割引カヌト云フヤウナ、實情ニ適
サナイコトヲ致シテ、折角ノ鐵道運賃
ヲ引下グテ輸出ヲ獎勵スルト云フ所ノ
名目ダケデ、實行サレズニ濟ンデシマ
タノデアリマス、ソレデ昨年秋方ニ於
テ幾分カ訂正サレタヤウデアリマス
ガ、其點ハドウ云フコトニナツテ居リマ
スカ、是ハ產業上非常ナ關係ガアリマ

スカラ、大體ノ事ヲ商工大臣カラ承^ツテ見タイ、且ツ只今私ガ申上ゲテ青木政府委員カラ御説明ニナツタ表面ノ事實ノ外ニ、當業者ノ大ナル犠牲ト云フモノガ其蔭ニ潛ンデ居ルト云フコトノ意見ニハ御同意デアリマスカ、ソレトモ私ノ意見ガ間違^ツテ居リマスカ、此場合ニ商工大臣ヨリ當業者ノ味方トシテ御答辯ヲ願ヒタイ

○侯國務大臣 此戻税ノ手續ニ付テハ當業者ガ大變ニ困ルト云フコトハ、先ニモ松井君ノ御話ノ中ニモアリマシタ、又只今ノ高橋君ノ御話ノ中ニモアリマシタ、ソレデ屢々伺^ツテ居ルノデアリマス、ソレデ其手續ニ付テ、省ケル手續ハ出來ルダケ省イテ、所謂事務簡捷ヲヤッテ貰ヒタイト云フコトハ、ソレハ常ニ大藏當局ト御話モシ交渉モ致シテ居ルノデアリマス、高橋君ノ今ノ御趣旨ハ勿論商工省ト致シマシテハ御同感デアリマスカラ、尙ホ今後ト雖モ其手續ニ付テハ出来ルダケ省ケル手續ハ省クト云フコトハニ、私共ハ致シタイト希望致シテ居ルノデアリマス、鐵道運貨ニ付キマシテニ付キマシテモ、或ハ鐵道運貨ニ付キマシテモ、輸出ヲ獎勵致シマス爲ニ出ルダケ便宜ヲ與ヘルト云フ目的カラ

ラ、サウ云フコトヲ致シテ居ツタノデア
リマス、併ナガラ其實際ハ今丁度御話
ノ如ク、或ハ此適用ニ不便デアルト云
フコトモアルデアリマセウ、是等ニ付
テモヤハリ鐵道當局ト段々交渉致シマ
シテ、出來ルダケサウ云フ折角ノ恩惠
ヲ設ケテモ、其恩惠ノ適用ガナイト云
フコトニナルノハ甚ダ困リマスカラ、
出來ルダケ緩和スルコトニ致シテ居ル
ノデアリマス、併ナガラ鐵道省モ亦御
承知ノ通リニ收入減ト云フモノガ祟リ
マスカラ、或ハ吾々ノ考ヘテ居リマス
ヤウナ工合ニハドウモ行兼ネル點モゴ
ザイマセウ

○高橋委員 尚ホ商工大臣ニ承リタイ
コトガ残ツテ居リマスルケレドモ、他ノ
機會ニ譲リマシテ、何カ武田君ガ私ノ
先ニ質問シタコトニ關聯シタ問題ヲ請
求サレテ居ル筈デアリマスカラ、今ノ
質問ハ是ダケニシテ、後デ又承リマス
○武田委員 私ハ幸ニ商工大臣ト大藏
大臣御列席ノ場合デアリマシテ、極メ
テ好機會ト存ジマスルノデ、一二御伺
致シタイト思フノデアリマス、私ハ減
稅案ヲ審議致シマスルニ當ツテ、財源ノ
問題ガ重點ノ一ツデアルト實ハ思ツテ
居ルノデアリマス、隨テ適當ナ機會ニ
大藏大臣ニ財源ノコトニ付テ色々御伺
致シタイト實ハ思ツテ居ルノデアリマ
スガ、ソレニ付キマシテ大藏大臣ガ衆
議院ノ本會議並貴族院ノ本會議ニ於
テ、財源ノ問題ニ付テ色々質問ニ對シ
テ御答ニナツタノモ、能ク速記錄デ拜
見致シマシタ、又本院ノ豫算總會ニ於
テモ、此財源ノ問題ガ屢々質問應容ヲ
繰返サレマシテ、ソレニ付テノ御答モ
アリマス、其事ニ付テ關係シテノ御伺
デアルノデアリマスガ、私ハ大藏大臣
ニ御伺スルト同時ニ、商工大臣ノ御所

モノガ近來ハ十一片臺ニ下ッタ、而モ其先物ハ最モ安イト云フヤウナコトハ、銀價ノ將來ガ甚ダ不安ノ状態ニアツテ、段々ト先下リノ状態ガ何人ガ見テモ分ルノデアリマス、然ルニ我ガ日本カラ支那ヘ綿絲綿布ガ段々ト行クヤウニナツテ來テ居ルノハ、ドウ云フ情勢カト云フト、支那ニ於テ逆モ銀價ノ回復ハ見込ガナイト云フコトデ、支那奥地ニ居ル所ノ銀價ヲ死藏シテ居ル者ガ、上海ノ市場ニ銀價ヲ澤山持出シテ來タ、其爲ニ上海ニ於テ非常ナ「インフレーション」ヲ起シテ居ル、隨テ物價ガ非常ニ高クナツテ居ル、銀價ト金價ノ相違ニ依ツテ爲替ガ下ル割合以上ニ物價ガ高クナリ、隨テ綿絲、綿布ノ需要ガ上海ニ一時的ニ起ツタ、其結果今ヤ上海ニハ日本カラ行ク所ノ綿絲、綿布ノ「ストック」ガ山ヲ爲シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、是等モ一時的ノモノデアラウト考ヘルノ外ハナカラウト思フノデアリマス、又印度ヘ行クト云フコトハ、是ハ「ガンヂー」ノ釋放以來、多少印度ノ經濟界ガ安定シタト云フコトモ一つノ原因デアルト云フコトハ、是ハ認メマス、印度ノ經濟界ガ安定シタ爲ニ、日本ノ綿絲、綿布ガ餘計出ルト云フコトモ、是ハ想像シ得ル事柄デアリマス、併シソレ以上ニ先程例ニ申シタ阿弗利加ノ「ランカシア」

ノ「ストライキ」ト云フモノガ、非常ニ印度、英吉利へ綿絲、綿布ノ輸出サレルモノヲ阻止シタ、其埋合セニ日本カラ出タト云フ事實モ大分アルヤニ承テ居ルノデアリマス、斯様ニ考ヘテ見マスト、ドウモ私ハ今一時的ニ紡績業ガ好轉シタカラト云^{アリ}テ、之ヲ以テ昭和六年度ニ於ケル日本財界ノ好轉ノ動カスベカラザル「パロメータート」シテ見テ、隨テ收入ニ影響セヌト云フ結論ヲ

持來スノニハ、少シク無理ノ點ガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ生産費ガ引下グラレテ非常ニ紡績業ガ利益ヲ收メルヤウニナッタ、此點ニ取^{アリ}テモ、是ハ成程一應ハ認メマス、併ナガラ一體紡績業ガ好轉シタ爲ニ「コスト」ノ引下グラレタルモノハ誰ガ負擔シテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、是ハ商工大臣モ御承知ノ如クニ、御異論ノナイ事實デアラウト思フ、一つハ操短デアリマス、三割四分以上ノ操短ヲ今猶ホ續ケテ居ル、又モウ一つハ販賣値段ノ協定デアリマス、是ハ此値段ノ維持スル重大ナ原因ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ操短ノ爲ニ昨年以來失業ヲシテ居ルノ紡績業ニ從事シテ居ル労働者ノ失業者ハ、八萬ニ上^{アリ}テ居ルノデアリマス、其八萬ノ人達ハドウシテ居ルカト言ヘ

○井上國務大臣 私ノ經濟上ノ意見ニ付テノ前提トシテノ御尋デアリマスカラ、一寸私申上ゲテ置キマスガ、武田ヤツタ上^{アリ}テノ御質問デハ、恐ラクハ商工大臣モ御困リニナラウト思フ、紡績業申シマシタ事ヲ御覽下サイマスト、極ニ付テ例ヲ取レバ、或ル程度マデ紡績

シテ、歸農ヲシテ其日ニ困^{アリ}テ居ル所ノ農家、殆ド困憊ノ極ニ達シテ居ル所ノ農家ノ經濟ヲ壓迫シテ居ルノデアリマス、此八萬ト云フ多數ノ労働者ハ紡績業カラ職ヲ奪ハレテ歸農ヲシテ、農村ノ經濟ヲ壓迫シテ居ルト云フコトハ、軒テ農村ノ購買力ヲ減ゼシメ、同様ニ又八萬ノ人ノ購買力ヲ失^{アリ}ト云時ニ又八萬ノ人ノ購買力ヲ失^{アリ}ト云將來ノ不景氣ヲ招ク原因ニコソナレ、斯様ナ私ハ疑^{アリ}抱イテ居ルノデアリマス、是ガ日本ノ經濟界ノ好轉ノ兆ト見ルコトハ、少シク無理ナ觀察デナカラウカ、斯様ナ私ハ疑^{アリ}抱イテ居ルノデアリマス、是ガ好轉ノ兆ト政府ノ御覽ニナル意味ニ於テ、私ハ今申上ゲタヤウナ幾多ノ疑^{アリ}持^{アリ}テ居ルノデアリマス、之ニ對シテ商工省ノ御立場トシテ、此紡績業ヲ御覽ニナル上ニ於テ、如何ナル御意見ヲ御持チニナツテ居ルカト云フコトヲ商工大臣カラ伺ヒタイノデアリマス、是ハ此値段ノ維持スル重大ナ原因ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ操短ノ爲ニ昨年以來失業ヲシテ居ルノ紡績業ニ從事シテ居ル労働者ノ失業者ハ、八萬ニ上^{アリ}テ居ルノデアリマス、其八萬ノ人達ハドウシテ居ルカト言ヘウナ、私ハ簡単ナ結論ヲ出シタ事ハ毛居ル、斯^{アリ}云フ時代ガアル場合ニ、紡

承知致シマシタ、私モ大藏大臣御自身ノ各種ノ著書竝ニ「ハンフレット」ニ於キマシテモ、亦本院ノ各委員會等ニ於キマシテモ、御説明ノ趣旨ハ大體ニ於テ今御話下サッタヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、即チ急ニ景氣ガ向上スルト云フヤウナ意味ノ御話ガアッタトハ申シテ居ルノデハアリマセヌ、即チ大藏大臣ノ御言葉ヲ以テ言ヘバ、海外竝ニ國內ニ於テモ惡イ材料ハナクナッタ、斯ウ云フ意味ニ仰シャッタノデアリマシテ、ソレハ能ク承知シテ居リマス、併シ今ノ紡績業——私ガ今商工大臣ニ御伺セントスル事柄ニ取リマシテハ、今大藏大臣ガ御説明ニナッタヤウニ「コスト」モ下ッタ、サウシテ値段モ一面ニ於テハ一時ハ百圓以下ニ賣^フタモノガ百三十圓ニモナッタ、「コス^ト」ガ下^タカラ紡績業ハ安定シタ、是ハ惡材料ガ無クナッタノデハナイカ、景氣好轉ノ兆ト見テ宜イヂヤナイカト云フコトヲ一例トシテ御話ニナッタコトハ事實デアリマス、私ハソレガ商工省ニ關係スルカラ商工大臣ニ伺ヒタイト申シタノデアリマス、サウシテ私ノ疑ハ今申モ商工大臣ニ御伺スルコトニ於テハ^シタノデアリマスガ、大藏大臣ガ更ニキリシナイト困リマスカラ、今大藏大御説明ヲ加ヘラレマシタカラ——又私臣ノ仰シヤッタコトニ付テ一言加ヘテ

景氣ガ好轉ノ兆ト見テモ差支ナイヂヤナ
ナイカト云フコトヲ今モ言ハレタノデ
アリマス、ソレニ付テ私ハ先程カラ由
シテ居ルヤウニ懷ヲ懷イテ居ル、成程
「コスト」ハ下ッタ、「コスト」ガ下ッテ誰
ガ一番負擔シテ居ルカ、新シイ機械ヲ
使ツテ、機械ノ能力ガ良イトイ云フコトモ
一つハアリマセウ、又原棉ノ値下リト
云フコトモ一つハアリマセウ、其他此
紡績業ノ經營ニ取ツテノ合理化ト云フコ
トモ、ソレハ私ハナイトハ申シマセ
ヌ、併ナガラ其大部分ハ八萬人ノ男女
工ヲ首ヲ齧ツテシマッテ、歸農セシメタ
コトガ重大ナル原因ニナッテ居ルト云
フコトモ、是ハ認メザルヲ得ヌノデア
リマス、故ニ一面ニハ「コスト」ノ下
タト云フコトハ、成程紡績業ソレ自身
カラ見タナラバ、安定ノ一因ト云フコ
トモ言ヘルカモ知レマセヌケレドモ、
日本經濟界ノ全面カラ之ヲ觀察シテ見
マスト、一面ニハ購買力ヲ非常ニ減ズ
ル所ノ原因ヲ作ツタト言ヒ得ルノデア
リマス、殊ニ八萬ノ男女工ノ購買力ヲ
減ジタノミナラズ、ソレ等ノ多數ノ勞
働者ガ歸農シタガ爲ニ、此疲弊困憊ノ
極ニ達シテ居ル農村ニ壓迫ヲ加ヘ、サ

ウシテ又農村ノ購買力ヲ減ジタト云
フ、重大ナル原因ニナルト云フコトモ
私ハ是ハ否定出來ナイト思フノデアリ
マス、ノミナラズ今此値ノ幾分上ツタ
ト云フコトハ先程申上ゲタヤウニ、此
阿弗利加方面ニ、「ランカシア」ノ「スト
ライキ」ガ原因ヲシテ、其ノ穴埋メニ三
萬桶モ出タト云フ事實ヲ當業者ガ報告
ヲ致シテ居ル、又印度モ今ノヤウナ理
由、上海ニ此綿絲綿布ガ出タト云フ理
由モ今申上ゲタヤウナ一時的ノ原因デ
アル、銀價ガ下ッタガ爲ニ或ル一種ノ變
態的ノ「インフレーション」ヲアノ上海
ハ受ケタ、サウ云フ特殊ノ原因カラ綿
布ノ輸出ガ割合ニ殖エテ、隨テ値ガ高
クナッタ、ソレニ依然トシテ三割四分ノ
操短ヲ續ケテ居ル、又價格協定モ依然
トシテヤツテ居ル、是等ガ値段ノ上ツタ
原因デアツテ、即チソレハヤハリ長イ眼
デ見ル時ニハ一時的ノ原因デアリマス
ス、少クトモソレ自身ガ好轉シテ、サ
ウシテソレノ好イ影響ガ日本ノ經濟界
ニ及ブト觀察スルト云フコトハ、如何ニ
ナモノデアラウカト思ツテ居ル、仍テ是
ハ一應商工大臣トシテ、此紡績業ト云
ニナルカト云フコトヲ、商工大臣ニ伺
ヒタインデアリマス、ソレカラ此景氣
ノ見地カラ、此私ノ疑問ヲ如何ニ御者
好轉ト觀察スルコトハ、大藏大臣ノ今

仰シャッタ御意見ガ如何ナモノデアラ
ウカト云フコトハ、他ニ幾多ノ例ヲ御
舉ゲニナツテ居ルモノモアリマスシ、是
ハ全般的ニ更ニ大藏大臣ニ御伺致シテ
見タイト思フノデアリマスガ、今大藏
大臣ト商工大臣御列席ノ機會ガ稀ニ來
マシタカラ、先以テ商工大臣カラ、利
ノ今申上ゲタ疑問ノ點ニ取ツテ、此重要
事業ヲ御監督ナサル商工省トシテノ御
立場カラ、私ノ疑問ニ對シテ御説明ヲ
戴キタイ、然ル後ニ適當ノ機會ニ私ハ
大藏大臣ニ取ツテ全般的ノ景氣好轉ニ
關スル大藏大臣ノ御意見、隨テソレト
伴フ所ノ昭和六年度ノ歳入ヲ見積ツタ
コトガ適當ナリヤ否ヤト云フ問題ハ、
他ノ機會ニ讓リタイト思フノデアリマ
スカラ、此場合商工大臣カラツク私ノ
今申上ゲタ疑問ニ對シテ、詳細ナル御
意見ヲ承ルコトヲ得マスレバ仕合セト
存ジマス

○表國務大臣

意見ガ如何ナモノデアラ
コトハ、他ニ幾多ノ例ヲ御
居ルモノモアリマスシ、是
更ニ大藏大臣ニ御伺致シテ
ノノデアリマスガ、今大藏
人臣御列席ノ機會ガ稀ニ來
先以テ商工大臣カラ、私
ノ疑問ノ點ニ取ツテ、此重要
旨ナサル商工省トシテノ御
松ノ疑問ニ對シテ御説明ヲ
然ル後ニ適當ノ機會ニ私ハ
收ツテ全般的ノ景氣好轉ニ
人臣ノ御意見、隨テソレト
議リタイト思フノデアリマ
和六年度ノ歳入ヲ見積ッタ
場合商工大臣カラ一ツ私ノ
ノリヤ否ヤト云フ問題ハ、
疑問ニ對シテ、詳細ナル御

見マシテモ、昨年ハ隨分御覽ノ通リニ
輸入輸出トモ減退ヲ致シマシタ、減退
ヲ致シマシタケレドモ、併ナガラ減退
ノ仕方ガ、月別ニ考ヘマストヤハリ昨
年ノ年ノ中頃ヨリハ後半期ノ方ニ於テ
段々貿易ノ状態ガ良クナツテ來ル、斯ウ
云フコトカラ考ヘマスト、今申シマス
ガ如ク貿易ノ方カラ考ヘテ見テ、ヤハ
リコ、ガ最早落付ク所デハナイカト云
フコトハ考ヘラレ得ルノデアリマス、
紡績業ニ付テ考ヘマスト、是ハ既ニ御
承知ノ通リデアリマスカラ、事實ハ申
上ゲマセヌ、即チ段々紡績ニ付テモ良
クナツテ來ツ、アル、此事實ヲドウ見ル
カ、御考ハ是ハ一時的ノコトデアツテ、
之ヲ以テ決シテ永久ノモノデアルト見
ルコトハ出來スト仰セラレル、且ツ又
此原因ハ操短ガ原因デアル、操短ヲシ
タ爲ニ斯ウ云フ風ニナツテ來タノデア
ル、操短ハ更ニ第二ノ失業者ヲ出シテ
居ルノデアルカラ、決シテ之ヲ以テ紡
績業ダケヲ睨ンデモ景氣ガ落付イタト
言ツテハイカヌト云フヤウナ御意見デ
アツタノデアリマス、ソレデ紡績業ガ段
々良クナツテ來タコトヲ如何ニ見ルカ
ト云フ點ニ付テハ、御説ノ通リニ確ニ
操短ガ主ナル原因デアルコトハソレハ
私モ認メマス、一方ニ於テハ餘リニ需
要ガ減ツタニ付テ、少シモ操短ヲsez、
生産ヲ相變ラズ繼續シテ行クコトニナ

レバ、言ハズト知レタ生産過剰ニナリ
マスシ、其結果紡績業ハ非常ナ衰運ニ
赴キ引合ハザル状態ニナルコトハ論ヲコ
俟タナイノデアリマスカラ、先ヅ第二
ニ此紡績業ノ将来ノ爲ニハ市場ニ相應
スル、所謂需給ノ調節ヲ圖ルト云フコ
トガ最モ必要デアリマセウ、ソレガ爲
ニ操短ヲシタ、操短ヲシタ爲ニ需給ガ
調節セラレタ、茲ニ所謂紡績業ノ上面
キノ原因ガアルノデアリマス、而シテ
現在段々良クナツテ來タ原因ヲ何處ニ
求ムルカ、是ハ私ハアナタノ見方トハ
少シ違フノデアリマス、今日大分製品
ノ輸出ガ段々良クナツテ參リマシタ、線
布ノ輸出ガ段々良クナツテ參リマシタ、居
リマスガ、彼ノ所謂縞三綾ノ輸出ガ太
分増加シテ參ツタノデアリマス、是ハ言
フマデモナク合理化ノ結果デアリマス
ガ此三縞綾ガ一箇年ニ三千萬圓乃至三
千萬圓以上輸出シテ來タノデアリマス
ガ、是ガ同業者ノ競争ニ依テ價格ノ不
安定ヲ來シ價格ノ賣崩シヲ來シ、非常
ニ輸出ガ困難ニナツテ參ツタ、其狀況ニ
立ツテ此前途ヲ改善スル爲ニ、所謂合期
縞三綾ガ茲ニ落付イテ、値段モ若干ハ
上リ、ソレガ爲ニ却テ生産額ヲ段々増
加シテ來ルト云フコトガ今日ノ實體デ

アリマス、縞三綾ノ輸出ノ改善ハ是ハ紡績絲ノ其事情ノ一部分デハアリマスガ、併シ紡績絲ハ一部分ガ良クナッテ來ルト、其爲ニ他モ其影響ヲ蒙ツテ良クナッテ參ルモノデアリマス、ソレ故ニ縞三綾ト云フモノガ非常ニ生産ガ増加シタ云フコトニ付テ、紡績絲ガ需要ヲ増シテ此需要ヲ増シタ云フコトニ依ツテ紡績業ハ其爲ニ非常ニ良クナッテ來タ云フコトモ其原因デアリマス、單リ縞三綾ダケデハアリマセヌ、綿絲布業モ亦、ヤハリ綿絲布ノ合理化ニ依テ、合理的ニ生産ト需要トノ調節ヲ致シマシタ、ソレガ爲ニ是亦大變ニ好クナリツ、アルト云々状況ガ、紡績業ヲ大變ニ好クシタ云、タヤウナコトモ亦其一ツデアリマス、輸出ノ増進ニ付キマシテハ或ハ「ランカシア」ノ「ストライキ」ガ原因ヲ爲シテ居ルデアラウ、是ハ一時的デハナイカト仰セラレマスガ、商工省ノ調査スル所ニ依リマスト確ニ是ハ阿弗利加トカ南洋アタリニ我國ノ綿布ノ需要ヲ増シテ居ルノデアリマス、價格ハ減退致シテ居リマス、是ハ相場ガ下ツテ居リマスカラ價格ハ減退致シテ居リマスガ、數量ニ於テハ毎度大藏大臣モ話サレタ通り、價格ノ減退シタ割ニ數量ハ減ツテ居リマセヌ、寧ロ最近ノ事實ハ前年ニ較ベルト云フト略、同様ノ數量ガ出テ參ツタヤウナコト

ニナツテ居リマス、是ハドウ云フ原因デ
アルカト申スト、需要地タル阿弗利加
或ハ南洋邊リヘノ當業者ノ實地視察、
當業者ノ見本宣傳、斯ウ云フヤウナコ
トノ爲ニ、其地方ノ日本品ノ需要ヲ餘
程増加シテ居ルト云フコトハ確ニアリ
マス、而シテ他ノ一面ニ於キマシテハ、
今マデ歐羅巴ノ商人ノ手ヲ經テ行ツテ
居ツタ物ガ、今日ハ日本人ノ手カラ直接
ニ是等需要地ニ參ルコトモアリマス、
サウスレバ從ツテ値段ガ安クナル、値
段ガ安クナレバ從ツテ需要ガ增至ト云
フコトニナリマスカラ、最近綿織物ガ
非常ニ景氣ガ好イ、隨テ綿絲ガ非常ニ
景氣ノ好イコトハ、決シテ一時的ノ現
象デハナイ、所謂其底ヲ突イタコトコ
ラ多少ノ景氣ヲ持ツテ來タノデアル、人
氣ヲ持ツテ來タノデアルト考ヘマス、而
シテ其點ヨリ御説ノ如ク操短ニ依ツテ
失業者ノ生ジテ來ル、ソレガ爲ニ又非
常ナ不景氣ヲ來シハセヌカト云フコト
デアリマスガ、是ハドウモ致方ガナイ
コトデアル、其事實ハ全然ナイトハ言
ハレマセス、併ナガラ致方ノナイコト
デアル、詰リ紡績業ガ需要ノ減退シテ
居ルニモ拘ラズ、供給ヲ増加シテ生產
過剩ニナツテ、遂ニ賣行キガ全クナイ、
「ストック」ニナツテ來ルト云フ結果トシ
テハ、紡績業者ハ迫モ堪リマセヌカラ、
ドウシテモ需給ノ調節ヲ圖ル爲ニ、相

當ノ操短ヲスルト云フコトハ、已ムヲ
得ヌコトデアリマス、是レ即チ紡績業
者ノ——何ト申シマスカ自己存立ノ爲
ニ已ムヲ得ナイ方法デアルト思フノデ
アリマス、併ナガラ現在四割モ操短シ
テ居ルコトガ果シテ適當カ不適當カ、
是ハ段々世間ニモ議論ガアリマス、今
日ニ於テモ綿織物ガ盛ニナツテ參リマ
スガ爲ニ、紡績其他ノ需要ヲ增加シテ
居ル、モウ少シ緩和シテ吳レナケレバ
誠ニ困ルト云フノガ、今日ノ綿織物業
者ノ一部份ノ叫ビデアリマス、ソレデ
今日ノ操短ガ適當デアルカナイカハ、
大イニ研究ノ餘地ガアルト思フノデア
リマス

スケレドモ、「ランカシア」ノ「ストライキ」ガ影響シテ居ルト云フコトモ當業者ノ言フ所デアリマス、併シ商工大臣ハソレヲ御認ニナラスト云フコトデアレバ、ソレハソレデ宜イ、私ヨリ商工大臣ノ方ガ實際正確ナル御報告ヲ受ケテ居ル御立場デアリマスカラ、事實上ノ問題カ私ノ聞イタコトヨリハ、商工大臣ノ責任ヲ以テノ御説明デアリマスレバ、私ハ商工大臣ノ御説明ヲ信ジマスカラ、私ノ其疑アリヤ否ヤト云フコトヲ御伺シテ居ルノデアリマス、又上海方面ヘ日本ノ綿絲綿布ガ行ッタト云フコトハ、先程申シタヤウナ單純ナ「インフレーション」ガ原因ニナツテ澤山ノモノガ出テ、現ニ上海ニ山ヲナシテ「ストック」ガ積マレテ居ルト云フ事實モ聞いて居リマス、ソレモサウデハナイ、御前ノ聞イタノハ嘘デ、商工省ハ斯ウ云フ確實ナ事實ヲ握ツテ居ルカラ、左様ナコトハ事實デナイト云フコトデアレバ、ソレモ私ヨリ商工大臣ハ確實ナモノヲ握ツテ居ルノデアルカラ、私ハ是ガ確實デアルト云フコトノ斷言ヲ致スコトハ出來マモヌカラ、是モサウ云フ事實ハナイト云フコトデアレバ宜シイノデアリマス、其事實如何、即チ是等一時的ノ原因ニ依ツテ支那、満洲、阿弗利加方面ヘ日本ノ綿絲綿布ガ出タト云フ事實ガアルト私ハ聞イテ居リマスガ、

是ガ事實ナリトセバ、今日ノ紡績業ノ好轉ト云フモノハ、全部デハアリマスマイケレドモ、一時的ノモノト見ルベキ原因ガ十分ニアリハシマイカ、斯様ナ疑ヲ持テ居ルノデアリマス、ソレト一面ニ於テハ今ノ解雇サレタ失業者ガ澤山出タト云フコトハ軽テ此日本ノ購買力ヲ減ズルト云フ有力ナ原因ニナリハシナイカ、日本ノ購買力ガ非常ニ減ジタト云フコトハ、日本ノ經濟界ヲ惡化スル原因デアルコトハ論ヲ俟タヌト思ヒマス、併シ商工大臣ハ斯様ナ事實ヲ御認ニナラナイ、八萬人以上ノ勞働者ガ失業シタト云フコトハ、日本ノ經濟界ヲ惡化スル原因ニナラヌト御認ニナルナラバ、其理由ヲ承レバソレデ宜イノデアリマス、又八萬ノ人ガ歸農シテ、是ガ農村ヲ壓迫シ、隨テ農村ノ購買力ヲ減少セシムル原因ニナルノデハナイカト、私ハ質問シテ居ルノデアリマスガ、ソレモサウデナイト御考ニナルナラバ、其事實ト理由ヲ承レバ宜シイノデアリマス、是デ私ノ質問ノ要領ヲ御諒解下サツタト思ヒマスカラ、重ねテ御答辯ヲ願ヒマス

デアリマス、又支那ノ輸出ニ付テアナ
タノ仰セラレル原因ガ、全ク影響ガナ
イトハ申サヌノデアリマス、影響ハ多
少アリマセウケレドモ、併ナガラ今日
ノ綿布及紡績絲ノ人氣ヲ持ッテ來タノ
ハ、一時的ノ現象デアルト仰セラレル
カラ、ソレハアナタノ仰セラレル原因
モ、多少ノ影響ハ無論アルデアリマセ
ウケレドモ、是ハソレノミデハナイ、
一時的トハ申上グラレヌト云フコトヲ
申シタノデアリマス

ソレカラ操短ノ結果失業者ガ澤山出
テ來タ、ソレガ爲ニ農村經濟ヲ壓迫ス
ル、是ガ即チ一般經濟ニ對スル惡材料
デハナイカト仰セラレルコトモ、是モ
私ハ其事實ノ全部ヲ否認スルノデア
リマセヌ、ソレハサウ云フコトモ無論
アルコトハ認メマスガ、併シ操短ハ今
申シタ通リニ、需給ノ調節ヲ圖ル上ニ
於テ已ムヲ得ヌ結果デアルカラ、多少
ノ惡影響ヲ農村ニ與ヘテモ仕方ガナ
イ、併ナガラ操短ノ結果ソレガ合理的
ニ行キ、隨テ其紡績業ガ人氣ヲ持ッテ來
テ更ニ今ノ操短デハイケナイ、操短ノ
程度ヲ更ニ緩和シナケレバナラヌコトモ
ニナルト、更ニ職工ノ需要ヲ來スカラ、
是ハ一時的ノモノデアルト見ナケレバ
ナラヌノデアリマス

序ニ申上ゲテ置キマスガ、操短ガ合

理化デアルカナイカト云フ、言葉咎メ
ヲ致スヤウデアリマスケレドモ、合理
化ト云フコトハ唯單一デハアリマセ
ヌ、種々ナ點ニ於テ合理化ノ事項ガア
リマス、併シ需要モゴザイマセヌノニ
「フル・スピード」ヲ出シマシテ、生産
ヲ増加シ、生産品ヲ「ストック」シテ置
クト云フコトハ、決シテ其事業ノ合理
的經營デハナイト私ハ思ヒマス

○武田委員 商工大臣ノ只今ノ御答辯
ニ依ツテハ、私ハ甚ダ不満足デアリマ
ス、合理化ノ問題ニ對シテモ、亦私ノ
質問ニ付テモ甚ダトンチンカンノ御答
辯ガ澤山アリマシタ、併シ此場合餘リ
長クソレヲ質問シテ居ルト、他ノ質問
者ニ御迷惑ヲ掛ケマスカラ、私ハソレ
ハ他日ニ譲リマス

モウ一つダケ紡績業ノ事ニ付テ伺ツ
テ置キタイ、ソレハ近來日本ハ金解禁
ヲシタ爲ニ貨幣ノ價値ハ上リ、輸出ガ
非常ニ困難ナル状態ニナツタ、之ニ反シ
テ支那ハ御承知ノ通リ銀ノ值ガ下ツタ
爲ニ、輸出ガ非常ニ都合ノ好イ状態ニ
ナツタ、是ダケハ商工大臣ト雖モ、私ガ
多ク申サズトモ、御納得ニナルデアラ
ウト思フ、其結果トシテ、最近支那ノ
粗製品ノ綿絲綿布ガ、日本ニ逆輸入シ
テ居ルト云フ事實モ、新聞ニ依リ或ハ
當業者カラ承ツテ居ル事實デアリマス
ガ、是ハ御認メニナルノデアラウト思

ヒマス、又私ハ今朝ノ新聞ニ依ッテ事實ヲ知ッタノデアリマスガ、今申上ゲタヤウナ銀ノ値段ノ下ッタ結果、支那ニ輸入ヲスルコトハ頗ル困難ナ關係カラ、支那ニ於ケル外國人ノ資本ヲ以テスル紡績ガ中々盛ニナツタノデアリマス、其勢ガ日本ノ紡績業者ヲシテ自己擁護ノ爲ニ、ドウシテモ支那ニ資本ヲ投ジ、支那ニ紡績工場ヲ起サナケレバナラヌト云フ趨勢ニナツタコトハ見易キ道理デアル、而シテ今朝ノ新聞ニ依ルト、上港紡績ガ七千臺増設、東洋紡績ガ一千臺、鐘紡ガ一千臺、其他大日本紡績、日華紡績、豊田紡績モ金額ハ決ラナイガ、相當ノ增加ヲスル計畫ガアルト云フコトデアリマス、是ハドウ云フ結果ヲ日本ノ紡績業竝ニ經濟界ニ及ボスデアラウカ、斯様ニ日本ノ資本ノ少キモノガ、必要ナキ所ニ資本ヲ持ッテ企業ヲスル譯ガナイ、故ニ是ハ尋常ノ状態ニアツタナラバ、即チ金解禁ヲサレナイ状態ニアツタナラバ、是ダケノ金ガ日本ニ投ゼラレテ、日本ノ仕事ヲ行ヒ、テ仕事ヲスルコトガ出来ル、紡績業ニ從事シテ居ル會社自身トシテハ、支那ニ於テ利益ヲ得ルモ、日本ニ於テ利益ヲ得ルモ、是ハ變リハナイ、併ナガラ日本全體ノ經濟トシテ見ルナラバ、紡績工業ガ日本内地ニ於テ行ハレルト、

支那ニ於テ行ハレルノトデハ、其影響ガ決シテ少クナイ、一例ヲ引イテ見レバ、此工業ニ從事スル勞働者ノ賃銀ヲ支那ノ勞働者ニ與ヘルカ、日本ノ勞働者ニ與ヘルカハ、日本ノ經濟ニ非常ナル影響ヲ及ボスモノデアル、是等ノ問題ハ日本ノ紡績業竝日本ノ經濟界ニ對シテモ、何等ノ惡影響ヲ與ヘナイト云フコトハ、ドウシテモ言ヘナイト思ヒマス、一面ニ於テ紡績業ニ於テ多少喜ブベキ徵候ガアツタ致シマシテモ、他面ニ於テ恐ルベキ、悲シムベキ徵候ノアルコトヲ見遁シテハナラヌノデアリマス、商工大臣ハ是等ガ日本ノ經濟界ニ惡影響ヲ及ボサナイモノト、御考ニナルカドウカラ伺ヒタインデアリマス

ル絲ガ日本ニ輸入セラレテ居ルトノ仰
セデアリマシタガ、是モ事實多少ナイ
コトハナイデゴザイマセウガ、今日支
那方面カラ參ルヨリハ、關東洲ニ於ケ
ル我ガ資本家ノ經營ニ係ル紡績絲ガ
入ツテ來ル方ガ多イノデアリマス、兎ニ
モ角ニモ支那ノ紡績業ガ段々發達スル
コトハ、確ニ日本ノ紡績工業ニ對スル
一ツノ脅威デアリマス、併ナガラ果シ
テ支那ニ何故ニ紡績業ヲ起スカト云フ
コトハ、私ガ申スマデモナク、勞銀ニ
於テ確ニ支那人ノソレガ安イカラデア
リマス、能率ハ無論劣リマセウガ、勞
銀ガ安い以上ハ、其生產費ニ於テ大變
ナ違ガアリマスカラ、ソレ故ニ支那ニ
於テ外國人或ハ日本人ガ、共ニ紡績企
業ヲ行ツテ居ルノハ事實デアリマス、仰
セノ如ク支那ノ紡績業ガ盛ニナルト、
日本ノ労働者ヲシテ就職ニ困難ナラシ
ムル、資本家カラ考ヘテ見テモ、労働
者カラ考ヘテ見マシテモ、是ハ決シテ
望マシクナイコトデアリマスケレド
モ、併シ事實ノ傾向ハサウ云フ風ナ傾
向ヲ持ツテ居ル、然ラバドウスルカ、是
ハドウ致シマシテモ日本ノ紡績工業
ヲ、益生産費ヲ低下シテ、支那ノ工業
ト競争ヲスルト云フコトヲ、何處マデ
モ考ヘテ行カナケレバナリマセヌ、併
ナガラ結局スル所、果シテ日本ノ紡績
工業ト支那ノ紡績工業ト——支那モ亦

段々職工ガ熟練シテ參リマセウシ、生産費モ下ゲテ來マセウカラ、結局是ト競争ヲナシ能フヤ否ヤニ付テハ、幾多ノ疑問ガアリマス、詰リハヤハリ支那ノ紡績ト日本ノ紡績トハ——日本ハ支那ノ紡績ヨリモ高級品ヲ造ツテ——高級品ヲ工夫シテ、以テ所謂支那ノ紡績工業トノ衝突ヲ、出來ルダケ緩和スルト云フコトニ向ツテ、進ンデ行カナケレバナヲスモノデアラウト私ハ思ツテ居リマス、併シ御説ノ通り、是ハ將來ニ於テ大ナル脅威デアルコトハ論ヲ俟チマセヌ

ベキ資本ガ、支那ニ投ゼラレテ居ルト
ヲ申上ゲタノデアル、其私ノ承ツテ居
ル事實ヲ申上ゲタノデアル、是ガ日本
ノ經濟界ニ如何ナル惡影響ヲ及ボス
カ、又支那ハ關稅ヲ引上ゲマシタ、此
支那ノ關稅ヲ引上ゲタト云フコトハ、
日本ノ紡績業ニ重大ナル影響ヲ及ボ
シ、是ガ又廳テ日本ノ紡績業ノ資本ガ、
日本ヲ去ッテ支那ニ行ッタト云フ、重大
ナ原因ノ一つヲ爲シテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ支那ガ日本ノ綿絲綿布ニ關
稅ヲ課ケルト云フコトハ、是ハ一時的
ノ事デハアリマセヌ、ズット將來ニ亘
テ率ヲ上ゲルコトガアッテモ下グルコ
トハナイト云フコトハ、是ハ見易イ道
理デアリマス、井上大藏大臣ハ紡績業
ニ依ツテ見テモ、日本ノ經濟界ノ好轉
徵候ハ斯ウデナイカト仰シヤル其時
ニ、一面ニ於テ斯様ナ憂フベキ惡材料
ガ現レテ居ル、斯様ニ言ツテ見ルト、好
材料モ多少ナイデモナイガ、ソレニ優
ルベキ惡材料ガアル、サウスルト是ハ
一時的ノモノデハナカラウカ、斯様ナ
疑ヲ私ハ申上ゲタノデアリマス、併ナ
ガラ最早商工大臣ノ御意向ノアル所モ
分リマシタ、是レ以上私ハ議論ヲ鬪ハ
スコトハ出來ナイト思ヒマスカラ、私
ノ質問ハ此程度デ打切リマス、尙ホ私
ハ商工大臣ニ對シテ、今ノ經濟界ノ好

「トシテ見ルベキモノ如何ト云フ——「バロメータ
ニ付テ、二ツ程ノ疑問ヲ持ツテ居ルノ
デアリマスケレドモ、今日ハ時間ノ關係
モアリマス、尙ホ岡田君ガ商工大臣
ニ此機會ニ御質問ヲ申上ゲタイト云フ
御意向モアリマスカラ、私ハ此程度デ
打切りマシテ、他日ノ機會ニ於テモウ
一二ノ質問ヲ御許シヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○岡田委員 一寸申上ゲマス、又商工
大臣ニ御伺スル機會ガアレバ其時ニ御
願シタイト思ヒマス、腹モ減リマシタ
カラ……

○本田委員長 ソレデハ是デ休憩致シ
マス、午後七時半カラ開會シマス

○本田委員長 休憩前ニ引續イテ開會
致シマス

○岡田委員 内務大臣ニ御質問ヲ申上
ゲマス、私ハ此地方稅ノ今回ノ改正ニ
付キマシテ大體ノ御意見ヲ今日御伺ス
ルノデアリマスガ、其前ニ甚ダ御迷惑
デアリマスケレドモ、豫算總會以來ノ
懸案ノモノヲ一應數字ニ就テ御尋申上
ゲマシテ、其順序ニ依リマシテ、ソレ
カラ後ニ大體ノ御意見ヲ伺ハウト思
テ居リマス、是ハ關係ガアリマスカラ、

トノ差額ニ付テ内務省ノ御發表ニ依ル
ト云フト、昭和五年度ノ方ガ少イ、然
ルニ拘ラズ地方豫算概要ノ數字ニ依レ
バ、却テ五年度ノ方ガ多クナツテ居ル、
即チ増減ト云フコトノ言葉ガアベコベ
ニナツテシマッテ居ル、全ク事實ガ反シ
テ居ルト云フコトヲ御尋シタインデア
リマス、第二ニハ歲入稅外收入中地方
債ノ豫算總額、五年度ノ豫算總額ト四
年年度ノ豫算總額ノ差額ガ、概要ノ方ヲ
見ルト、内務省發表ヨリカ殆ド半數ニ
ナツテ居ル、此二點ニ付キマシテ御尋
ネ申上ゲマス

午後七時四十六分開議

○岡田委員長 休憩前ニ引續イテ開會
致シマス

○岡田委員 内務大臣ニ御質問ヲ申上
ゲマス、私ハ此地方稅ノ今回ノ改正ニ
付キマシテ大體ノ御意見ヲ今日御伺ス
ルノデアリマスガ、其前ニ甚ダ御迷惑
デアリマスケレドモ、豫算總會以來ノ
懸案ノモノヲ一應數字ニ就テ御尋申上
ゲマシテ、其順序ニ依リマシテ、ソレ
カラ後ニ大體ノ御意見ヲ伺ハウト思
テ居リマス、是ハ關係ガアリマスカラ、

御迷惑デアリマスケレドモ御答ヲ願ヒ
タイノデアリマス、即チ此豫算總會ニ
ニ付テ、二ツ程ノ疑問ヲ持ツテ居ルノ
デアリマスケレドモ、今日ハ時間ノ關係
モアリマス、尙ホ岡田君ガ商工大臣
ニ此機會ニ御質問ヲ申上ゲタイト云フ
御意向モアリマスカラ、私ハ此程度デ
打切りマシテ、他日ノ機會ニ於テモウ
一二ノ質問ヲ御許シヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○岡田委員 一寸申上ゲマス、又商工
大臣ニ御伺スル機會ガアレバ其時ニ御
願シタイト思ヒマス、腹モ減リマシタ
カラ……

○本田委員長 ソレデハ是デ休憩致シ
マス、午後七時半カラ開會シマス

○岡田委員長 休憩前ニ引續イテ開會
致シマス

○岡田委員 内務大臣ニ御質問ヲ申上
ゲマス、私ハ此地方稅ノ今回ノ改正ニ
付キマシテ大體ノ御意見ヲ今日御伺ス
ルノデアリマスガ、其前ニ甚ダ御迷惑
デアリマスケレドモ、豫算總會以來ノ
懸案ノモノヲ一應數字ニ就テ御尋申上
ゲマシテ、其順序ニ依リマシテ、ソレ
カラ後ニ大體ノ御意見ヲ伺ハウト思
テ居リマス、是ハ關係ガアリマスカラ、

トノ差額ニ付テ内務省ノ御發表ニ依ル
ト云フト、昭和五年度ノ方ガ少イ、然
ルニ拘ラズ地方豫算概要ノ數字ニ依レ
バ、却テ五年度ノ方ガ多クナツテ居ル、
即チ増減ト云フコトノ言葉ガアベコベ
ニナツテシマッテ居ル、全ク事實ガ反シ
テ居ルト云フコトヲ御尋シタインデア
リマス、第二ニハ歲入稅外收入中地方
債ノ豫算總額、五年度ノ豫算總額ト四
年年度ノ豫算總額ノ差額ガ、概要ノ方ヲ
見ルト、内務省發表ヨリカ殆ド半數ニ
ナツテ居ル、此二點ニ付キマシテ御尋
ネ申上ゲマス

是ハ單ナル數字ノ問題ニアラズシテ
一ハ増減ノ差ニ係ルモノデアリ又地方
債豫算ノ分ハ殆ド半數以上ノ大ナル相
違ヲ來シテ居ルト云フコトニナリマシ
テハ、是ハ將來ノ地方行政ヲ爲ス者ノ
参考資料トシテハ、殆ド價值ガナイモ
ハ本會議ニ於テ御修正ニ相成ルベキモ
ノデアルカドウデアルカ、又此冊子ハ
改竄ノ上、一ハ絶版ト爲シ、新タナモ
ノヲソレバ元ノ配付先ニ御配付ニナ
ルベキモノデアルカ、此御返答ヲ求メ
テ置キタイト存ジマス

○安達國務大臣 只今御尋ノ事ハ實ハ
先般井上孝哉君ニ會ヒマシタ時分ニ、
十五圓トナツテ居リマス、之ヲ前年度當
初豫算總額ノ十七億五千二百九十四萬
三千六十四圓ト比較致シマスルト、二
億五千八百二十六萬七百三十九圓ヲ減
ズマシタニ依リマシテ、之ヲ以テ其整
理緊縮額ト致シタノデアリマス、然ル
ニ内務報告例ニ依ツテ地方豫算ノ報告
ヲ徵シマシテ、之ニ基イテ當局ニ於テ
昭和五年度地方豫算ヲ集計致シマシタ
タノデアリマス、是ハ個人ノ對話デアッ
タルニ、同年度ノ當初豫算總額ハ十五
億六千二百九十九萬千四百二十四圓ト

○岡田委員	ノレハアナタノ御約束ノイノデアル、詰リ増減ト云フコトノ文書ガ反対ニナツテ居ルデナイカト云フコトヲ伺ッダノデアリマス、第二ハ地方債ノ總額ノ其差額ト云フモノガ、内務省ノ列舉サレテ居ル所ノ冊子ニ依レバ、之ヲ概要ノ數字ト較ベレバ殆ド半分シカナイ、其差額ノ數字ガ事實ガ半分デアルモノヲ、倍ニシテ冊子ハ示シテ居ルノデナイカ、此兩項目ニ付テハ何レガ確カデアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス
○次田政府委員	公債ノ計算ハ御話ノ如ク其間ニ六千七百餘萬圓ノ相違ヲ致シテ居リマスルコトハ御話ノ通リデゴザイマシテ、ソレハ地方財政概要ノ數字ノ方ガ正確ナノデアリマス、サウシテ其過チノ起ツタ所ハ、今大臣カラ御説明ヲ申上ゲタソレト同ジ點ナノデアリマシチ、詰リ東京市ノ公債ノ報告ニ於テ六千餘萬圓ノ相違ガアリマシタ所カ
○安達國務大臣	地方局長カラ御答スル方ガ宜カラウト思ヒマス
○岡田委員	サウシテ增減ノ差ガ反對ニナツタ、アナタノ方ハ五年ノ方ガ少ナイト仰シヤルガ、五年ノ方ガ多イト云フコトハ御認ニナツタ譯デアリマスカ
○安達國務大臣	地方債ノコトハ……
○岡田委員	念ノ爲ニモウ一遍申シマス、私ハ二ツ聽イテ居リマス、井上君ノ行豫算額ト昭和五年度ノ當初豫算額ト云フ冊子ニ依レバ、單リ緊縮ノ狀況ト云フ冊子ニ依レバ、單リ其數字ガ概要ト違ツテ居ルノミナラズ、此狀況ト云フ冊子ニ依レバ四年度ヨリ五年度ガ少イトアルノデアルガ、概要ノ數字ニ依レバ六年度ノ方ガヤハリ多
○岡田委員	私ハ實ハ次田地方局長ノ名ヲ以テ第一ノ項目、即チ五年度當初豫算ト、四年度實行豫算ノ差異ノ點ハ御通知ヲ受ケマシテゴザイマスガ、御通知ヲ受ケマシテゴザイマスガ、シテ置キマス
○安達國務大臣	本會議、デスカ
○岡田委員	私ハ強ヒテヤカマシク申向ツテ更ニ其事ヲ通知致シマス
○岡田委員	私ハ實ハ次田地方局長ノ大臣ニ於カセラレテモ、此前ノ總會ノ時ノ御約束通り、相當ノ機會ニ本會議ニ調べタモノガアリマス、昭和五年度地方豫算ニ於ケル減稅額三千九萬九千圓、其主ナル内譯ハ戸數割ニ於テ千八百九十九萬五千圓、雜種稅及び附加稅五百十萬五千圓、營業收益稅附加稅ガ五百九萬五千圓、地租附加稅ガ十五六萬千圓、斯ウナツテ居リマス、之ヲ概括シテ約三千萬圓ト御話シタ考ヘマス
○岡田委員	一人當リソレガ二圓五十錢ニナルト云フ御話デスガ、一人當リト云フモノヲ何人ニ御計算ニナツテ居リマスカ、私ハドウモノソレガチヨットモ

○安達國務大臣　一戸當リガ或ハ間違ツテ居タカモ知レマセヌガ……

セヌト……

○安達國務大臣
一戸平均デアリマシ

○岡田委員 一戸平均ニソレヲ御訂正

ニナリマスカ
○安達國務大臣
一戸平均デス、訂正

シマス致

○岡田委員　ソレハ何カ内務省ノ印刷物ニデモ發表サレテ居リマスカ、或ハ

唯祕密ナモノデアリマスカ、只今ノ御
發表ノ數字ハ……

○次田政府委員 地方財政概要 二載

○岡田委員 テ居ル筈デアリマス

マスガ、此負擔輕減ト内務大臣ノ御言

明ニナリマシタエトハトウ云フ意味ヲ
現スノデゴザイマセウカ、詰リ實收ニ

於テ唯減ジテ居ルノカ、課率ニ於テ是

所謂負擔輕減ト内務大臣ガ稱スル以上

ハ、私ハ税ノ課率ニ於テ減ジナケレバ
是ハイカヌト思フノデアリマスガ、其

意味ヲ拜聽致シタイノデアリマス

○次田政府委員 御承知ノ如ク地方税
ハ國税ト違ヒマシテ、年々其必要ニ應
ジテ課率ヲキメテ徵收致シマスルノ

○岡田委員 ソレハ私ハ地方局長或ハ内務大臣ノ言トシテハ首肯出來ナイト云フノハ、負擔輕減ト言フ以上ハ、或ハ不景氣ノ爲ニ稅ガ取レヌトカ或ハ課稅物件ガ減ッタ、爲ニ取レヌト云フモノガ這入ツテ居ルベキデアル、其租稅ノ實收ヲ捉ヘテ是ガ負擔輕減デアルト云フコトヲ公言サレルノハ、私ハ非常ニアナタ方ノ御考ガ違ヒハシナイカト思ヒマスガ、ドウデアリマスカ

○次田政府委員 此地方稅ハ前申上ゲマシダ通リニ、前年ニ例ヘバ或ル金額ヲ一圓ナラ一圓取ルト云フコトニキマツテ居リマシテモ、豫算ヲ組ミマシテソレダケノモノガ要ラナクナリマスルト、其課率ヲ引下ゲテ八十錢ト云フコトニシテ取ル例ニナツテ居ルノデアリマス、其負擔輕減ノ爲ニ引下ゲタト云ヒマスカ、歳出ノ方ガ要ラナクナッタ爲ニ引下ゲタト云ヒマスカ、兎ニ角サウ云フ風ニシテ今マデ取ツテ居ツタ稅金ガ、ヨリ少ナイ金ヲ取ルコトニナリマスレバ、ソレガ大體一般ノ輕減ニナルト考ヘテ差支ナイト存ジテ居リマス

○岡田委員 ドウモ私ハ是カラ段々大體論ヲ伺ハウト思フノデアリマスガ、今ノ地方局長ノ御話ノヤウナ事が始終

地方稅ノ扱ニアリハセヌカト思フノデ
アリマス、私ハ是ハ根本ニ間違ツテ居ル
ト思フ、地方稅デアラウガ、國稅デア
ラウガ、減收ニナツタト云フコトヲ以
テ、直グソレガ負擔ノ輕減デアルト云
フヤウニ、左様ニ見ルト云フコトハ、
私ハ民衆ノ負擔ト云フ深刻味ニ付テ、
内務省ガ深刻ナル感ジヲ持ツテ居ラヌ
ト云フコトニナルト思フ、餘リソレハ
ヒドイト存ジマスガ、モウ一遍御返事
ヲ伺ツテ見タイ、負擔ノ輕減ト云フモノ
ハ最モ今日緊要ナ事デアルニ拘ラズ、
唯自然減ト云フヤウナ明白ノ事實ヲ捉
ヘテ、是ガ負擔ノ輕減デアルト云ツテ、
内務大臣ノ口ヲ籍リテ天下ニ公表スル
ト云フコトハ、根本的ニ行政上ノ誤解
デアリ、又取扱ノ不十分デアルト斯ウ
思フノデアリマス

○岡田委員 詰リ自然ニ減ジタト云フモノヲ
捉ヘテ負擔輕減デアルト云フヤウナ、
サウ云フヤウナコトハ天下ヲ欺瞞スル
モノデアルト私ハ考ヘル、ソレデ私ハ
更ニ進シテ問ヒマセウ、具體的ニ府縣
別ニ付テ、府縣稅、市稅、町村稅ト分
ケテ府縣別ニドレダケノ輕減ヲ圖ラレ
タカト云フコトノ實際ヲ伺ッテ見タイ
ト思ヒマス

○次田政府委員 今書類ヲ取寄セテ申
シマス

○岡田委員 私ハ急ギマスカラソレハ
先ニ殘シテ進ミマス、只今ノ地方局長
ノ内務省ヲ代表セラレタ此御言明ト云
フモノハ、人々ノ實際ノ負擔ヲ減ズル
ト云フコトヲ見ルベキ中心ニ居ル所ノ
内務行政當局者ガ、如何ニ國民ノ負擔
輕減ニ對シテ思ヲ致スコトガ薄イカト
云フコトヲ立證スルコト、思ヒマス、
其意見ヲ念ノ爲ニ此處デ表白シテ置キ
タイト思ヒマス

更ニ私ハ念ノ爲ニ伺ッテ見タイト思
ヒマスガ、昨年私モ委員ヲ勤メテ居タ
義務教育費ノ一千萬圓増額デアリマ
ス、其當時殆ド其決議ノ條件ト致シマ
シテ地方ノ負擔ノ輕減ヲスルト云フコ
トニ御約束ニナッタモノデアリマス、尙
ホ内藏兩大臣モ訓令ヲ發セラレテ、家
屋稅附加稅ノ輕減ヲ圖ルガ宜イト云フ

コトノ訓示ニナツテ居ルコト、思ヒマス、之ニ付テハ如何ナル御監督ヲ爲サツタノデアリマセウカ、又如何ナル結果ガ現レテ居リマセウカ、其點ヲ具體的ニ御説明ヲ願ヒマス

○安達國務大臣 私ヨリ御答致シマス、其義務教育費ノ問題ニ付テハ、其當時固ク教育費ニ充當シナケレバナラヌト云フコトヲ府縣知事ヲ經テ嚴重ニ通達シテ居リマス、間違ナク他ノ土木費トカ、他ノ方ニ使用シテハナラヌト云フコトヲ、ソレヲ各地ニ嚴達ヲ致シテ十分監督ヲシテ居リマスカラ、ソレハ目的ノ通リニ使用サレテ居ルコト、確信致シテ居リマス、最近ニ於テモ調査致シマシテ、間違ナク各地トモモト指示シタ通リノコトニナツテ確ニ教育費ニ使用サレテ居ルト信ジテ居リマス

○岡田委員 私ハアナタノ御考ハ御觀念ガ違ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、教育費ニ使フト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマセヌ、アレハ負擔ノ輕減ニ使フコトニナツテ居リマセウ、只今ノ御言明ハ少シ違ヒマス

○安達國務大臣 負擔ノ輕減ニ充テルト云フコトヲ……

○岡田委員 ソレハサウデナケレバナラヌ、ソコデ御監督ニナツタ結果ヲ少シ伺ヒマセウ、之ヲ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○次田政府委員 義務教育費國庫負擔額ノ増ハ一千萬圓ニアリマスガ、之ヲ地方ニ分ケマシテ負擔輕減ニ充テシメシタ其實績ハ、大體ニ於テ市ニ於テハ九十九萬餘圓、町村ニ於テハ八百七十九萬餘圓、合計九百七十九萬餘圓ヲ負擔輕減ニ充當シテ居リマス、其殘額ハ役場ノ國勢調査費及ビ寄附金等ニ一万五千餘圓、其他ニ三十八萬七千餘圓ヲ充當シタコトヲ調べノ結果發見致シマシタ、此前ノ役場ノ國勢調査費、寄附金等ニ充當致シマシタモノニ付テハ、前通牒ノ趣旨ニ基イテ其負擔輕減ニ充當スルヤウニ更正シロト云フ通牒ヲ發シテ今更正サセテ居リマス、ソレカラ後ノ三十八萬七千餘圓、是ハドウ云フ風ニ充テタノデアルカ、其内容ニ付キ調査ヲ進メテ居リマス、是モ分リマシタラ前同様ニ相當是正セシメル見込デ折角今調べテ居リマス、大體ニ於テ是ガ九百八十萬、此數字ガピタット千萬圓ニナリマセヌガ、町村デ是ダケハイツテ來ルモノト見込ンデ豫算ヲ組ミマシタモノヲ集計致シマシタカラ、ピタット千萬圓ニナリマセヌガ、大體ニ於テ目的ヲ達シテ居ルト考ヘテ居リマス

○岡田委員 一寸相濟ミマセヌガモウ一度分ケテ言ッテ下サイマセヌカ、ソロヤツテ下サイマセヌカ

村ガ八百七十九萬餘圓、合計九百七十九萬圓ガ負擔輕減ニナッテ居ルモノアリマス、ソレカラ役場ノ國勢調査費寄附金等是ハ明カニ通牒違反デアリマスガ、一萬五千餘圓ヲ使ツテ居リマス、是ハ通牒ヲ出シマシテ直スヤウニシテ居リマス、其他ノ分ニ付テハ是ハ一體ドウ云フヤウニ使ツタノデアルカト云フコトヲ、今折角調査シテ居リマス〇岡田委員 ソレデハ何レ各府縣ノ報告書ニ依ツテ御調査ニナルコト、思ヒマスカラ、私ハ茲ニモット詳シク伺ヒタイノデアリマスガ、例ヘバ各都市ニ分ケテ、都市ノ減稅目ノ目別、其課率ノ減ゼラレタル率、ソレカラ府縣別ニ致シマシテ、町村ノ減稅目並ニ其課率ノ減額ノ程度、其課率ノ全體ノコトヲ綜合シテ御話出來ナケレバ、私ハ之ヲ各府縣別ノ減稅目ノ區別デモ宜ウゴザイマス、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス〇次田政府委員 今御註文ノ書類ハ揃ヘテ差上グルコトニ致シマスガ、唯町村ノ課率ハ一寸分ラナイカト思ヒマス〇岡田委員 ソレデハ東京市ノ課率ハ如何ニ減ジテ——如何ナル稅目ガ減ゼラレタカ、ソレヲ一例ヲ舉グテ伺ヒタ

モ宜ウゴザイマス
○次田政府委員 一寸今分リマセヌ
○岡田委員 分リマセヌカ、是ハ併シ
大分私ハ重キヲ置イテ御尋シテ居ルノ
デアリマス、何故カト申シマスト、私
等ノ縣ニ致シマシテモ、亦自分ノ知ツ
居ル例ニシテモ、殊ニ東京市ハサウデ
ナイカト思ツテ聽イテ居ルガ、ドウモ歳
入缺陷ガアル、課率ノ減額豫算ヲ出シ
タコトヲ聞カナイデス、大部分ノ地方
ニ於テ聞カヌ、私ハ遊説等デ九州等三
行ツテ聽イテ見マシタガ聞キマセヌ、疑
フノデハアリマセヌガ、非常ニ疑問ニ
思ツテ居ル、其真相ヲ茲ニ聽キタイト云
フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマス、一例
デ宜ウゴザイマスカラ御話下サイ

額ト申シマスモノガ、五年度ノ當初豫算ニ較ベマシテ、二千七百三十四萬圓モ増額致シテ居ル、其增加シテ居ル府縣ガ全國ノ府縣ノ中デ三十三府縣ノ多キニ瓦ツテ居ル、一面ニ於テハ、稅ノ減收ハ甚シクシテ、千三百萬圓以上ノ稅ノ減收トナツテ居ル、之ヲ稅外ノ收入、特ニ府縣債ヲ以テ填補シテ居ル形跡ガ顯著デアリマス、即チ三千萬圓以上ノ額ニ達シテ居ルト存ジテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテハ彼ノ時ニモ繰返シテ申上ゲタ通リニ、六年度ノ豫算ハ五年度ノ豫算ニ較ベテ增額ヲシナ

イヤウニ、稅ニ於テモ成ベク減稅ヲ致セト云フ嚴重ナル御訓令ガアツタ、私ハ其訓令ニモ満足セヌノデアル、實ハモット減ズルノデアルカト思ツタ所ガ、先づ五年度ト同ジャウニ致セト云フコトデアル、ソレハソレデモ宜シトイシテ、嚴重ナル訓令ヲ發セラレ、地方長官ニ對シテモ内務大臣ガ嚴重ナル御訓示ニナツテ居ル、然ルニモ拘ラズ知事自ラ作ツタ提案豫算ト云フモノガ、既ニ五年

ハソレモ大分弛ンデ居リマス、斯ノ如クシテ府縣ノ公債ト云フモノ、種類ガ多種多様ニナツテ、殆ド是ハ前カラノ形ト同ジヤウニ直シテシマツタ、ソコデ成程ソレハコヂツケテ見レバ——コヂツケルト言ヘバ激シクナルガ、謂ハゞ説明ヲ付ケテ言ヘバ救濟デアリマセウ、併シ是ハドンナ事業ダツテ救濟ニナラナイモノハアリハシマセヌ、究極ニナレバドンナ事業デモ皆是ハ一種ノ救濟ニナル、人ニ關係セザルモノハナイカラ：：ケレドモ左様ニナルト云フト、是ハ殆ド内務省ノ公債政策ニ向ツテノ御監督ト云フモノハ形ニ於テ既ニ一變シタ、斯様ニ思ヒマスガ、ソレハ大體内務大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

債ヲ許シタ爲ニ地方ノ財政ノ基礎ヲ壞
スト云フヤウナコトハ萬々ナイト私ハ
信ジテ居リマス

○岡田委員 ソレデハ結論トシテアナ
タニ伺ツテ置キマセウ、只今此三十三府
縣、即チ例外ト雖モ原則ニ悖ツテ居リ

意圖ヲ伺ツテ置キタイ
○安達國務大臣　地方局長ガ答ヘテ毛

急ノ費用デアルト云フナラバ、ソレヲ削レト云フ所マデアナタハ勵行スル重

ス
私ガ責任ヲ持ツカラ同ジエトテアリマス
○本田委員長 ドウモ相對ノ御話ハ因
リマス

○次田政府委員 道府縣ノ昭和六年度
豫算ニ計上致シマシタ地方債ハ、其債
ニ認メルカト云フ御尋デアリマスガ、
是ハマダ許可ノ手續ヲ致シテ居リマセ
スカラ、許可ノ申請書ガ出テ參リマシ
タラバ、十分ニ審査致シマシテ、假令
ソレガ失業救濟ノ公債デアリマシテモ
實際ソレダケノ事ヲスル必要ガアルカ
ナイカト云フコトヲ審査致シマスルカ
ラ、其儘ニ鵜呑ミニスルト云フコトハ
ナイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ審議未

氣ガアルカナイカト云フ事ヲ聞イタノ
デアリマス、即チ各府縣ト云フモノハ
鬼モ角モアナタノ意圖ニ反シテ、三
十三府縣ノ多キニ瓦ツテ例外ガ原則ト
ナツテ居ルデハアリマセヌカ、ソレナラ
バ此際ニ於テ内務大臣ハ下僚ヲ督シテ
嚴重ニ各府縣ノ豫算ヲ調ベテ、是ハイ
カヌ、是ハ宜イト云フコトデ削減シテ
行クト云フダケノアナタハ勇氣ヲ持タ
ナケレバ、内閣ノ緊縮政策ハ崩レテシ
マフデハアリマセヌカ、ソレヲ聞イタ
ノデアル、隨テ左様ナル指圖ヲナサ
テ居ルカナサツテ居ラヌカト云フコト
ヲ伺ツテ居ルノデアリマス

○安達國務大臣 大體ニ於テ地方起債
事ニ付テ方針ハ變ツテ居リマセヌガ、今

○岡田委員 ザイマス 左様デアルナラバ、今回

了ニナリマシタ府縣ノ豫算等ニ付キマシテハ、マダ内務大臣ヨリ指揮ヲ致シテ

意思ニ反シタヤウナ事ハシテ居ラヌト
思ヒマスカラ、サウ云フ勇氣ヲ出ス必

マデ申上ゲマシタヤウニ失業問題ガ茲ニ起ツタ、此失業ヲ救濟スルト云フコトニ付テハ已ムヲ得ザル處置トシテ起債ヲ許シタ、併シ起債ヲ許スニ付キマシテハ妄リニ許シテハ居リマセヌ、必ズソレハ能ク調査シテ、事業ヲスル、其事業其モノハヤハリ地方ニ非常ナ利害ノ關係ガアルモノヲ擇ンデ居ルノデアリマス、ソレカラ地方ノ負擔モ十分調ベテ返済ノ力モ十分アルト云フコトヲ確メタ上シテ居リマスカラ、今後起

○安達國務大臣　各府縣ニ瓦ルコトデ
アリマスカラ、地方局長カラ御答致シ
マス

○岡田委員　併シアナタノ大體ノ方針
ト云フモノガナクテハ、地方局長モ出
來マセヌデセウ、兎ニ角上官ノ意圖ト
云フモノガ其處ニ徹底シナケレバ出來
ヌヂヤアリマセヌカ、故ニアナタノ御

テ居リマセヌカラ、其指揮ノ際ニハ現
ラク相當其豫算ニ手ガハイルコトニナルダラウト思ツテ居リマス、兎ニ角今表
デ差上グマシタモノ其儘デ實際ノ財政
ガ釘付ニナルトハ考ヘテ居リマセヌ
○岡田委員 ソレハモウ當リ前ノ事デ
アリマス、ソレハ伺ハヌデモ當リ前デ
ス、唯私ノ伺ツテ居ルノハ、地方債ノ
御許可ノ場合ハ固ヨリデアリマスガ、
其他ニ於テモ歳出全般ニ付テ地方局長
ナリ内務大臣ガ全般ヲ調べテ、是ハ不

要モナイト思ツテ居リマス
○岡田委員 分リマシタ、ソレデハ私
ハ大體今ノ地方長官ノ組ンダ所ノ決議
サレタ豫算ト云フモノハ、先づ是デ白
分ノ考ハ達セラレテ居ルモノデアル、
サウ大シテ之ニ對シテ嚴重ナ監督ヲス
ル必要ハナイ、斯ウ云フ風ナ程度ノ御
考ト私ハ認メマスガ、ソレデ宜シウズ
ザイマスカ

ガ釘付ニナルトハ考ヘテ居リマセヌ
○岡田委員 ソレハモウ當リ前ノ事デ

分ノ考ハ達セラレテ居ルモノデアル、
サウ大シテ之ニ對シテ嚴重ナ監督ヲス

アリマス、ソレハ伺ハヌデモ當リ前デ
ス、唯私ノ伺ツテ居ルノハ、地方債ノ

ル必要ハナイ、斯ウ云フ風ナ程度ノ御
考ト私ハ認メマスガ、ソレデ宜シウズ

御許可ノ場合ハ固ヨリデアリマスガ、
其他ニ於テモ歳出全般ニ付テ地方局長

○安達國務大臣　ザイマスカ

ナリ内務大臣ガ全般ヲ調べテ、是ハ不

言フノヂヤアリマセヌガ、私ノ意思ト

甚シク相反シタモノハナイト私ハ推定シテ居リマス

○岡田委員 ソレデハ……

○本田委員長 一寸御注意申上ゲマス、正確ニオヤリニナリマセヌト、アナタ方ノ折角ノ名論ガ速記ニ取レマセヌヨ

○岡田委員 ソレデハ改メテ伺ヒタイ

ノデアリマス、即チ今回ノ減税ニ關係シテ居ル地方稅制ノ整理、——整理ト申シマスカ、地方稅制ニ對スル御扱デ

アリマス、御扱ノ根本ノ御方針、大體明願ヒタイト存ジマス

○安達國務大臣 簡單ニ申シマスト、此度ノ地方稅ノ整理ハ、國稅デ地租法ヲ制定シテ、サウシテ地租ノ減税ヲシ

或ハ營業收益稅ノ輕減ヲ行フ、ソレニ伴フテ此地方稅制ノ整理ヲ爲シタノデアル、現狀ヨリ地方民ノ負擔ヲ重クセヌ、又輕減モセズ、約言スレバ現狀ヲ

維持シテ、サウシテ國稅ノ減税ノ爲ニ地方財政ニ變化ヲ與ヘナイト云フ所カラ立案シタモノデアリマス

○高橋委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス、夜分ノ開會デアリマスカラ吾

吾ハ幾分カ疲勞ヲ覺エテ居リマスノデ、聽力モ幾分鈍ツテ居ルト思フ、ソレ

デヤハリ御互ニ立ツ以上ハ内務大臣モ立ツテヤッテ戴キタイト思ヒマス、是マ

デ此委員會ニ於テハ皆起立ヲシテ發言シテ居ルノデアリマスカラ、御疲レデ

マセヌカラ、ドウゾ左様ニ御願致シ

イ、徹底シテ居ナイト、速記錄ハ直チ

ニ出來マセヌノデ、何遍モ同ジ問題ヲ

他ノ委員カラ繰返スヤウニナリマスカラ、ドウカ議事ノ進行ヲ圖ル考カラ、

御迷惑デアリマセウケレドモ御起立アランコトヲ希望致シマス

○本田委員長 腰掛ケタ儘デ御發言ニ

ナルコトヲ委員長ハ止メハ致シマセヌ

ガ、一般ニ透ルダケノ聲ヲ出シテ御問

答ニナルト宜イト思ヒマス、起立シテヤルトモ、腰掛ケテヤルトモ、ソレハ御

御願致シマス

○岡田委員 只今ノ御話ハ大變ニ簡單

隨意デアリマス、聲ダケハ透ルヤウニ

ヤルトモ、腰掛ケテヤルトモ、ソレハ御

御願致シマス

○岡田委員 只今ノ御話ハ大變ニ簡單

隨意デアリマスケレドモ、餘リ明瞭デハア

リマセヌヤウデゴザイマシタ、ソレデハ

地方稅ニ對シマシテハ地方ガ困ラヌ程

度ノ按排ヲシタ、是ダケノ話デアリマ

ス、ソレデハモット質問ヲ變ヘテ申上

ゲテ見タインデアリマスガ、今回ノ軍

縮剩餘金ニ依ルト稱セラレル所ノ減税

ハデス、何故ニ之ヲ國稅ノミニ限ラレ

マス

○岡田委員 ソレハ唯是ハ是デアルト

タト云フコトカラ先キニ伺ッテ見マセ

ウ、何故ニ國稅ニ限ツテ御減税ニナルノ

デアリマスカラ、若シ政府トシテ地方中

央ヲ通シテ、最モ其中核ニ觸レタル所

ノ減税ニ手ヲ染メナケレバナラヌ、是バ政府ハソレヲ以テ行政ノ何處へ使ツテモ宜イ、自ラ其處ニ政府ノ經綸ガ在

シテ居ルノデアリマスカラ、御疲レデ

ガ政府ノ方針デナケレバナラヌトシ

テ、ソレニ付テ何故ニ國稅ニ限ラ國稅

ヲ減ズル、其様ナ馬鹿——トハ申シマ

セヌガ、左様ナ因縁關係ガ何處ニアル

テ居ル内務大臣ハ、モツト、此場合ニ於

テ地方財政ノ狀況ニ鑑ミラレテ、之ヲ

ラ内務大臣ニ聞イテ居ルノデアリマス

デスカラ、一應御聽キニナッテハドウデ

スカ

○安達國務大臣 私ハ内務大臣ノ答辯ヲ求

メマス

ニ要スル經費ハ國稅デアリマス、地方

ニ要スル經費ハ國稅デアリマス、地方

ニ要スル經費ハ國稅デアリマセヌ

カラ、ソレデ今回倫敦海軍條約ノ結果

リマセヌヤウデゴザイマシタ、ソレデハ

留シテアツタ財源ガ餘裕ヲ生ジタ、ソレ

ナモノデアリマスケレドモ、剩ツタモノ

ノ費用ヲ支辨シテ居ル、ソレガ剩ツテ居

ルカラ國稅ヲ輕減スル、ソレ以上ハ私

ハ意見ノ相違ト思フ

○岡田委員 ソレハソレデ宜シイヤウ

ナモノデアリマスケレドモ、剩ツタモノ

ヲ國稅ト云フコトハナイ、剩ツタノハ金

デアル、剩餘金ダ、元ハ國稅カモ知レ

ヌガ、其餘ツタモノヲ使フノニ國稅ノ輕

減ニ使ハナケレバナラヌト云フ、左様

ナ形式論ヲ以テ御答辯ニナルト云フコ

トハ、内閣ノ失態デハナイカト思フ、意

見ノ相違ト云ヘバ已ムヲ得マセヌガ、

モウ一遍ソレニ付テ伺ヒタイ

○大口委員 一寸ソレニ關聯シテ斯ウ

云フコトガ疑問ニナリマス、只今ノ内

務大臣ノ答ダト、地方稅ヲ國稅ニ附加

スルト云フコトハ、言フマデモナク國稅ニ對スル附加稅デアリマスカラ、國稅ト地方稅ト密接ナ關係ヲ持ツ、今率ハ一寸覺エマセヌガ、例ヘバ國稅ノ營業收益稅ノ百分ノ五十マデハ賦課シテ宜イト云ヘバ、國稅ノ營業收益稅ノ百ニ對シテ地方稅トシテ五十ダケノ割合ヲ掛ケテモ宜イト云フ關係カラ此賦課ノ率ヲ定メルノデアリマス、ソレデアルカラ國稅其モノガ減レバ、率ヲヤハリ同ジニシテ置ケバ、地方稅モ同ジャウニ減ツテ行クノガ、地方稅ノ率ヲ定メタ根柢ニナル、所ガ國稅ハ減スガ地方稅ハ減サナイトスレバ、賦課率ヲ上ゲルノデス、サウスルト目ノ子勘定デ、金デ定メルノデアッテ、國稅ト地方稅ノ率ガドレダケノ率ヲ賦課シテ宜イト云フコトガ亂レテシマフ、其處ヲ御説明下サレバ能ク分ルト思フ

○安達國務大臣 御話ノ通り、國稅ヲ減ズルト附加稅ハ減ル、減ルト地方財政ニ缺陷ヲ生ズルコトニナル、ソレデ國稅ハ減ツテモ、地方稅ハ減ラナイヤウニシテ行カウト云フノガ、此地方稅制ノ整理案デアリマス

○大口委員 事實ハソコカラ出タノデアリマセウ、サウスルト國稅ニ對シテ地方稅ト云フモノ、率ハ何モ政府ニ定見ハナイ、唯目ノ子勘定デ是ダケ取ラセルト云フ上カラ率ヲ作ルモノデアッテ、斯様ナル地方民ヲ苦メル所ノ惡

○岡田委員 ソレデハ尙ホ同ジコトデアリマスケレドモ、他ノ例ヲ取ツテ申上ゲテ見タイノデアリマスガ、例ヘバ家屋稅デス、家屋稅ト云フモノハ、内務省ガ、是ハ隨分惡イ稅デアリ、是ハ若楓内閣ノ時作ラレタモノデアルガ、是ハ非常ニ惡イ稅デ困ツテ居ル、而モ是ガ此前ノ約束ヲ破ツテ、隨分多額ノ負擔ニナツテ居リマス、斯ウ云フモノハ宜シク此際ニ、此金ヲ以テ相當輕減スルトカ、或ハ改正スルト云フコトニ著メタイト思ヒマス

○安達國務大臣 地方財政ノ根本的整理ト申シマスカ、地方財政ニ付キマシテハドウ云フコトデアルカ、私ハソレガ出來タト致シマスレバ、此地租法案ト云フモノハ、來年ノ行財政ノ整理ノ中ニ入レナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、ソレヲ入レナイ御考デアリマスカ

○安達國務大臣 地租ハ國稅デアリマスカラ別問題デス、私ハ地方財政ノコトニ付テ御話シテ居ルノデス

○岡田委員 ソレデハソレハ他ノ機會

スルト云フコトハ、言フマデモナク國稅ニ對スル附加稅デアリマスカラ、國稅ト地方稅ト密接ナ關係ヲ持ツ、今率ハ一寸覺エマセヌガ、例ヘバ國稅ノ營業收益稅ノ百分ノ五十マデハ賦課シテ宜イト云ヘバ、國稅ノ營業收益稅ノ百ニ對シテ地方稅トシテ五十ダケノ割合ヲ掛ケテモ宜イト云フ關係カラ此賦課ノ率ヲ定メルノデアリマス、ソレデアルカラ國稅其モノガ減レバ、率ヲヤハリ同ジニシテ置ケバ、地方稅モ同ジャウニ減ツテ行クノガ、地方稅ノ率ヲ定メタ根柢ニナル、所ガ國稅ハ減スガ地方稅ハ減サナイトスレバ、賦課率ヲ上ゲルノデス、サウスルト目ノ子勘定デ、金デ定メルノデアッテ、國稅ト地方稅ノ率ガドレダケノ率ヲ賦課シテ宜イト云フコトガ亂レテシマフ、其處ヲ御説明下サレバ能ク分ルト思フ

○安達國務大臣 御説ノ通りト考ヘテ居リマス

○岡田委員 ソレデハ尙ホ同ヒマス、他ノ同僚ノ質問ノ所ニ一寸ハイルヤウデアリマスガ、御許シヲ願ツテ問フノデアリマスガ、此地租ノ制度デス、今回提案サレテ居ル地租ノ制度デアリマス、此制度左様ナル點ニ付テ、所謂地方、中央ノ調和ト云フコトニ付テ、アナタハドレダケノ考慮ヲ費ヤサレタカ、何カ御考慮ノ點、御苦心ノ點ガアッタナラバ、私ハ其御苦心ノ點ダケデモ宜イ、之ヲ聽

○安達國務大臣 ソレハ加ヘナイノデアリマス

○岡田委員 地租ト云フモノハ其中ニ眼サレテ、單リ國稅ニ限ラズ、斯様ナル方面ニ向ツテモ考慮ヲ及ボサルベキモノデアルト思フノデアリマス、況ヤナタノ御親切心ヲ六千萬同胞ニ知ラシメタイト思ヒマス

○安達國務大臣 地方財政ノ根本的整理ト申シマスカ、地方財政ニ付キマシテハドウ云フコトデアルカ、私ハソレガ出來タト致シマスレバ、此地租法案ト云フモノハ、來年ノ行財政ノ整理ノ中ニ入レナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、ソレヲ入レナイ御考デアリマスカ

○安達國務大臣 地租ハ國稅デアリマスカラ別問題デス、私ハ地方財政ノコトニ付テ御話シテ居ルノデス

○岡田委員 ソレデハソレハ他ノ機會

○**本田委員長** 岡田君ニ御注意申上ゲ
タイト思ヒマス、此地租法ヲ財政整理
ノ目的範圍ニ入レルカドウカト云フコ
トニ付テハ、大藏大臣ニ高橋君或ハ武
田君カラモ御尋ニナツテ、大藏大臣ガ明
カニ答ヘテ居ルト思ヒマス、ソレハ速
記録ヲ御覽ニナルト明カニ書イテ居
ル、唯御注意ダケヲ申上ゲテ置キマス、
同一ナコトヲ御伺ニナルノハアナタノ
御勝手デスガ……

○**岡田委員** 委員長ノ御注意ハ聽キマ
スガ、其御注意ハ間違テ居リマスカ
ラ、間違テ居ルト云フコトヲ申上ゲテ
置キマス、兎ニ角地租ト云フモノヲ入
レヌト云フコトヲ言明サレタガ、ソレ
ハ先程此處デ御話ニナツタ通り、地租ノ
附加稅モ色々密接ナ關係ガアルモノヲ
入レナイト云フコトハ、縱令言ッテモ
實ハ出來ヤセヌト私ハ思テ居リマス、
併シソレヲ問フノガ目的デナイカラ、
此場合ハ止メテ置キマス、ソレデ只今
御伺シタノハ要スルニ中央ト地方トノ
關係ニ付テハ如何ナル御苦心ガアッタ
カ、ソレニ付テハ斯様々々ノ苦心ヲ致
シタト云フコトガ、内務大臣ニナケレ
バナラヌノニ、唯ソレハ岡田ノ言フ通
リニ隨分考究スベキ點デアルト思フ、
之ヲ來年ノ行政財政ノ整理ニ加ヘテ研
究スルモノデアルト、斯ウ云フ話デア
リマスルガ、之ヲキメル時ニ如何ナル

○**安達國務大臣** 現在ノ此法律案ヲ作
マデノ御苦心ヲ聞イテ居ルノデアリマ
ス、其御答辯ヲ願ヒタイノデアル

○**岡田委員** 私ハ其御苦心ノ内容ヲ聞
イテ居ルノデアル、唯苦心シタト云フ
ヤウナコトハ誰モ申シマス、私ハソン
ナ冗談ヲ聞イテ居ルノデハナイ、此地
租ト云フモノハ地方稅ニ聯關シテ非常
ナ苦心ガアルデハナイカ、ドウ云フ御
漏レテ居ルデハナイカ、私ハドウ云フ
御苦心カアッタカト云フコトヲ聞クノ
デアリマス

○**安達國務大臣** 如何ナル點ニ於テ苦
心ヲシタカ、サウ云フ苦心談ヲ此處ニ
スル必要ハナイト思ヒマス、此出來タ
案ニ付テノ御質問ヲ願ヒマス

○**岡田委員** 私ハソレデハ一ツ項目ヲ
分ケテ聞イテ見マセウ、例ヘバ營業稅
デアリマス、下級ノ營業稅者ニ對シテ
免稅點ヲ引上ゲルト云フコトニ付テ

○**次田政府委員** 營業稅ノ免稅點ノコ
トニ付キマシテハ、現行ノ地方稅ニ關
スル法律ノ第十七條ニ規定ガアリマシ
テ、課稅標準ノ一定額以下ノモノニ對シ
テハ免稅ヲシテモ宜シトイ云フ規定ガ

○**岡田委員** 必要ガ有ル無シト云フコ
トハナイト思フノデアリマス、即チ此
法案ヲ出スニ當ツテハドウ云ウ點ヲ直
シテ見タイトカ、此處ハ斯ウシテ見タイ

○**岡田委員** 前カラ申シマシテモ、府縣ノ自治ニ
任シテ居ルノデアリマシテ、全國一律
ニ府縣稅タル營業稅ノ免稅點ヲ定メル

○**岡田委員** マアソレデ宜イヤウナモ
ノデスガ、詰リ今ノ規定ガ斯ウアルカ
ラソレデ宜イト思ッタ言ハレルガ、内
務省ト云フモノハ免稅點ヲ引上ゲテ相
當小營業者ヲ霑スガ善イカ悪イカト云

○**岡田委員** ノデスガ、詰リ今ノ規定ガ斯ウアルカ
ラソレデ宜イト思ッタ言ハレルガ、内
務省ト云フモノハ免稅點ヲ引上ゲテ相
當小營業者ヲ霑スガ善イカ悪イカト云

○**岡田委員** フコトニ付テ、相當考究ガナクテハナ
ラヌ、然ルニ規定ガ斯ウアルカラ是デ
宜イト思ッタ、サウ云フ簡略ナコトデ

○**岡田委員** ト云フコトハ、一應ハ考ヘテ見マシタ
ケレドモ、ソレハ止メルコトニ致シタ
マシタガ、内務省ト致シマシテハ免稅
點ヲ引上ゲルト云フコトニ如何ナル御
説明デアリマス

○**岡田委員** 是ハサウスルト云フト各
地方ノ狀況ニ依ルト云フコトニシテ府
縣知事ノ裁量ニ委ス、府縣知事若クハ
ルナト呼フ者アリ)私ハ如何ナル點ニ
於テ苦心サレタカト云フコトハ、當然
发表サレテ宜イモノデハナイカト思ヒ
マス

○**岡田委員** リ聽キタクナイ(「餘り亂暴ナ質問ハス
ル」ト呼フ者アリ)私ハ如何ナル點ニ
於テ苦心サレタカト云フコトハ、當然
發表サレテ宜イモノデハナイカト思ヒ
マス

○次田政府委員 免稅點ヲ引上げマシテ下級ノ營業者ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトハ、如何ニモ望マシイコトデアリマシテ、其事ニ付テハ考慮シテ見タノデアリマスルガ、何分ニモ地方財政ノ狀況ハ財源ガナインニ困ッテ居ルト云フ有様デアリマシテ、今度ノ整理ノ如キモ地方稅全體ニ亘ツテ増減ノナイヤウニ整理案ヲ立テマシタノデ、營業稅ニ付テハ希望ハ致シマスケレドモ、マダ免稅點ヲ内務省デキメテ、ソレヲ地方ニヤラセルト云フ程度ニハ運ビマセナカツタト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス

其儘ノ課率ニ致シテ置キマスト、地方營業収益稅附加稅ノ收入ガ減ジマスルノデ、或ル程度マデ、是ハドウシテモ引上ゲナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、現行ノ規定ハ北海道府縣百分ノ四一、其他ノ公共團體百分ノ六〇ガ制限額ニナツテ居リマス、之ヲ營業収益稅ノ附加稅ガ増減ナイヤウニ課率ヲ定メルコトニ致シマスルト、平年度ニ於テ詰リ昭和七年度以降ニ於テ北海道府縣營業収益稅ノ附加稅ハ百分ノ四五、市町村營業収益稅ノ附加稅ハ百分ノ六六ニナリマシテ、略々増減ノナイヨトニナルノデアリマス、併ナガラ是ハ何レ御説明申上ゲル機會ガアルト考ヘマスルガ、營業収益稅ノ方デ輕減ヲ致シマスル關係上、府縣稅タル營業稅ニ付キマシテモ、是ト權衡ヲ得ルヤウナ增稅ヲ致シタイト云フ考デ、其爲ニ府縣ノ收入ヲ減ズルコトニナリマスノデ、一、半ダケ營業収益稅ノ附加稅ヲ餘計取ルコトニ致シタノデアリマス、是ハ只今御指摘ノ通リデアリマス、其關係ダケ見マスレバ、百分ノ一、半ダケ營業収益稅附加稅ヲ增徵スルト云フ關係ニナルノデアリマスルガ、一方都市計畫特別稅ノ方デ營業収益稅割ガ百分ノ二二ト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ本稅ガ減ジマシテモ増減ナイヤウニ計畫特別稅ノ方デ營業収益稅割ガ百分ノ二二ト云フコトニナツテ居リマス、之

リ四捨五入致シマスレバ百分ノニニナルノモノヲ引上ゲテ、百分ノ二四ルダケノモノヲ相當トスルノデアリマスカルガ、其方ヲ百分ノ二ニ据置キマシテ、コチラノ一般ノ營業収益稅ノ方ヲ百分ノ四六半ニ致シタノデアリマスカラ、大體ニ於テ全體ヲ通ジテ考へマスレバ、營業収益稅附加稅ハ増額ニナッテ居ナイ計算ニナルノデアリマス

○岡田委員 只今ノ御話ハ内務省御配付ノ表ニ依ツテ御説明ニナッタノデアリマスカ、營業収益稅附加稅移動表ト云フアレデセウネ、改正國稅ニ對スル府縣及ビ市町村ノ附加稅率算定ノ根據ト云フ表ガアル、ソレニ依ツテ分リマスベシソレデハ改メテ同僚カラノ希望アリ、私モ希望デアリマスカラ、此内務省御配付ノ表ヲ其處ニ出シマシテ、モソト詳シク御説明戴キタウゴザイマス

○次田政府委員 改正國稅ニ對スル府縣及ビ市町村ノ附加稅率算定ノ根據ト云フ表ヲ差上ゲテアリマス、便宜上ソレニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、營業収益稅附加稅ト云フノガ一番最後ニアリマス、シテ改正後ノ營業収益稅額ガ四千五百三萬三千二百三十三圓ニナリマス、此六千百十七圓ニナルノデアリマス、而ス、其道府縣ノ方ハ改正前ニ於ケル營業収益稅附加稅制限額ガ二千三十五萬比率ハ百分ノ四五・二〇ニナルノデア

ノリマス、此税率ヲキメマス際ニハ他ノモノモ皆同様デアリマスガ、四捨五入ヲ致シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ此儘税率ヲキメルトナリマスレバ、之ヲ百分ノ四五トキメル譯ナノデアリマスルガ、前申シマシタ地方團體ニ收入ヲ與ヘタイ、營業稅ノ補足ヲセタイト云フ趣旨、百分ノ四六半ト詰リ百分ノ一・五ダケ營業稅ノ制限率ヲ緩ク致シタノデアリマス、ソレカラ市町村ノ方ハ改正前ニ於ケル營業收益稅ノ附加稅額ガ二千九百七十八萬九千四百四十圓デアリマシテ、ソレヲ改正後ノ營業收益稅額ニ對シテ比率ヲ出シテ見マスルト云フト、百分ノ六六・一四ニナリマスルカラ、改正制限率ヲ營業收益稅ノ百分ノ六十六ト云フコトニ致シタノデアリマス、只今ノ御質問ハ、此道府縣營業收益稅附加稅ヲ、本來ナラバ百分ノ四十五トスベキモノヲ、特三百分ノ四十六半トシタコトハ、其點ガ增稅ニナルデハナイカト云フ趣旨ノ御質問ト諒解致シマシテ、ソレニ對シテ御答ヲ致シタイト存ズルノデアリマスソレカラ都市計畫特別稅ノ方ニアリマスル營業收益稅附加稅ノ課率ガ、百分ノ二十二ドナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ是ト同ジヤウナ計算ニ致シマスルト、百分ノ二十四ニ致サナケレバナルト、現在ノ儘百分ノ二十二ニ

○岡田委員 サウ致シマスレバ、都市計畫特別稅ノ方ノ増減ニ付テモ、進ンデ御説明ヲ戴キタウ存ジマス、何カ表	据置イテ置キマスル關係上、コチラノ方デ百分ノ一半増シマシテモ、營業收益稅附加ガ稅全體デ考ヘマスルト、増稅ニハ相成ツテ居リマセヌト云フコトヲ御答致シタノデアリマス	ガ出テ居リマスレバ、其表ヲ御指摘ニナツテ御説明ヲ願ヒマス
○岡田委員 サウ云フ點ノ御苦心ガアツト云フコトヲ伺ヒマシタガ、兎ニ角是ハサウ致スト云フト、營業收益稅ニ於テハ増稅ニナツテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ御認ニナツタノデスカ	アツト云フコトヲ伺ヒマシタガ、兎ニ角是ハサウ致スト云フト、營業收益稅ニ於テハ増稅ニナツテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ御認ニナツタノデスカ	ガ出テ居リマスレバ、其表ヲ御指摘ニナツテ御説明ヲ願ヒマス
○次田政府委員 一般ノ營業收益稅附加稅ダケ考ヘマスト、百分ノ一・半ダケ制限率ヲ引上グマシタ、其點ハ認メマス	一般ノ營業收益稅附加稅ダケ考ヘマスト、百分ノ一・半ダケ制限率ヲ引上グマシタ、其點ハ認メマス	地租割ニ付キマシテハ、其制限率ヲ現行ノ儘ト致シテ置キマスルト、御承知ノ通リ都市及其附近地ノ地租ガ、今度ノ通リ都市及其附近地ノ地租ガ、今度
○岡田委員 ソレヲ都市計畫法ノ方ノ財源ヲ以テ填補スルト云フ御話ナンデスカ、ソレデ間違ナイノデスカ	ソレヲ都市計畫法ノ方ノ財源ヲ以テ填補スルト云フ御話ナンデスカ、ソレデ間違ナイノデスカ	課稅標準ガ貨貸價格ニナリマシタ關係上、非常ニ増加致シマスルノデ、是等ノ地方ニ於ケル特別稅ハ非常ニ增收ニナリマス、隨テ都市ノ負擔ヲ增加スルコトニナリマスルカラ、現在ノ都市計畫区域内ノ改正地租ヲ標準ト致シマシテ、從前ノ收入ヲ維持シ得ル程度エ之ヲ引上グルコトニ致シマシタ、ソレデ之ヲ地租百分ノ九ト致シタノデアリマス
○次田政府委員 其通リデゴザイマス、都市計畫特別稅タル營業收益稅ノ附加稅ガ、現在デハ百分ノ二十二ガ制限ニナツテ居リマスルノヲ、其儘ニ据置キマシタ、若シソチラノ方ノ稅金ガ大分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、
○岡田委員 サウ致シマスレバ、都市計畫特別稅ノ方ノ増減ニ付テモ、進ンリマス	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、
○岡田委員 此點ハ少シ混入ツテ居リ	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、
○岡田委員 ソレデハ現在ノ都市計畫特別稅ノ方ノ増減ニ付テモ、進ンリマス	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、	ソレカラ都市計畫特別稅タル特別地稅ハ、地租割ノ負擔ノ限度ニ於テ定ムルコト、致シマシテ、之ヲ貨貸價格千分ノ三・四ニ致シタノデアリマス、是ハ市町村ノ方ノ關係デゴザイマスガ、

ソレカラ都市計畫ニ付テハ將來増シテ
來ル、將來新ニ施行スル土地ニ付テハ
増スコトニナル、是ハ今考ヘテ居ラヌ、
サウ云フコトニナルト、ソコヲ御研究
ガマダ足ラヌト云フコトヲ吾々ハ認メ
テ置キマスガ、ソレデ宜ウゴザイマス
カ、ソコノ研究ガ足ラヌヤウニ思フガ、
明日マデ研究シテ見マセウカ、オ互ニ、
一寸ソコガ——私モ早急ニ思付イ
タノデアリマスカラ、確カトハ言ヘナ
イノデアリマスガ、一應問題トシテ残
シテ置キマセウ、明日又御伺シマセウ、
ソレカラ尙更ニサウスルト云フト、營
業稅割ニ付テハ増稅ニナルベキモノヲ
増稅ニサレナカッタ、其理由ハ營業收益
稅ノ減收ト云フモノヲ償ハシガ爲メニ
ダ、一方ニハ都市計畫施行地ノ營業稅
割ヲ据置イタト云フノデアリマシタ
ネ、一般ノ收益稅ノ方ノ率ヲ増サレタ、
百分ノ一・五ヲ増シタンデスネ、サウデ
スネ、サウ致シマスト何ンダカ是ハ、都
市計畫施行地以外ニモ百分ノ一・五ヲ
御殖シニナルノデアリマスカ、都市計
畫施行地ニ限り増スノデアリマスカ、
全部ノ府縣、悉クノ府縣ニ御增シニナツ
テ居リマスカ

ニ致シタノハ、府縣ノ營業収益稅附加稅ノ場合デアリマス、而シテ今日都市計畫法ヲ施行シテ居ナイ縣ハ、埼玉縣ト沖繩縣ダケナノデアリマス、埼玉縣ハ近ク施行スルコトニナツテ居ルサウデアリマスガ、兎ニ角現在ノ所デハ埼玉縣ハ施行シテ居リマセヌ、沖繩縣ハ無論施行シテ居リマセヌガ、此二ツノ縣ニ付キマシテハ、營業収益稅附加稅ハ一・五ダケ増稅ニナルノデアリマス、後ノ府縣ハ皆營業収益稅附加稅ノ方デ百分ノ一・五ノ増率ニナリマスケレドモ、都市計畫特別稅ノ方デ、現在ノ儘据置イタノデアリマスカラ、制限率ヲ通ジテ考ヘレバ、増サナイコトニナツテ居リマス

モ知レマセヌカラ、御町寧ニ其邊ヲ御示シヲ願ヒタイ
○次田政府委員 營業税ニ付キマシテ、道府縣ヲ通ジマシテ、合計デ九十三萬圓ノ減收ニナルノデアリマス、市町村ニ於ケル減收ガ、營業稅附加稅ニ於テ六十五萬圓ニナルノデアリマス、ドウ云フ順序デサウ云フコトニナッタト云フコトハ、先ヅ暫ク措キマシテ、ソレダケノ減收ニナル計算ニナルト云フ是ハ先ヅ出來レバ歲出ノ節約ヲ圖リ、コトハ、只今申シタ通リデアリマス、ソレガ出來マセヌケレバ、他ノ稅ニ負擔ノ均衡ヲ失シナイヤウニ課ケテ行クヨリ仕方ガナイト思ツテ居リマス、別ニ之ヲ補填スベキ財源ヲ發見スルコトガ出來ナカッタノデアリマス
○岡田委員 私ハ其處ヲ御尋シテ居ル、出來ナカッタラ好イ加減ニヤレト云フコトハ、ドウモ子供ノ市町村ハ困ル、モウ少シ親父サンノ方デ親切ニシテ、之ヲドウ云フ風ニ工夫シタラ宜イト云フコトヲ考ヘモ宜イ、唯出來ナカッタラ好イ加減ニ課ケテヤレト云フ、ソレデハ少シモ地方ニ御親切ガナイト私ハ言ウテ居ルノデアリマス、ドウモ今マデ私ハ納得ガ出來ナイ、ドウモ御研究ガ足ラヌト云フノハ其處ヲ言フノデス、唯國稅ヲ減ジタカラ宜イ、アトハ好イ加減ニヤレ、戸數割ヲ増セ、家屋稅ノ

限外税ヲ取レ、勝手放題ニヤレト云フ
コトニナレバ、何モ内務大臣ハ要ラヌ
ヂヤナイカ、モウ少シ御研究ガアツタラ
ウト思ヒマスガドウデス
○次田政府委員 府縣ニ付キマシテハ
百二十七萬圓、一府縣平均二萬五千圓
程ノ減ニナルノデアリマス、是ハ先ヅ
歳出ノ整理節約デソレヲ補ヒ、其節約
ガ出来ナケレバ、營業稅ノ制限外課稅
デ補填サス見込デアリマス、市町村ニ
付キマシテハ六十五萬圓、尤モ此六十一
五萬圓ハ市ノ方ガ三十萬圓、町村ガ三
十五萬圓デアリマシテ、町村ニ付テ申
シマスレバ、一町村平均三十五圓デア
リマス、是モ出来レバ歳出ノ整理節約
デ補填シ、ソレガドウシテモ出来ナイ
場合ニハ、營業稅附加稅ノ制限外課稅
ニ依ツテ、之ヲ補填セシムル見込デアリ
マス

地方ノ財政ヲ整理サスノダト云フヤウ
ナコトハ、私ハ言葉ヲ激ニシテ言フナ
ラバ、何ノ顔アッテアナタハ言ヘルカト
思フ、アナタ方ガ自分デ訓令ヲ發シテ、
其訓令ノ徹底ガ出來ナイデ、是ハ已ム
ヲ得ナイモノガ三十三府縣ダト云フ、
サウシテソレドウシテ御取締ルコトハ出來
ノカ、ソレハ強ヒテ取締ルコトハ出來
ナイノダト言ウテ、一面ニハ地方ニ對
シテ減稅ノ結果ノ増稅ト云フモノヲ轉
嫁セシメテ、サウシテ地方ノ財政ヲ整
理シテヤルノダト云フコトヲ疑
ハザルヲ得ナイノデアリマス、其結果
ハ只今仰セノ所得稅ノ制限外ニナッテ
テ之ヲ天下ニ憩ヘルカト云フコトヲ疑
來ル、營業稅ノ制限外ニナッテ來ル、サ
ウナツテ來タナラバ、常ニ下ゲルト言ウ
テ、又復其地方ノ營業稅ハ限外ニサレ
テシマフト云フコトニナレバ、今度ハ
地方ノ小ナル營業者ト云フモノガ、比
較的大ナル所ノ國稅營業者ニ較ベテ
ハ、殆ド其惠澤ニ浴スル「マージン」ト
云フモノハナクナル、マルデ財政ノ紊
亂デヤアリマセヌカ、已ムヲ得ヌカラ
今度ハ多分失業公債ヲ起サレルデアリ
マセウ、今度ハ地方ニ於テ家屋稅ニマ
デモソレガ轉嫁サセラレルデアリマセ
ウ、ソレヲ稱シテ私ハ内務省ト云フモ

方ニ理解ガナイ、ナイ所ヲ調査シテ居ル所ノ内務大臣其人ハ、地方救濟ニ誠意ガナイト、斯様ニ私ハ認メテ居ルノデアリマス、今日マデノ問答ニ依レバ、少シモアナタ方ガ地方財源ノ爲ニ苦心サレタ跡ハ認メラレマセヌ、若シ多少デモアルナラバ、此際ニ私ハ打明ケタ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○次田政府委員 昭和六年度ノ道府縣豫算ニ付テ、内務大臣カラ申上ゲマシタコトハ、大體内務大臣ノ訓令ノ趣旨ハ徹底シテ居ル積リデアリマス、相當整理節約ヲシテ居ル積リデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、今茲ニ問題ニナツテ居リマスル營業稅ノ輕減ニ依ル減收ハ、府縣ニ付テ百二十七萬圓、市町村ニ付テ六十五萬圓デアリマシテ、此減收ノ程度デアレバ、大抵豫算ノ經理ニ心ヲ用ヒマスナラバ、歳出ノ使ヒ残シテ依ツテ補填スルコトガ出来ルデアラウト考ヘマス、併ナガラソレガドウシテセ出來ナイ場合ニハ、御話ノ如ク、營業稅竝營業稅附加稅ノ制限外課稅ニ持ツテ行キマスコトハ、今御話ノ通リデアリマス、併ナガラソレハ必ズシモ營業稅ヲ減ジ、而シテ又制限外課稅、ソレヲ殖ヤスト云フコトニハ、直グサウハ行カナイノデアリマシテ、營業稅ヲ輕減スル、ソコデ金ガ足リ

ナイ、其足リナイモノガ歳出ノ整理節約ノ餘地ガナクシテ、營業稅ノ制限外ノ課稅ニ行クト申シマシテモ、愈、營業稅制限外ノ課稅ヲヤリマストキニハ、他ノ稅トノ負擔ノ權衡ヲ圖リマシテ、營業稅ノ制限外ノ課稅モ少シ率ハ、營業收益稅ノ制限外課稅モ少シ率ヲ増シ、地租ノ附加稅制限外課稅モ少シ率ヲ増スト云フコトニ致シマシテ、全部ヲ營業稅附加稅ノ制限外課稅ニ持ツテ行カナイノデアリマスカラ、小營業者ヲ虐メルト云フコトニハナラナイト考ヘマス

ケレドモ、先づ第一ニ其數ハドノ位減收ニナリマスカ、又其減收ハ此表ノ中ニハ御載セニナツテ居リマセヌカ、甚ダ私ハ之ヲ疑フノデアリマス
○次田政府委員 是ハ御話ノ如ク、地租ノ徵收交付金ト、營業收益稅ノ徵收交付金等ニ於テ減收ガアルノデアリマス、併ナガラ是ハ稅ノ減收デハアリマセヌカラ、稅ノ表ノ中ニハ載セテ置力ナカツタノデアリマス、但シ其金額ハ取調ベタモノガアリマスルカラ申上ゲマスルガ、市町村全體ニ於テ五十四萬六千圓ノ減收ニナル、此計算デ申シマスレバ、五十四萬六千八百八十七圓ノ減收ニナル計算デアリマス

○岡田委員 今ノハ何デスカ、市町村ガ國稅徵收費、縣稅徵收費ニ於テ收入ニナル額ヲ仰シヤツタノデアリマスカ
○次田政府委員 市町村ガ地租ヲ徵收致シマスレバ、國カラ地租ヲ徵收到致シマスニ付テ交付金ヲ貰フテ居ル、營業收益稅ヲ徵收致シマスレバ、ヤハリ府縣カラ市町村ニ對シテ徵稅交付金ガアリマス、其交付金ガ本稅、減ジマスル關係カラ減ジマスル額ヲ申上ゲタノデアリマス
○岡田委員 ソレデハ府縣ノ國稅徵收交付金ノ減額ノ數ヲ御示シ願ヒタイ
○次田政府委員 府縣ハ國稅徵收ノ事

務ハ取扱ヒマセヌカラ……

○岡田委員 是ハ間違ヒマシタ——此

減收額ト云フモノハ、ドノ中ニアリマスカ、何處ニ現レテ居リマスカ

○次田政府委員 何處ニモ現レテ居リマセヌ

○岡田委員 ソレデハ更ニソレヲドウ

云フ方法ニ依ツテ御整理ニナサレマス

○次田政府委員 ソレハ前ニ申上ゲタ

町村ノ營業稅附加稅ノ減收六十五萬圓ト、合セテ總計百二十萬圓ニナリマス、

ソレヲ前申上ゲタヤウナ方針デ補填スル積リデアリマス、一町村平均百圓ヲ、

出來レバ歲出ノ整理節約、出來ナケレバ他ノ稅ニ持ツテ行クト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○岡田委員 先づ例ヲ舉ゲテ行ケバ際限ガアリマセヌカラ、段々時間モ移リマスシ、此位ニシテ置キマスガ、又他

ノ機會ニ私ノ斯ウ云フ點ニ付テノ質問ヲ續ケルコトニシテ置キマセウ、唯要スルニ斯様ナ譯デアリマシテ、チヨッ

ト今例ヲ段々考ヘテ舉ゲテ見テモ、隨分アルノデアッテ、殆ドソレニ對シテ内務大臣ハ能ク研究シテ居ラヌノデア

リマス、ドウシテモ今ノ質問應答デハサウ思ハレマス、モット地方ノ爲ニ深刻ナル御研究ヲ賜ハリ、今日出來ヌデモ、將來ニ於テハ、餘程是ハ内務省トシテ

ハ御研究ノアルベキ點デアラウト思ヒ

マス、更ニ私ハ進ンデ、是ハ數字ノ揚足

ヲ取ルヤウニナルノデアリマスケレドモ、如何ニ内務省ノ文書ガ、何時モ何

時モ分ラヌ所ノ一ツノ證據ニナルノデ

アリマス、私ハ是ハ間違ツテ居レバ、無

トガアル、ソレハ地方稅制整理後ニ於

ケル國稅增減一覽ト云フモノガ御配付ニナツテ居ル、只今ノ私ガ舉ゲタ所ノ九

十三萬圓トカ或ハ六十五萬圓ハ、正ニ其表ニ依ツテ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、此第一頁ニ於キマシテ、營業稅減

算ニ於テ輕減ヲシテ居ルノデアル、之ヲジット考詰メテ見ルト、三十四萬圓ヲ二度ニ御使ヒニナツテ居ルヤウニ思フ

ノデアリマスガ、是ハ計數ノ間違デハ

アリマセヌカ、私ハドウ考ヘテ見テモ、

是ハ二重ニ之ヲ利用サレテ居ルヤウニ思フノデアリマス

○岡田委員 二度ニ使ツテ居ナイ

考デアリマスガ、ドウシテサウナルノ

ゲテ置キマセウ、百八十五萬圓ト云フ

モノハ二百萬圓デアリ、百二十七萬圓

ト云フモノハ百六十六萬圓デアリ、九

十三萬圓ハ實ハ百八萬圓デアルト私ハ

モ、如何ニ内務省ノ文書ガ、何時モ何

思フノデアリマス、デ私ハ之ヲ御研

究ニ残シテ置キマセウ——既ニ時間モ遅

ウゴザイマスカラ、數字上ノ爭ハ小學

校ノ生徒ノヤウニナリマスカラ、是ハ

ヤメテ置キマセウ

○本田委員長 是デ散會致シマス、明

日ハ午後一時ヨリ開會致シマス

午後九時四十一分散會

昭和六年二月二十日印刷

昭和六年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社